

第 4 章

第4章 歴史文化資源の調査

1 歴史文化資源の調査の概要

(1) 歴史文化資源の調査

歴史文化資源に関する調査として、本市誕生の平成17年(2005)以前には、旧3市町でそれぞれ市・町誌の編さんに伴う調査が行われてきました。文化財冊子についても、旧市町でそれぞれ発行されており、直近では平成30年度に『那須塩原市の文化財-2019』を発行しました。

近年の調査としては、埋蔵文化財について、平成26~28年度(2014~2016)の3か年の国庫補助事業にて、市内全域の遺跡詳細分布調査を実施し、その成果として『那須塩原市遺跡分布地図』を発行しました。旧黒磯33か所、旧西那須野27か所、旧塩原32か所を周知の遺跡として登録しました。

栃木県が実施した文化財調査も含め、本市の歴史文化資源に係る郷土史(誌)類、自治体史、調査報告書等の一覧は次のとおりです。

■ 市・町史

書籍名等	編集者・発行者等	発行年	地区
黒磯市誌	黒磯市誌編さん委員会	昭和50年	黒磯
西那須野町史	西那須野町史編纂委員会	昭和38年	西那須野
西那須野町の自然	西那須野町史編さん委員会	平成3年	西那須野
西那須野町の明治以前史	西那須野町史編さん委員会	平成4年	西那須野
西那須野町の開拓史	西那須野町史編さん委員会	平成12年	西那須野
西那須野町の行政史	西那須野町史編さん委員会	平成13年	西那須野
西那須野町の産業経済史	西那須野町史編さん委員会	平成9年	西那須野
西那須野町の交通通信史	西那須野町史編さん委員会	平成5年	西那須野
西那須野町教育文化史	西那須野町史編さん委員会	平成6年	西那須野
西那須野町の宗教史	西那須野町史編さん委員会	平成3年	西那須野
西那須野町の福祉厚生史	西那須野町史編さん委員会	平成7年	西那須野
西那須野町の社会世相史	西那須野町史編さん委員会	平成16年	西那須野
西那須野町の民俗	西那須野町史編さん委員会	平成6年	西那須野
西那須野百科事典	西那須野町史編さん委員会	平成16年	西那須野
塩原町誌	塩原町誌編纂委員会	昭和55年	塩原

■ 文化財冊子

書籍名等	編集者・発行者等	発行年	地区
黒磯市の文化財	黒磯市文化財保護審議会・黒磯市教育委員会	昭和49年	黒磯
くろいそ市の文化財	黒磯市文化財保護審議会・黒磯市教育委員会	昭和59年	黒磯
くろいそ市の文化財	黒磯市文化財保護審議会・黒磯市教育委員会	昭和63年	黒磯
黒磯市の文化財	黒磯市教育委員会	平成3年	黒磯
黒磯市の文化財	黒磯市教育委員会	平成9年	黒磯
くろいそ市の文化財	黒磯市教育委員会	平成16年	黒磯
塩原町の文化財	塩原町文化財保護審議会・塩原町教育委員会	昭和61年	塩原
塩原町の文化財	塩原町文化財保護審議会・塩原町教育委員会	平成9年	塩原
那須塩原市の文化財	那須塩原市教育委員会	平成24年	—
那須塩原市の文化財	那須塩原市教育委員会	平成31年	—

※西那須野町の文化財については西那須野町の町史に記載。

■ 調査報告書等

	書籍名等	編集者・発行者等	発行年	地区
有	黒磯市の碑塔類考 昭和 63 年 12 月	黒磯市教育委員会	昭和 63 年	黒磯
有	西那須野町の記念碑	西那須野町教育委員会	平成 5 年	西那須野
有	栃木県近世社寺緊急調査報告書	栃木県	昭和 53 年	—
有	栃木県の民家-民家緊急調査報告書-	栃木県	昭和 57 年	—
有	栃木県の中世城館跡	栃木県	昭和 57 年	—
有	栃木県の近代化遺産-栃木県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書-	栃木県	平成 15 年	—
有	栃木県の近代和風建築-栃木県近代和風建築総合調査報告書-	栃木県	平成 30 年	—
民	百堂念仏舞 黒磯市教育委員会民俗資料調査報告書 第 1 集	百村百堂念仏舞保存会 黒磯市教育委員会	—	黒磯
民	西那須野の民俗	西那須野町教育委員会	昭和 48 年	西那須野
民	栃木県民俗資料館報告書 那須山麓の民俗 黒磯市百村・板室地区	栃木県教育委員会	昭和 46 年	—
民	下野の野仏調査報告	栃木県教育委員会	昭和 49 年	—
民	栃木県の民謡-民謡緊急調査報告書	栃木県	昭和 58 年	—
民	栃木県の職人-栃木県諸職関係民俗文化財調査報告書-	栃木県	平成元年	—
民	無形の民俗資料記録「下野の水車習俗」	栃木県	平成 5 年	—
民	栃木県の民俗芸能-栃木県民俗芸能緊急調査報告書-	栃木県	平成 10 年	—
民	栃木県の祭り・行事-栃木県祭り・行事調査報告書-	栃木県	平成 13 年	—
記	黒磯市動植物実態調査報告書	黒磯市動植物実態調査研究会 黒磯市環境課	平成 10 年	黒磯
記	西那須野町の湧水と小川	西那須野町教育委員会	平成 2 年	西那須野
記	西那須野町の井戸	西那須野町教育委員会	平成 9 年	西那須野
記	西那須野町の古木・大木・名木	西那須野町教育委員会	平成 9 年	西那須野
記	那須塩原市動植物実態調査報告書（西那須野地区・塩原地区）	那須塩原市動植物調査研究会 那須塩原市環境課	平成 22 年	西那須野 塩原
埋	西那須野町の遺跡	西那須野町教育委員会	平成 2 年	西那須野
埋	井口遺跡試掘調査報告書	西那須野町教育委員会	平成 10 年	西那須野
埋	井口遺跡発掘調査報告書	西那須野町教育委員会	平成 14 年	西那須野
埋	栃木県埋蔵文化財調査報告第 171 集 槻沢遺跡Ⅲ	栃木県文化振興事業団埋蔵文化センター 栃木県教育委員会	平成 8 年	西那須野
埋	近代遺跡調査報告書-農林水産業-	文化庁文化財第二課	令和 3 年	—
埋	那須塩原市遺跡分布地図	とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター 那須塩原市教育委員会	平成 29 年	—
埋	栃木県重要遺跡基本資料整備事業調査報告書	栃木県	昭和 57 年	—
埋	栃木県重要遺跡基本資料整備事業調査報告書	栃木県	昭和 61 年	—
埋	栃木県重要遺跡現況確認調査報告書	栃木県	平成 27 年	—
そ	栃木県の歴史の道調査報告書第二集 日光例幣使道 奥州道中	栃木県	平成 23 年	—
そ	栃木県の歴史の道調査報告書第三集 会津西街道 会津中街道 大田原通会津道 原街道（原方道） 足尾道	栃木県	平成 27 年	—
そ	歴史文化基本構想の策定時の調査（あなたの地域の「隠れた文化財」調査）	那須塩原市教育委員会	平成 29 年度 実施	—
そ	文化財保存活用地域計画作成時のアンケート調査（「あなたが文化財だと思うもの」を調査）	那須塩原市教育委員会	令和 2 年度 実施	—

※有：有形文化財、民：民俗文化財、記：記念物、埋：埋蔵文化財、そ：その他

■ 各地区の郷土史（誌）（※市所蔵のもの）

書籍名	著者・編集者・発行者等	発刊年	地区区分
三斗小屋誌（黒磯市図書館所蔵本復刻）	黒磯郷土史研究会	平成 15 年	高林地区
高林村郷土史〔復刻版〕	黒磯郷土史研究会	平成 20 年	高林地区
細竹村小史考察	高根沢広之・高根沢栄	平成元年	高林地区
とよら地区の歴史	とよらコミュニティ推進協議会	平成 24 年	黒磯地区
寺子郷土史	郷土史を語る会	平成 26 年	鍋掛地区
鍋掛村郷土史〔復刻版〕	鍋掛尋常高等小学校・黒磯郷土史研究会	平成 20 年	鍋掛地区
奥州街道鍋掛宿誌	黒磯市鍋掛公民館鍋掛分館	平成 2 年	鍋掛地区
野間郷土史	野間郷土史刊行会	平成 17 年	鍋掛地区
郷土誌（東那須野村）〔復刻版〕	黒磯郷土史研究会	平成 20 年	東那須野地区
那須塩原駅周辺地区の現況と略史	磯忍	平成 29 年	東那須野地区
狩野村郷土誌	狩野村学事会	昭和 7 年	狩野地区
南赤田区のあゆみ	南赤田区のあゆみ編集委員会	平成 17 年	狩野地区
太夫塚 130 年の歩み	太夫塚区誌編集委員会	平成 22 年	狩野地区
郷土誌（西那須野村）	調査委員	明治 44 年	西那須野地区
西那須野村郷土誌	西那須野村役場	昭和 7 年	西那須野地区
五軒町区 100 年のあゆみ	五軒町区誌編集委員会	平成 16 年	西那須野地区
一区町史	一区町史編さん委員会	平成 16 年	西那須野地区
二区開拓史	西那須野町二区	昭和 56 年	西那須野地区
ふるさと三区	三区郷土史刊行会	平成元年	西那須野地区
四区開拓百年のあゆみ	四区町誌編さん委員会	平成 8 年	西那須野地区
第一南区誌「郷土のあゆみ」	第一南区誌編纂委員会	平成 14 年	西那須野地区
下永田区史	下永田区史編纂委員会	平成 15 年	西那須野地区
二つ室区郷土史	二つ室区郷土史編集委員会	平成 16 年	西那須野地区
太夫塚郷土史	太夫塚区	昭和 55 年	西那須野地区
塩原の歴史（古代・中世・近世）	塩原温泉郷土史研究会	平成 17 年	塩原地区
横接郷土史	塩原町・横接郷土史研究会	昭和 51 年	塩原地区

（２）郷土芸能の保存・記録

市郷土芸能保存会連絡協議会に所属しているものが 31 団体あります。無形民俗文化財として指定等を受けている 15 件については、平成 20 年度（2008）からの 3 か年事業として「わがまち自慢推進事業（無形民俗文化財保存伝承事業・記録保存事業）」を実施し、映像による保存を行いました。

■ 指定無形民俗文化財と保存団体

保存団体	文化財名称	指定年月日	備考
百村百堂念仏舞保存会	百村の百堂念仏舞	昭和 44 年 7 月 10 日（国選択）	
中塩原関白流平家獅子舞保存会	塩原平家獅子舞	昭和 52 年 7 月 29 日（県指定）	
関谷城嶽舞保存会	関谷の城嶽舞	昭和 59 年 9 月 7 日（県指定）	
上大貫城嶽舞保存会	上大貫の城嶽舞	昭和 60 年 1 月 18 日（県指定）	
木綿畑新田太々神楽保存会	木綿畑新田の太々神楽	昭和 47 年 10 月 25 日	
三本木獅子舞保存会	三本木の獅子舞	昭和 48 年 12 月 1 日	
高林獅子舞保存会	高林の獅子舞	昭和 48 年 12 月 1 日	獅子頭奉納
木綿畑本田獅子舞保存会	木綿畑本田の獅子舞	昭和 48 年 12 月 1 日	休止中
宇都野梵天上げ保存会	嶽山帯根神社梵天上げ	昭和 52 年 11 月 26 日	
上塩原古代獅子舞保存会	上塩原古代獅子舞	平成 9 年 3 月 31 日	
上塩原源太踊り保存会	上塩原源太踊り	平成 9 年 3 月 31 日	
関谷囃子保存会	関谷囃子	平成 12 年 7 月 17 日	
曇沼もちつき保存会	曇沼もちつき	平成 12 年 7 月 17 日	
遅沢ばやし保存会	遅沢ばやし	平成 21 年 3 月 27 日	
西富山獅子舞保存会	西富山の獅子舞	平成 21 年 3 月 27 日	平成 2 年復活

■ 未指定の郷土芸能と保存団体

保存団体	文化財名称	備考
塩原温泉まつりお囃子保存会	塩原温泉まつりお囃子	大正4年、大正天皇の御即位をお囃子で祝ったのが始まりとされる
東那須野おはやし保存会	東那須野おはやし	昭和55年発足
太夫塚八木節笠踊り保存会	太夫塚八木節笠踊り	昭和56年発足
宇都野子供獅子舞保存会	宇都野子供獅子舞	昭和56年発足
那須野ヶ原疏水太鼓	那須野ヶ原疏水太鼓	昭和58年発足
子ども疏水太鼓実行委員会	子ども疏水太鼓	昭和61年発足
三島おはやし会	三島おはやし	昭和62年発足
黒磯巻狩太鼓	黒磯巻狩太鼓	平成2年発足
つきの木もちつき唄保存会	つきの木もちつき唄	平成2年発足
那須苗取り田植え唄保存会	那須苗取り田植え唄	平成4年発足、平成10年から「田んぼの学校」を開催
関谷子供囃子保存会	関谷子供囃子	平成5年発足
巻狩踊りお囃子会	黒磯巻狩踊り	平成6年発足
流響塩原太鼓	流響塩原太鼓	平成7年創設
大山八木節笠おどり部会	大山八木節笠おどり	平成10年度発足
鍋掛もちつき唄保存会	鍋掛もちつき唄	平成11年復活
埼玉子供おはやし会	埼玉子供おはやし	平成24年発足

2 歴史文化資源の調査の課題

これまでの歴史文化資源に関する調査状況を整理すると、建造物については、把握調査を実施していないことから、特に個人所有の建造物について、把握できていないものがある可能性があります。

美術工芸品についても市による本格的な調査は行われておらず、特に古文書については、昭和61年(1986)に発行された『栃木県史料所在目録 第15集』(那須郡三 大田原市・黒磯市・西那須野町・塩原町)以降、市による調査が行われていないため、現状調査が必要です。

民俗文化財は、指定等無形民俗文化財については、無形民俗文化財保存伝承事業・記録保存事業を実施したことにより、保存団体、内容を把握していますが、未指定のものについては、保存団体は把握しているものの、詳細な内容の把握、記録保存は行われていません。

遺跡(史跡)については、西那須野地区は合併前に調査が行われていますが、黒磯地区や塩原地区については、さらに調査が必要です。

文化的景観については調査が行われておらず、今後調査が必要です。

その他については、歴史構想策定時の調査と、本地域計画作成時のアンケート調査により、指定・未指定を問わず地域の歴史文化資源だと思えるものに関する調査を行い、地名の情報が集まりましたが、音は1件、方言については情報がなく、今後も調査の継続が求められます。

■ 歴史文化資源調査状況一覧 (○：概ね調査済 △：さらに調査が必要 ×：未調査 -：該当なし)

	建造物	美術工芸品	無形文化財	民俗文化財	遺跡(史跡)	名勝地(名勝)	動物・植物・地質鉱物 (天然記念物)	文化的景観	伝統的建造物群	埋蔵文化財	文化財の保存技術	その他 (地名・方言・音など)
黒磯地区	△	△	-	△	△	-	○	×	-	○	-	△
西那須野地区	△	△	-	△	○	-	○	×	-	○	-	△
塩原地区	△	△	-	△	△	-	○	×	-	○	-	△

3 歴史文化資源の調査の方針・措置

(1) 歴史文化資源の調査の方針

歴史文化資源の調査については、これまで市の調査が行えていない建造物や美術工芸品、遺跡（史跡）、文化的景観、方言や音などの把握調査を進めます。歴史文化資源は地域に深く根差したものであることから、市民及び地域で活動する団体とも連携し、その掘り起こし等、継続して取り組んでいきます。

美術工芸品の中でも、特に、古文書についてはしばらく調査を行えていないことから、持ち主の高齢化や代替わりが想定されます。『栃木県史料所在目録 第15集』に掲載されているものを中心に、早期にその所在調査に取り組めるよう調査方法を検討し、調査を進めます。

無形民俗文化財について、指定・未指定に関わらず、郷土芸能は地域の方々の手により保存団体が組織され、受け継がれていますが、会員の高齢化は顕著であり、存続が困難になることも想定されることから、保存団体の活動状況を把握するとともに、内容の記録・保存に取り組みます。

(2) 歴史文化資源の調査のための措置

市内に残る歴史文化資源を把握し、今後の活用等の基礎資料とするため、歴史文化資源の把握調査を継続的に実施します。調査を行うとともに、未指定のものについては、指定及び登録を検討する際の基礎資料にできるようリストとしてまとめます。また、リスト化して把握することにより、災害時の被災資料の状況把握にも活用します。

古文書については、栃木県史料目録に掲載されているものを中心に、今後の保存・継承のため所在の確認調査を実施します。

無形民俗文化財について、郷土芸能保存団体と連携し、活動状況を把握するとともに、映像による記録保存を実施します。

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
調 - 1	歴史文化資源の把握調査 歴史文化資源の把握調査（建造物、美術工芸品、民俗文化財、遺跡（史跡）、文化的景観、方言、音など）を実施することで、市内に残る歴史文化資源を把握し、活用のための基礎資料とする。併せて、災害時の被災資料の把握を迅速に行う。	行政 専門 団体	市						
調 - 2	栃木県史料目録所在確認調査 栃木県史料目録に基づく所在の確認調査を実施し、調査時との所在の変化を把握し、活用のための基礎資料とする。	行政 専門 団体	市						

※取組主体については第5章4を参照。

第 5 章

第5章 歴史文化資源の保存・活用に関する方針

1 基本理念

那須塩原市の歴史文化の特徴、文化財の保存・活用の現状を踏まえ、次に掲げる基本理念を実現するため、那須塩原市の文化財の保存・活用に関して、基本方針に基づいた総合的な取り組みを行います。

(1) 基本理念

**歴史をつなぎ 未来を拓き
新しいまちのストーリーをみんなで作ろう**

【基本理念に込められた思い】

那須野が原の不毛な原野にあって、
先人たちは、過酷な自然環境と闘いながら、
今日の暮らしを支える緑豊かな那須野が原を作り上げました。
その物語を伝える歴史文化資源が、今もわたしたちの周りに残されています。
こうした歴史文化資源の保存と継承を通じて、
先人の不屈の開拓精神を受け継ぐとともに、
多様な主体により歴史文化資源を活用することによって、
新しいまちづくりのストーリーを紡いでいきます。

(2) 基本方針

基本理念：歴史をつなぎ 未来を拓き 新しいまちのストーリーをみんなで作ろう

歴史を「つなぐ」ための方針

歴史文化資源の継続的な調査・研究を推進するとともに、保存・管理・継承に取り組みます。

未来を「拓く」ための方針

歴史文化資源の活用・普及に取り組み、価値を共有します。また、関係団体や保存団体との協働を推進し、多様な主体が関わる推進体制を構築します。

新しいまちのストーリーをみんなで作る「つくる」ための方針

学校教育や生涯学習と連携し、郷土愛を育むとともに、支える人材を育成します。

2 歴史文化資源の保存・活用に関する課題

(1) 「つなぐ」ための課題

課題 1：調査・研究に関する課題

○歴史文化資源の継続的な調査

指定等にはなっていないものの、地域で大切にされている歴史文化資源が存在しています。貴重な歴史文化資源が、存在や価値を知られないまま消滅、散逸してしまうことを避けるため、歴史文化資源の調査の課題（第4章で詳述）を踏まえ、未調査の文化的景観、さらに調査が必要な建造物、美術工芸品、民俗文化財、遺跡（史跡）、その他方言や音など、地域の歴史文化資源について継続的な把握調査が必要です。そして、調査の結果その価値が明らかになった未指定文化財については、指定・登録の推進が必要です。特に、指定等文化財となっている建造物の周辺には、植物等も建造物と同様に歴史があるものが多く、その景観を維持するためにも、周辺の植物等の指定についても検討し、保護に努める必要があります。

○調査・研究拠点の整備

那須野が原博物館は、「那須野が原開拓と自然・文化のいとなみ」のテーマのもとに、平成16年（2004）4月に開館した公設の博物館です。歴史文化資源を後世に伝えるため、継続的な収集・整理・保存を進めていますが、収蔵スペースの不足により適切な保存が難しい状況にあることから、新収蔵棟の建設の検討が必要です。

課題 2：保存・管理・継承に関する課題

○指定等文化財の保存修理

指定等文化財の保存や修理は、所有者や管理者等と連携し、管理状況や保存状態を的確に把握した上で、必要な措置を継続して行う必要があります。また、指定等文化財となっていながら、修理や保存に関する問題が未解決になっている文化財についても、適切な措置の検討が必要です。

○周辺環境の整備

指定等文化財の周囲に位置する建造物や工作物等は、歴史的な景観に調和したものであることが求められます。指定等文化財を含む公園等についても、良好な景観の形成が求められることから、周辺環境まで含めた整備の在り方を検討する必要があります。また、指定等文化財周辺については、都市計画マスタープランや景観計画など、文化財関連以外の部署の計画も関わってくるため、周辺環境の整備に関連する部署との連携を深めることが重要です。

○歴史文化資源の保存・継承

指定等文化財に対しては、条例等に基づき保存や修理のための費用の一部を補助していますが、所有者等の自己負担が発生することに加え、保存修理にかかる費用は高額なため、限られた財源の中での効率的な支援が求められます。また、個人所有者については高齢化が進んでおり、今後の保存・継承が危惧されます。後世に伝えるためにデジタルアーカイブ化などの対応についても検討が必要です。

○防災・防犯

地域の貴重な歴史文化資源を守るためには、防災・防犯の対策や、被災した際の対応が不可欠です。防災・防犯に関する課題・方針・措置については第7章で記載します。

(2)「拓く」ための課題

課題3：活用・普及に関する課題

○多くの人に伝わる情報発信

ホームページや広報紙で指定等文化財を紹介していますが、多くの人に魅力が伝わるように、適切な時期に分かりやすい情報提供に努める必要があります。アンケート調査でも広報紙や SNS 等による情報発信が求められており、より魅力的で効果的な情報発信の検討が必要です。

○歴史文化資源に触れる機会の提供

歴史文化資源が有する価値や魅力を共有するには、市民が指定等文化財や歴史資料等に直接に触れ、親しみを抱くような機会が求められます。今後も本市の歴史文化を楽しく、わかり易く伝える工夫をしながら、指定等文化財を始めとする歴史文化資源を展示・公開していく取り組みが必要です。

○観光振興等と連携した活用

本市には温泉や牧場などがあり、歴史文化資源と関わりのある観光施設も多く存在します。アンケート調査でもイベントや文化財をめぐるツアーの要望があることから、観光事業者や施設管理者、観光部局と連携し、個々の歴史文化資源を結び付けながら、一体的にプロモーションを進めるとともに、より積極的な活用の検討が必要です。

課題4：組織・体制に関する課題

○関係団体との協働

本市には、文化財保存活用区域（第6章で詳述）を中心に、歴史文化資源に関する様々な研究・活動団体があり、歴史文化資源の解説や調査研究など、ボランティアによる活動を行っていますが、会員の高齢化が顕著となっているほか、新規会員が入らないなどもあり、今後の継続が課題となっています。

○郷土芸能の保存・継承

郷土芸能は、地域の方々などの手により保存団体が組織され、保存・継承のための活動をしていますが、近年では会員の高齢化や新規会員不足などの理由により、存続が困難になっている団体もあります。アンケート調査において、伝統がある地域の行事は受け継いで残していくべきとの意見もあることから、より持続的・弾力性のある組織を構築し、保存・継承に取り組んでいくことが求められます。

○広域的な連携

本市は、近隣自治体とともに日本遺産に認定されています。また、定住自立圏も形成しており、様々な分野で連携した取り組みを行っています。今後も広域的な連携による広範囲で幅広い歴史文化に関する取り組みが求められます。

(3)「つくる」ための課題

課題5：教育・学習に関する課題

○次世代への継承、郷土愛の醸成

本市の小学生は、地域学習で市の歴史について学びます。アンケート調査でも郷土学習の充実や博物館等での活動の活性化が求められていることから、教員等との連携をさらに深め、小学校社会

科副読本への情報提供や出前講座、関連文化財群（第6章で詳述）の活用など、市の歴史文化の価値や魅力を伝え、将来の市を担う子どもたちに対して更なる郷土愛の醸成を図る取り組みが求められます。

○伝統の継承、担い手の育成

歴史文化の魅力とともに、伝統の技や知恵を伝えていくためには、歴史文化の担い手を育む必要があります。対象年齢を限らない体験型ワークショップの開催等、新しいまちのストーリーをつくるために、誰もが地域の歴史文化に親しみ、楽しく学ぶことのできる機会が求められます。

○今後の活用

地域への誇りや愛着の醸成には、歴史文化資源をより身近に感じることができるよう地域に根ざした学習機会や検討の場が求められます。また、多様なニーズに対応するためには、新たな活用方法について検討する必要があります。

3 歴史文化資源の保存・活用に関する方針

(1) 「つなぐ」ための方針

方針1：歴史文化資源の継続的な調査・研究

○歴史文化資源の調査・研究の推進

地域で大切にされている歴史文化資源は、那須塩原市の歴史文化を知るための貴重な資料です。歴史文化資源の調査の方針（第4章で詳述）に基づき、調査を持続的に行うとともに、未指定文化財については、調査によってその価値が明らかになった場合は、法令に基づく指定等を推進し、文化財の保護に努めます。また、遺跡や文化的景観についての調査を検討するとともに、特に、指定等文化財の建造物周辺の植物等については、建造物と同様に歴史があるものが多く、景観を維持する観点からも、指定等について調査し、保護に努めます。

○調査・研究拠点の整備の推進

調査・研究の拠点として、指定等文化財を始めとする多くの貴重な資料を保存・管理している那須野が原博物館は、引き続き資料の保存や展示等の活用、地域調査の研究に努めるとともに、資料等の適切な保存を確保するため、収蔵施設の建設について検討します。

方針2：歴史文化資源の保存・管理・継承

○指定等文化財の適切な保存・管理

建造物や遺跡、考古資料等の指定等文化財を良好に維持していくため、適切な周期での保存・管理に努め、修理や修復が必要なものについては、修理・修復を行います。また、動植物等の天然記念物についても、所有者等と連携し、生育環境の保全や樹勢回復に取り組みます。

○周辺環境の整備の推進

指定等文化財の標柱や解説板の整備、指定等文化財を含む公園等の整備等、指定等文化財周辺の景観の保全・形成のため、周辺環境の整備に取り組みます。また、指定等文化財周辺については、都市計画マスタープランや景観計画など、文化財関連以外の部署の計画も関わってくるため、関連する部署との連携を深めることで周辺環境の良好な整備に取り組みます。

○所有者・管理者への支援

所有者・管理者に対しては、対象の指定等文化財の適切な保存管理のため、技術的な支援や補助金の交付による経費的な支援を行います。

○デジタルアーカイブ化の推進

歴史文化を後世に伝えていくために、無形民俗文化財の映像記録保存や、歴史文化資源のデジタルアーカイブの製作、活用を推進します。

(2)「拓く」ための方針

方針3：歴史文化資源の価値の共有（活用・普及）

○タイムリーで分かりやすい情報発信の推進

市ホームページや市広報紙に加え、SNS等のインターネット上の媒体を活用した情報発信等、的確な媒体を活用した情報提供に取り組み、多くの人に広く魅力が伝わるとともに、必要な情報を手軽に得られるような情報発信に努めます。

○歴史文化資源の展示・公開の充実

那須野が原博物館による特別展・企画展の開催や郷土芸能に関するイベントの開催等、市民が指定等文化財や歴史資料等に直接触れ、親しみを抱く機会を提供します。

○観光振興等と連携した活用の推進

歴史文化資源を観光資源として活用するため、観光事業者や施設管理者、観光部局と連携し、日本遺産魅力発信事業の推進や、観光施設と関連がある歴史文化資源の活用に取り組みます。

方針4：多様な主体が関わる推進体制の構築

○関係団体との協働の推進

地域に存在する歴史文化資源を守り、活かすためには、調査や保存、活用を担う研究・活動団体の存在が不可欠です。継続的な活動を支援し、地域の歴史文化を継承していくために、文化財保存活用区域を活用した関係団体との連携等、各団体との協働を推進していきます。

○郷土芸能の保存・継承の推進

郷土芸能保存団体が、担い手の育成や技術の伝承を継続していけるように、発表会等の開催や記録、道具の整備、情報発信等、活動の支援を行います。

○広域的な連携の推進

日本遺産や定住自立圏による取り組みについて、今後も市町の枠を超えた連携を推進し、更に魅力的な地域づくりを進めます。

(3)「つくる」ための方針

方針5：学校教育・生涯学習との連携

○郷土愛の醸成、人材育成

子どもたちに地域の歴史文化を学ぶ機会を創出するため、学校や地域の活動団体と連携し、社会科副読本への情報提供や出前講座等を行います。関連文化財群を活かして、地域の子どもたちや郷土の学習にあたる教員等に向けて歴史文化を伝えることで、郷土愛を育むとともに、地域の歴史文化を支える人材を育成します。

○体験学習の充実

地域の歴史文化を身近に感じ、楽しく学ぶ機会を提供するため、体験学習を核とした博物館の教育普及活動の充実を図ります。

○学習機会の充実と新たな活用の検討

公民館などの社会教育施設における講座や講演等の学習機会の充実により、人材を育成します。また、地域住民と連携し、地域特有の歴史文化資源の保存・活用等、新たな活用方法について検討します。

■ 課題と方針一覧

課題1 調査・研究に関する課題	「つなぐ」 ための 方針	方針1 歴史文化資源の継続的な調査・研究
歴史文化資源の継続的な調査 地域を構成する歴史文化資源の消滅・散逸を避けるため、継続した調査が必要である。 建造物等、単体での指定が多く、歴史や景観を意識した指定・登録が不十分である。		歴史文化資源の調査・研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・指定等文化財台帳の作成 ・歴史文化資源リストの作成 ・未指定文化財の指定・登録の推進 ・歴史文化資源の把握調査、史料の所在調査 ・自然資料・人文資料の地域調査
調査・研究拠点の整備 歴史文化資源を後世に適切に伝えるため、継続的な収集・調査・研究を進める拠点の整備が必要である。		調査・研究拠点の整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・博物館所蔵の歴史文化資源の保存・管理 ・地域調査の研究、特別研究員制度の導入 ・新収蔵棟の建設
課題2 保存・管理・継承に関する課題		方針2 歴史文化資源の保存・管理・継承
指定等文化財の保存修理 指定等文化財の修理や保存を継続して行う必要がある。手つかず、問題が未解決の文化財がある。		指定等文化財の適切な保存・管理 <ul style="list-style-type: none"> ・建造物、史跡等の維持管理 ・埋蔵文化財保護、天然記念物の管理 ・博物館収蔵資料の修理
周辺環境の整備 周辺環境との関係を踏まえた本質的な価値の保存が必要である。 関連部署と連携した周辺環境の整備が必要である。		周辺環境の整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・指定等文化財標柱・解説板整備 ・公園等の管理 ・周辺環境の整備に関連する部署との連携
歴史文化資源の保存・継承 高齢化や代替わり等により今後の保存・継承が危惧される。 後世に伝えるために、記録化等の検討が必要である。	所有者・管理者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存修理、整備への補助金交付 ・文化財保護保存団体育成への補助金交付 デジタルアーカイブ化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財映像記録保存 ・歴史文化資源のデジタルアーカイブの製作 ・歴史文化資源のデジタルアーカイブの活用 	

課題3 活用・普及に関する課題	「 拓く 」 ための方針	方針3 歴史文化資源の価値の共有
多くの人に伝わる情報発信 指定等文化財について、適切な時期に分かりやすい情報提供が必要である。SNS等を活用した情報発信の検討が必要である。		タイムリーで分かりやすい情報発信の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市文化財ホームページの作成 ・市広報紙での指定等文化財紹介 ・SNSを活用した情報発信 ・紀要の発行
歴史文化資源に触れる機会の提供 直接指定等文化財や歴史資料等に触れ、親しみを抱くような機会が必要である。		歴史文化資源の展示・公開の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・博物館特別展、企画展の開催 ・芸術祭、文化祭の開催
観光振興等と連携した活用 歴史文化資源と観光施設の一体的なプロモーションや、歴史文化資源を観光資源とした積極的な活用が必要である。		観光振興等と連携した活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産関連事業の実施 ・別邸、記念館等の活用 ・歴史文化資源を活用した商品・サービスの創出
課題4 組織・体制に関する課題		方針4 多様な主体が関わる推進体制の構築
関係団体との協働 歴史文化資源に関する取り組みを、地域住民が自立的・継続的に継続していく必要がある。		関係団体との協働の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市内文化財関係研究・活動団体との連携 ・文化財保存活用区域を活かした関係団体との連携
郷土芸能の保存・継承 無形文化財の後継者を育成するため、保存団体等が安定的に継続して活動できる環境づくりが必要である。	郷土芸能の保存・継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・指定団体への支援 ・未指定団体への支援 	
広域的な連携 近隣自治体との更なる連携体制の構築が必要である。	広域的な連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産活用推進協議会の運営 ・定住自立圏事業の実施 	

課題5 教育・学習に関する課題	「 つくる 」 ための方針	方針5 学校教育・生涯学習との連携
次世代への継承、郷土愛の醸成 人口減少や少子高齢化が進むなか、那須塩原市の歴史文化の価値や魅力を後世に伝える必要がある。		郷土愛の醸成、人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・社会科副読本への情報提供 ・出前講座（児童生徒対象）の実施 ・関連文化財群を活かした郷土に関する学習への協力
伝統の継承、担い手の育成 歴史文化の魅力を伝えるとともに、伝統の技や知恵を伝え、歴史文化の担い手を育む必要がある。		体験学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・那須文化セミナーの開催 ・土器づくり教室、はたおり教室等の開催 ・なはくアートプロジェクトの開催
今後の活用 文化財が有する可能性を上手く引き出されていない。		学習機会の充実と新たな活用の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座（一般対象）の実施 ・地域学校協働本部事業の実施

4 歴史文化資源の保存・活用に関する措置

本市における文化財の保存・活用に係る課題と基本方針を踏まえ、地域計画の計画期間に実施する措置（事業）を次のとおり設定し、基本理念「歴史をつなぎ 未来を拓き 新しいまちのストーリーをみんなで作ろう」の実現を目指します。

措置のうち、アンケート調査結果等を踏まえ、保存・管理、活用・普及、次世代への継承を推進するにあたり、特に重点を置いて実施すべき措置を重点事業とします。

事業の実施にあたっては、市費、県費、国費（文化庁の各種補助金、地方創生推進交付金等）を有効に活用するほか、民間等の資金の活用を検討します。

取組主体について、次のとおり区分します。

行政…本市の文化財担当課(生涯学習課)、庁内関係課、近隣自治体等 ※()がない場合は生涯学習課を指す
 専門…博物館、地域の有識者、大学の専門機関等
 団体…民間活動団体、各種団体、協議会、企業等
 市民…那須塩原市民

なお、関連文化財群と文化財保存活用区域を設定するため、関連文化財群や文化財保存活用区域に関連が深い措置については、各方針に対する措置の欄ではなく、そちらに記載します。

(1) 「つなぐ」ための措置

歴史文化資源の継続的な調査・研究、保存・管理・継承により、今まで大切に受け継がれてきた歴史をこれからもつないでいきます。

方針1：歴史文化資源の継続的な調査・研究 ◎：重点事業

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
歴史文化資源の調査・研究の推進									
1-1	文化財台帳（指定等文化財）の作成 指定等文化財の種別や場所、所有者、管理者等の情報を管理する台帳を適宜更新し、適切に把握するとともに、資料として活用する。	行政	市						→
1-2	歴史文化資源リストの作成 歴史文化資源のリストを作成し、指定等文化財以外の資源も適切に把握するとともに、資料として活用する。	行政	市						→
1-3 ◎	未指定文化財の指定・登録の推進 未指定文化財の指定及び登録を推進するとともに、指定建造物の景観維持のため、周辺の植物等の指定及び登録についても調査し、適正な文化財保護に努める。	行政 団体 市民	市						→
1-4 ◎	歴史文化資源の把握調査[再掲(調-1)] 歴史文化資源の把握調査（建造物、美術工芸品、民俗文化財、遺跡（史跡）、文化的景観、方言、音など）を実施することで、市内に残る歴史文化資源を把握し、活用のための基礎資料とする。併せて、災害時の被災資料の把握を迅速に行う。	行政 専門 団体	市						→
1-5	栃木県史料目録所在確認調査[再掲(調-2)] 栃木県史料目録に基づく所在の確認調査を実施し、調査時との所在の変化を把握し、活用のための基礎資料とする。	行政 専門 団体	市						→

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
歴史文化資源の調査・研究の推進									
1-6	自然資料と地域調査 博物館の事業として、地学・植物・昆虫・動物（昆虫を覗く）の自然系調査を実施する。	専門	市						→
1-7	人文資料と地域調査 博物館の事業として、歴史・考古・民俗・美術・文学の人文系調査を実施する。	専門	市						→
調査・研究の拠点整備の推進									
1-8	博物館所蔵の歴史文化資源の保存・管理 所蔵している歴史文化資源の保存・管理を適切に行う。	専門	市						→
1-9	資料の収蔵庫による保存 良好な状態で資料を後世へ伝えること、展示等への活用を行うため、収蔵庫による適切な保存を行う。	専門	市						→
1-10	寄贈資料の受入 自然・歴史・民俗・美術等の寄贈資料を受け入れる。	専門	市						→
1-11	資料の購入 自然・歴史・民俗・美術等の資料を購入する。	専門	市						→
1-12	博物館の収集資料の整理と目録作成 博物館で収集または寄贈された自然資料や歴史資料の整理と目録化を行う。	専門	市						→
1-13	地域調査の研究 地域調査で収集された情報の整理・分析を行う。	専門	市						→
1-14	特別研究員制度の導入 博物館の調査研究を推進するための民間の専門家の登用を行う。	専門	市						→
1-15	新収蔵棟の検討 適切な保存を確保するために、考古資料や絵画作品、歴史資料等の資料を収蔵できる施設を建設する。	専門	市						→

方針2：歴史文化資源の保存・管理・継承 ◎：重点事業

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
指定等文化財の適切な保存・管理									
2-1	指定等文化財（建造物）維持管理事業 建造物の維持管理等に必要な業務（清掃、消防設備、電気保守、警備等）を行う。	行政	県・市						→
2-2	市指定史跡等管理事業 史跡・天然記念物における除草等の管理を所有者等に委託して行う。	行政	市						→
2-3	指定等文化財の修復補助 指定等文化財の所有者が行う計画的な修復等事業に対して補助金を交付する。現状変更等を伴う修理や整備については、適切な手続きを取るよう指導する。	行政	市						→
2-4	埋蔵文化財確認調査 市域で計画されている土地開発事業や太陽光発電事業に先行し、埋蔵文化財包蔵地の該当について確認調査を実施する。	行政	市						→

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
指定等文化財の適切な保存・管理									
2-5	イトヨ保護増殖等事業 鍋掛のイトヨ生息地で、イトヨの保護増殖及び生息地の草刈り等の環境保全活動を行う。	行政	市						→
2-6	天然記念物樹勢回復事業 維持のため、所有者や樹木医と連携し、樹勢回復を行う。	行政	市						→
2-7	天然記念物剪定事業 樹木の根茎成長による毀損防止や、景観の向上のため樹木の剪定を行う。	行政	市						→
2-8	博物館収蔵資料の修理 考古・歴史資料など保存・展示に対し、資料を良好に保つための修復・修理を行う。	専門	市						→
周辺環境の整備の推進									
2-9	指定等文化財標柱・解説板整備事業 指定等文化財の標柱及び解説板の新設及び更新を行う。	行政	市						→
2-10	公園等管理事業 公園等の指定等文化財の周辺地域について、除草等の管理を行う。	行政	市						→
2-11	関連部署との連携 指定等文化財の周辺については、都市計画マスタープランや景観計画など、文化以外の部署の計画も関わってくるため、周辺環境の適切な整備について、関連部署と連携して取り組む。	行政	市						→
所有者・管理者への支援									
2-12	文化財保存修理事業 （対象：指定等文化財） 那須塩原市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。保存修理に関する助言を行う。	行政 団体 市民	市 所有者						→
2-13	文化財防災施設事業 （対象：指定等文化財） 那須塩原市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。	行政 団体 市民	市 所有者						→
2-14	文化財保存整備調査事業 （対象：指定等文化財） 那須塩原市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。保存整備に関する助言を行う。	行政 団体 市民	市 所有者						→
2-15	文化財保護保存団体育成事業 （対象：指定等文化財） 那須塩原市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。	行政 団体 市民	市 所有者						→
デジタルアーカイブ化の推進									
2-16	無形民俗文化財映像記録保存 平成20年度（2008）からの3か年事業で映像による指定文化財の保存を行ったが、今後も必要に応じて市内に継承されている伝統芸能等の無形民俗文化財を映像で記録保存する。	行政	市						→
2-17 ◎	歴史文化資源のデジタルアーカイブの製作 貴重な歴史文化資源について、デジタルアーカイブを製作する。	行政	市						→
2-18 ◎	歴史文化資源のデジタルアーカイブの活用 デジタルアーカイブ化された歴史文化資源の活用を推進する。	行政	市						→

(2) 「拓く」ための措置

歴史文化資源の価値の共有、多様な主体が関わる推進体制の構築により、活用・普及を推進することで、那須塩原市の歴史文化の新たな未来を拓いていきます。

方針3：歴史文化資源の価値の共有（活用・普及） ◎：重点事業

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
タイムリーで分かりやすい情報発信の推進									
3-1 ◎	市文化財ホームページの作成 市ホームページの文化財紹介コーナーにおいて、指定等文化財を分かりやすく紹介するとともに、タイムリーな情報提供に努める。	行政	市						
3-2	広報なすしおばら連載 市広報紙の文化財紹介コーナーにおいて、適切な時期に分かりやすく指定等文化財を紹介する。	行政	市						
3-3 ◎	SNSを活用した情報発信 SNS（みるメールや市LINE等）を活用し、指定等文化財関連の行事に関する情報発信を推進する。	行政	市						
3-4	紀要の発行 自然・人文分野の研究成果を記録化し発表する。	専門	市						
3-5	文化財冊子等刊行頒布事業 『那須塩原市の文化財』の更新を行う。また、パンフレットやマップの作成を検討する。	行政	市						
歴史文化資源の展示・公開の充実									
3-6 ◎	博物館特別展の開催 テーマに即した地域の魅力を発掘し、文化財の価値や魅力を伝えるため、各分野にわたる特別展を年1回程度開催する。	専門	市						
3-7	博物館企画展の開催 収集資料を中心として、文化財の価値や魅力を伝えるため、各分野にわたる企画展を年3回程度開催する。	専門	市						
3-8	なすしおばら まなび博覧会の開催 学習成果の披露や生涯学習への興味を持つきっかけを提供する催しを開催する。	行政 専門 団体	市						
観光振興等と連携した活用の推進									
3-9 ◎	日本遺産「明治貴族が描いた未来~那須野が原開拓浪漫譚~」に関連する取組 那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会を構成する那須塩原市、大田原市、矢板市、那須町で連携し、日本遺産「明治貴族が描いた未来~那須野が原開拓浪漫譚~」のストーリーの普及と構成文化財の活用を推進する。	団体 (近隣自治体)	市 (構成4市町)						
3-10	華族の別邸・記念館の活用 華族の別邸や記念館について、適正な管理運営及び積極的な活用を図る。	行政	市						
3-11	歴史文化資源を活用した周遊・体験型商品・サービスの創出 歴史文化資源と、自然・文化・食・温泉などの地域観光資源、宿泊を組み合わせた周遊・滞在を促す商品造成の開発を行う。	団体	団体						

方針4：多様な主体が関わる推進体制の構築

◎：重点事業

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
関係団体との協働の推進									
4-1	那須文化研究会との連携 那須文化研究会の活動に連携して取り組む。 活動内容：那須地域の自然や歴史文化についての調査研究。年1回の『那須文化研究』発刊のほか、講演会・学習会を開催。	団体	団体						→
4-2	関谷郷土史研究会との連携 関谷郷土史研究会の活動に連携して取り組む。 活動内容：塩原・関谷地区の歴史文化の調査研究。	団体	団体						→
4-3	那須野が原の自然調査会との連携 那須野が原の自然調査会の活動に連携して取り組む。 活動内容：西那須野、塩原地区を中心に地域の自然に親しみつつ、動植物の調査を実施し、博物館の自然資料を収集するボランティアとして活動。	団体	団体						→
※関連文化財群、文化財保存活用区域と関連が深い団体については第6章に記載。									
郷土芸能の保存・継承の推進									
4-4	郷土芸能保存団体への支援 ◎ 那須塩原市郷土芸能保存団体活動費補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、活動を支援する。	行政 団体	市						→
4-5	子ども郷土芸能発表会への支援 那須塩原市子ども郷土芸能発表会運営費補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、活動を支援する。	行政 団体	市						→
広域的な連携の推進									
4-6	日本遺産活用推進協議会の運営 ◎ 那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会の中心市として協議会の運営を推進する。	行政 (近隣自治体) 団体	市 (構成4 市町)						→
4-7	那須地域定住自立圏事業の実施 中心市として観光宣伝事業の実施に取り組む。	行政 (近隣自治体)	市 (構成4 市町)						→
4-8	八溝山周辺地域定住自立圏事業への協力 構成市として歴史文化に関する展示や情報発信に連携して取り組む。	行政 (近隣自治体)	市 (構成8 市町)						→

(3) 「つくる」ための措置

学校教育や生涯学習と連携し、郷土愛の醸成や人材育成、体験学習、新たな活用を検討することにより、新しいまちのストーリーをみんなで作っていきます。

方針5：学校教育・生涯学習との連携

◎：重点事業

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
郷土愛の醸成、人材育成									
5-1	社会科副読本の作成、改訂 市内の文化財を取り入れた小学校社会科の副読本等（デジタル教材を含む）を作成・改訂する。	行政 (学校教育課 生涯学習課)	市						→
5-2	出前講座（児童生徒対象） ◎ 小中学校の授業に学芸員や関係する専門家等が出向き、歴史や文化に関する出前授業を行う。	行政 専門 団体	市						→

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
郷土愛の醸成、人材育成									
5-3 ◎	郷土に関する学習への協力 関連文化財群を活かして、児童生徒だけでなく、郷土の学習にあたる教員に対しても、より分かりやすく歴史文化や文化財の価値について情報を提供し、郷土の学習に協力する。	行政	市						→
体験学習の充実									
5-4 ◎	歴史文化に関する教育普及活動 歴史文化に関するセミナーや発表会、博物館を中心とした教育普及活動を行う。	専門	市						→
5-5	田舎ランド鳴内での体験学習 田舎ランド鳴内の施設や近隣の野外フィールドを活用し、農林業体験や歴史文化資源等をめぐるハイキング、ボランティア団体との共済事業等、様々な体験学習を実施する。	行政 団体	市						→
※関連文化財群、文化財保存活用区域と関連が深い取組については第6章に記載。									
学習機会の充実と新たな活用の検討									
5-6 ◎	出前講座（一般対象）の実施 地域の講座に学芸員や関係する専門家等が出向き、歴史や文化に関する出前授業を行う。	行政 専門	市						→
5-7	地域学校協働本部事業の実施 「地域学校協働本部」において、地域特有の歴史文化資源の保存・活用に向けた検討を行う。	行政 団体	国・ 県・市						→

第 6 章

第6章 歴史文化資源の一体的・総合的な保存と活用

1 関連文化財群

(1) 定義と目的

関連文化財群とは、指定・未指定に関わらず多種多様な有形・無形の文化財を、歴史文化に基づく関連性、テーマ、ストーリーによって一定のまとまりとして捉えたものです。複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用することにより、その魅力を高めるとともに、本市の歴史文化や文化財の価値を分かりやすく市民に伝えることを目的としています。

(2) 6つの関連文化財群

① 那須の大地と連山～大扇状地と海の記憶～

1. 海の記憶と静かな湖畔
2. 日本有数の大扇状地

② 歴史が示す那須塩原～縄文から戦まで～

1. 那須塩原市の遺跡分布と立地
2. 出土した遺構と遺物
3. 那須野の巻狩、群界の攻防～中世の城館～
4. 各藩・幕府領が入り乱れた江戸期の支配者
5. 那須塩原地区と戊辰戦争

③ 関東と東北を結ぶ道～街道と鉄道～

1. 奥州道中と鍋掛宿・越堀宿
2. 物資運送に利用された原街道（原方街道）
3. 会津中街道～険しい山越えの道～
4. 塩原新道の開削
5. 近代那須地区の歴史を大きく変えた東北本線

④ 水の恵みを求めて～疏水と大農場～

1. 江戸時代の新田開発と用水
2. 日本三大疏水の一つ那須疏水～大農場を潤す水路～
3. 大農場による開拓
4. 華族の別邸

⑤ 産業と民俗～農村のくらしと文化～

1. 那須野が原扇頂部の農業とくらしの文化
2. 地域の絆とともに豊作祈願・家内安全を祈る郷土の芸能

⑥ 温泉が生み出す文化～信仰・文学・芸術～

1. 1200年の歴史を有する塩原温泉
2. 板室温泉と三斗小屋温泉
3. 温泉と芸術～文豪と美術家～
4. 山岳信仰～白湯山・黒滝山・嶽山～

※①～⑥の構成歴史文化資源リストは、参考資料2に記載。

① 那須の大地と連山～大扇状地と海の記憶～

今から 1,500 万年前、那須塩原市は一部を除き、海底にありました。やがて海底が隆起し陸地になり、火山の活動などにより大きく姿を変えていきます。そして、河川が谷を刻み土砂を堆積させて、広大な扇状地が形成されました。市内に見られる豊かな自然風土はこうした大地の変遷によりもたらされたものです。

1. 海の記憶と静かな湖畔

那須野が原一帯は、かつて海底でした。海底には長い年月をかけて砂や泥、海底火山の火山灰や軽石など様々なものが堆積しました。それらの岩石を貫いてマグマが幾筋か地上へ向かって上昇しました。海底はやがて隆起して陸になり、河川により侵食されて塩原溪谷の象徴でもある深い谷と断崖絶壁の景観を作りました。福渡に見られる天狗岩は、この時の海底火山の火山灰が固まってできたもので、独特の緑色をしていることから緑色凝灰岩（グリーントフ）とよばれています。このグリーントフを貫いたマグマが冷え固まったのが、安山岩質の貫入岩です。マグマが地層中で冷却されるときに、鉱物同士が一定の規則性をもって固まり、その際、規則正しい形に亀裂が入ります。その冷え方により柱状になる柱状節理と板状になる板状節理になります。名瀑として有名な竜化の滝や布滝の周辺では、この両方を見ることができます。この柱状節理は、材木を立てかけたように見えることから「材木岩」とよばれ、昔から塩原を代表する景観の一つとして知られていました。川に侵食された崖には、貝などの化石が見られることがあります。これは新生代第三紀中新世の中期から後期（約 1,400 万年前～900 万年前）に塩原の海に生活していた生き物たちの化石です。大黒岩付近では、これらの堆積した地層を連続して観察することができ、「塩原動物群」とよばれ、日本のこの時代を代表する化石の産地として知られています。

やがて、50 万年ほど前になると那須野が原の北では那須火山群、西では高原火山群が活動を始めます。那須火山群は数度にわたり山体崩壊を繰り返し、岩屑なだれを起こしました。一方、高原火山群は火砕流を数回噴出し、それぞれの火山活動により那須野が原は姿を変えていきました。この一連の活動で、高原火山の北部にはカルデラ地形が生じたと考えられています。そのカルデラにはやがて周囲の河川から水が流れ込みカルデラ湖になりました。高原火山の末期の活動で溶岩や火山噴出物が流れ込み今の塩原盆地の形状のような三日月形の湖になりました。その湖には長い年月をかけて泥や砂が静かに堆積し、湖畔に生えていた樹木からはたくさんの落ち葉がその砂や泥の間に挟みこまれ、やがて「木の葉石」とよばれる化石になりました。木の葉化石園や要害公園などでは、塩原湖成層とよばれる湖底に堆積した地層を観察することができます。



材木岩



大黒岩



塩原湖成層

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	塩原の材木岩・大黒岩(含化石チャネル堆積物)
未指定文化財	塩原湖成層・木の葉化石園化石産出露頭・箒川要害公園露頭・塩原の天狗岩・薙刀岩・回願の滝・連珠の滝・竜化の滝・布滝・雄飛の滝・魚留の滝

2. 日本有数の大扇状地

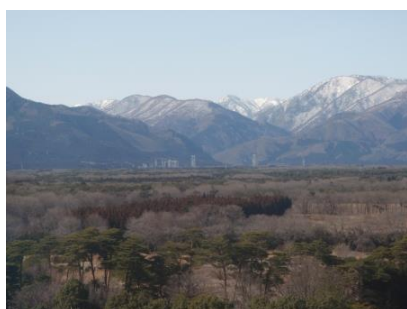
那珂川と箒川に挟まれた那須野が原には、日本最大級の扇状地である那須扇状地があります。その面積は 40,300ha あり、扇状地は北西から南東に向かい緩やかな傾斜を持つ台地状になっています。30 万年ほど前の高原火山の活動による火砕流堆積物などで埋め尽くされた大地は、その後、河川により侵食されていきました。侵食によって川の中州のように削り残された部分が、烏ヶ森や常盤ヶ丘、藤荷田山や稲荷山などの分離丘陵となりました。やがて侵食が落ち着くと、河川により運ばれてきた礫や砂などが次々と堆積するようになり、広大な扇状地が形成されました。

那須扇状地の特徴は、この作用が那珂川・熊川・蛇尾川・箒川といった複数の河川によるものであるという点です。そのため正式には複合扇状地ということになります。扇状地のほぼ中央を流下する蛇尾川と熊川の水は、扇頂部から地下に潜ってしまい伏流しています。そのため普段は水無川になっていて、川底を横断する道路が作られるなど、独特の景観を作り出しています。

山地と平地の境をほぼ南北に総延長 38km にも及ぶ、活断層である関谷断層により、断層の東側に当たる那須野が原は、常に山地に対して沈降し続けています。そのため一般的な扇状地に比べて砂礫層が大変厚く、水を得るのに苦労する土地になっています。そんな扇中央部にも、地下の不透水層の起伏の関係でいくつかの湧水地（出釜）があり、その周辺には縄文の時代から人々の日々の営みもありました。しかし、那須扇状地のほとんどの土地は、保水性に乏しく地下水脈も深いため明治の時代までほぼ手つかずの状態でした。

那須疏水はそんな地質を逆手にとって、蛇尾川を伏越で横断することで工事の期間短縮を図りました。これは、渇水期には蛇尾川の地下水面が著しく低下することを利用したもので、工事は掘削ではなく開削で行われました。那須疏水が作られ、人々が暮らせるようになってからしばらくの後、戦後の揚水設備の技術革新によって豊富な地下水の利用ができるようになりました。こうした人々の知恵と工夫、努力により、かつて不毛の大地であった那須扇状地は、今では豊かな実りある大地へと変貌を遂げました。

那須疏水の旧蛇尾川伏越の出口部分や地下水路に使われた断面が五角形の石組みの一部は、今でも見ることができます。



サンサントワーからの扇頂部



赤田山



出釜の湧水

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	常盤ヶ丘・烏ヶ森の丘・赤田山・箭坪の大輪地ヶ原絵図・那須疏水旧蛇尾川伏越出口
未指定文化財	関谷断層・蛇尾川・津室川湧水地・出釜

【関連文化財群①に関する課題と方針】

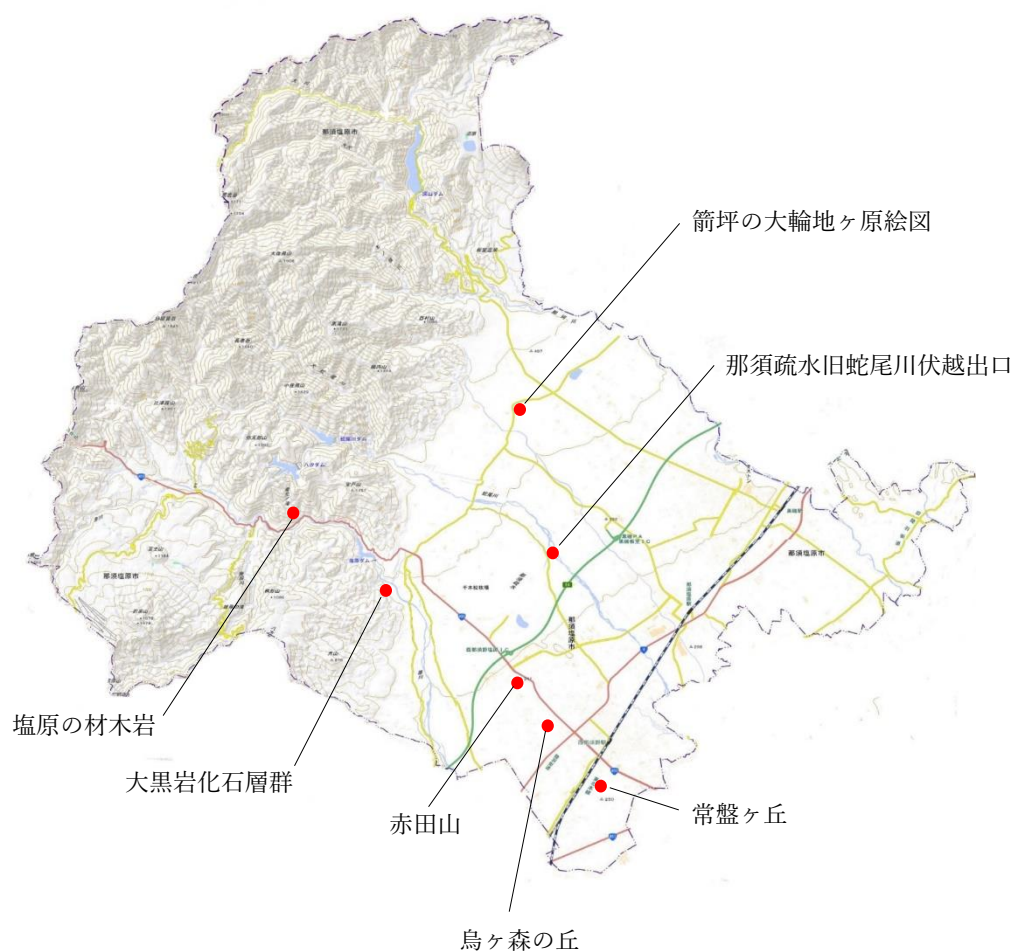
那須疏水の開削に尽力した印南丈作や矢板武らの墓がある常盤ヶ丘や、三島通庸がかつて開拓の構想を練ったとされる赤田山などの市指定史跡については、良好な状態を維持する必要があります。また、化石については、産地であることを活かす取り組みが求められています。

史跡については、良好な状態を維持するため、適切な周期での保存・管理に努めます。また、化石については地域の歴史を楽しく学ぶ機会を提供するため、体験学習の充実を図ります。

【関連文化財群①に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
① - 1	市指定史跡等管理事業(常盤ヶ丘、赤田山) 常盤ヶ丘、赤田山における除草等の管理を所有者等と連携して行う。	行政	市						
① - 2	化石発掘隊(博物館の教育普及活動) 子どもを対象として、化石の発掘体験を行う。	専門	市						

■ 指定等文化財分布図



② 歴史が示す那須塩原～縄文から戦まで～

那須塩原市には縄文中期の大規模集落である槻沢遺跡など数多くの遺跡があり、昔から人々が暮らしていた痕跡があります。鎌倉時代には那須野が原一帯で源頼朝による大規模な巻狩が行われました。江戸時代には各藩・幕府領が入り乱れ、戊辰戦争では塩原や板室、さらに三斗小屋で戦いが繰り広げられた歴史があり、各時代を物語る文化財が市内各地に残されています。

1. 那須塩原市の遺跡分布と立地

平成 26～28 年度にかけて、那須塩原市教育委員会では、市内の遺跡分布調査を実施しその成果は『那須塩原市遺跡分布地図』（以下『遺跡分布地図』という。）にまとめられました。市内には、旧石器時代から中世までの 92 の遺跡があることが確認できました。そこで、『遺跡分布地図』に基づき、市内にある遺跡の年代と分布の特徴について記します。なお、この調査でもれた遺跡があるので併せて記しておきます。『西那須野町の明治以前史』に、石林地内に草刈道下遺跡、乃木農場遺跡が掲載されています。前者は昭和 16 年（1941）開田の際に住居地が確認され、縄文時代の土器が出土していました。後者は石林北東部の那須拓陽高校の乃木農場地内にあり、昭和 37 年（1962）リンゴの苗を植えた時に縄文土器が出土したといえます。

時代別の遺跡数では、縄文時代が約半数を占め、槻沢遺跡や井口遺跡といった縄文中期から後期にかけての大規模集落遺跡があります。次いで、奈良時代・平安時代・古墳時代が多くなっていますが、政治・文化の中心地で出土するような古墳や古代の役所・寺院などの遺跡はなく大部分は集落跡です。なお、弥生時代の遺跡については現在のところ市内では確認はされていません。

遺跡の分布状況は、濃密な分布を示しているのは、黒磯地区では寺子・越堀・鍋掛・沼野田和、西那須野地区では槻沢・二つ室、塩原地区では上塩原・宇都野・金沢・関谷です。

これらの地域は、江戸時代以前から村が成立していた（二つ室は開拓地）ことから、水利の便がよかったと考えられます。鍋掛や槻沢などの遺跡が立地する平地では、湧水地やそこから流れ出る小川がありました。上塩原や宇都野などの遺跡が立地する山麓の地域では、水が流れ出る山間の沢があり、その水を利用することができました。



槻沢遺跡全景



深鉢形土器



槻沢遺跡石組複式炉

山地と明治の開拓で開けたかつて原野であった地域は遺跡が少ないと考えられていましたが、標高 600m 前後の上塩原や板室で遺跡が確認されています。また、明治の開拓で開けた地域においては、那須東原では佐野や戸田、那須西原では上赤田、一区町～四区町・二つ室・下永田などでもわずかながら遺跡の散布地がみられましたが、他の地域に比べると遺跡の数はやはり少なかったです。

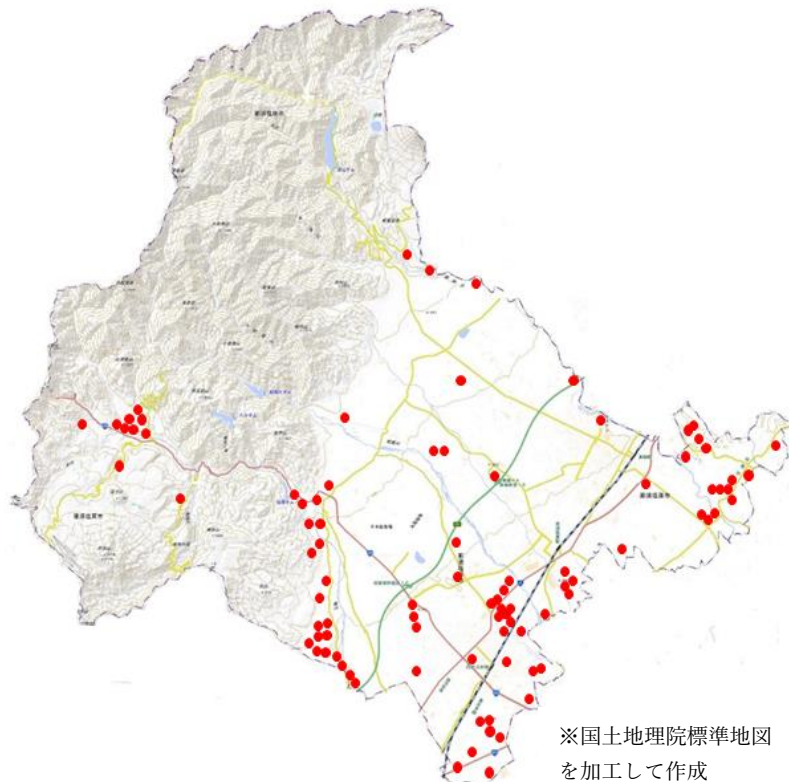
2. 出土した遺構と遺物

槻沢遺跡は、5 回に及ぶ発掘調査が行われ、昭和 52 年（1977）に行われた第 4 次発掘は、広域農道（ライスライン）建設に伴うもので、国指定重要文化財の深鉢形土器や市指定有形文化財の槻沢遺跡

出土の縄文土器など貴重な資料が発見されました。

槻沢遺跡の位置する栃木県北部の地域には、東北系と関東系の土器や遺構が重複して出土する遺跡が多くあります。一方で、両方の地域の要素が混じりあった在地性の強く表れた遺物や遺構もあり、那須地区の縄文中期の遺跡の特色となっています。

■ 那須塩原市の遺跡分布



このことを端的に物語っているのが、国指定重要文化財の深鉢形土器です。大きな袋状土坑(通称「30個ピット」)から、ほぼ同時期に投げ込まれた縄文中期(約4,500年前)の30個分の土器と土器片が出土しました。これらの土器には、関東の阿玉台式土器と東北部の大木8a式土器が混在しており、当時の文化の交流を裏付ける貴重な資料ということで、国指定重要文化財となりました。

また、北陸の火炎系土器の影響がうかがえる土器、甲府盆地を中心に分布する曾利式土器、中部地方から関東南部に系譜が認められる両耳壺が出土しており、口縁部に鳥頭形把手の付く加曾利E式土器が出土、広域的な文化の交流がうかがえます。

槻沢遺跡の特徴的な遺構としては、縄文中期前葉から後葉中頃にかけて東北地方南部とのつながりが強かったことから、その影響の強い袋状土坑や複式炉などが見られ、縄文後期前葉になると関東地方のつながりが強くなっていくことから、関東の影響の強い敷石住居や土器棺墓などが見られます。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	深鉢形土器(残欠共)・槻沢遺跡・槻沢遺跡出土の縄文土器
未指定文化財	槻沢遺跡出土資料(指定文化財以外)・井口遺跡出土資料
周知の埋蔵文化財	上ノ原遺跡、七間々遺跡、本田遺跡、道東遺跡、小滝遺跡、中山遺跡、中山・清水原遺跡、堂本遺跡、要害遺跡、白戸遺跡、橋本遺跡、松ノ木平遺跡、湯宮遺跡、小丸山遺跡、下の内屋敷跡遺跡、那須東原遺跡、川前遺跡、熊久保遺跡、笹風遺跡、上原北遺跡、回顧橋遺跡、滝沢遺跡、鹿野崎遺跡、長久保遺跡、赤坂遺跡、平場遺跡、大ヌカリ遺跡、東山遺跡、上荒屋上遺跡、上荒屋下遺跡、山城遺跡、寺子遺跡、蛇沢遺跡、塩ノ湯遺跡、西山・上の原遺跡、柿の島遺跡、和田山遺跡、田野城遺跡、玉貫遺跡、黒岩遺跡、自由学園農場遺跡、上の台遺跡、古下遺跡、上の沢遺跡、杉渡土遺跡、上黒遺跡、野沢遺跡(金沢神社裏遺跡)、塚原遺跡、町井遺跡、赤田山北遺跡、下山遺跡、井口遺跡、温泉神社東遺跡、西遅沢遺跡、東遅沢遺跡、西富山遺跡、槻沢北遺跡、稻荷山東遺跡、稻荷山遺跡、稻荷山・沼端遺跡、沼野田和遺跡、大輪地遺跡、前山北遺跡、前山遺跡、前山東遺跡、小勝原遺跡、町井・坂下遺跡、間の沢西遺跡、間の沢遺跡、四区I遺跡、三区I遺跡、太夫塚遺跡、槻沢西遺跡、無線中継所南II遺跡、下永田遺跡、無線中継所南I遺跡、権現山北遺跡、上ノ台遺跡、間の沢下遺跡、間の沢南遺跡、三区II遺跡、二ツ室岳北遺跡、二ツ室岳土壘跡、二ツ室岳南I遺跡、平沢道上遺跡、平沢道下遺跡、緑出釜遺跡、一区I遺跡(a・b地点)、二ツ室岳南II遺跡、蚕金神社前遺跡、一区II遺跡

3. 那須野の巻狩、郡界の攻防～中世の城館～

鎌倉時代の初期、建久4年(1193)4月に源頼朝により、自らの勢力を天下に知らしめるため、広大な那須野が原を中心に、那須野の巻狩が3,000人規模で22日間にもわたって行われました。狩野の地名が残るあたりで行われたと推察されています。

また市域には、塩原地区に3か所(塩原(要害)城跡・狭間城跡・離室城跡)、箒根地区に3か所(田野城跡・野沢(真木)城跡・鳩ヶ森城跡)、鍋掛地区に1か所(杉渡戸要害跡)の計7か所の中世の城館跡が確認されています。城館跡は自然の立地を生かした丘陵地や溪谷地にあり、平安時代末期から室町時代にかけて築造されたものと考えられ、市域西北の山間部に位置していることが特徴です。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	塩原(要害)城跡・鳩ヶ森城跡・野沢(真木)城跡・離室城跡・狭間城跡
未指定文化財	田野城跡・杉渡戸要害跡
その他歴史文化資源	那須野巻狩・上郷屋・南郷屋・東小屋・沓掛

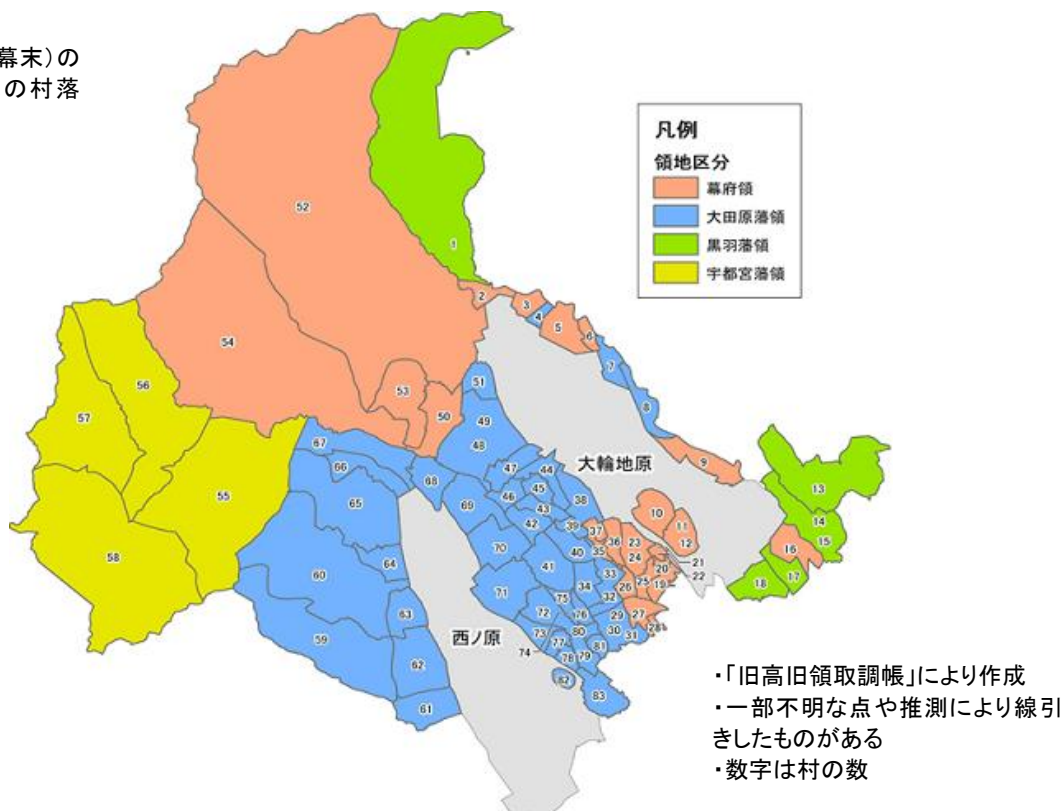
4. 各藩・幕府領が入り乱れた江戸期の支配者

本市域の江戸期は、那須藩領・幕府領・黒羽藩領・大田原藩領・宇都宮藩領に分かれていました。広大な原野であった那須東原は、周辺44か村の入会地(共同利用の土地)で、那須西原は周辺64か村の入会地になっていました。支配の異なる地域では様々な異文化が発展しましたが、江戸期の共通点としては、年貢や法令関係、境界論争関係、助郷関係などの村文書が数多く現存しています。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	城主安全碑・黒羽領境界石・黒磯郷所領安堵状・菊地家市十郎百歳長寿祝文書・関谷の城 鍬舞・上大貫の城鍬舞・室井家の四脚門・数ヶ所の郷蔵・大輪地ヶ原絵図(北弥六、箭坪)
未指定文化財	北弥六室井家文書・渋井家文書・津久井家文書・関谷家文書・浄泉寺文書・白井家文書・ 熊久保家文書・光徳寺文書・箭坪行政区文書・上横林行政区文書・君島家文書

■ 江戸時代(幕末)の 那須塩原市域の村落 と領地区分



5. 那須塩原地区と戊辰戦争

慶応4年（1868）閏4月には大網（16日）、塩野崎（21日）、板室（22日）、関谷（23日）で新政府軍と旧幕府軍の戦いがありました。8月23日には三斗小屋宿において激しい戦いがあり、塩原では旧幕府軍が会津への撤退に際して8月20日と23日に寺社以外を全村焼き払いました。

戊辰戦争では、交通の利便性などから会津中街道が利用されたことによって、多くの沿線集落が戦災に遭い、三斗小屋地区では新政府軍に備えて湯川に胸壁が設置され、大峠には塹壕が掘られました。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	三斗小屋宿跡・板室古戦場・妙雲寺（本堂）・妙雲寺（宮殿）・塩原八幡宮（本殿）・太政官沓朱金札印刷用銅板
未指定文化財	阿久戸の戦死者供養塔・三斗小屋戊辰戦死若干墓・湯川の胸壁・大峠の塹壕・妙雲寺本堂の天井絵
その他歴史文化資源	三斗小屋誌・高林郷土史・板室宿・関谷宿・穴沢集落・油井集落・阿久戸集落



三斗小屋宿跡

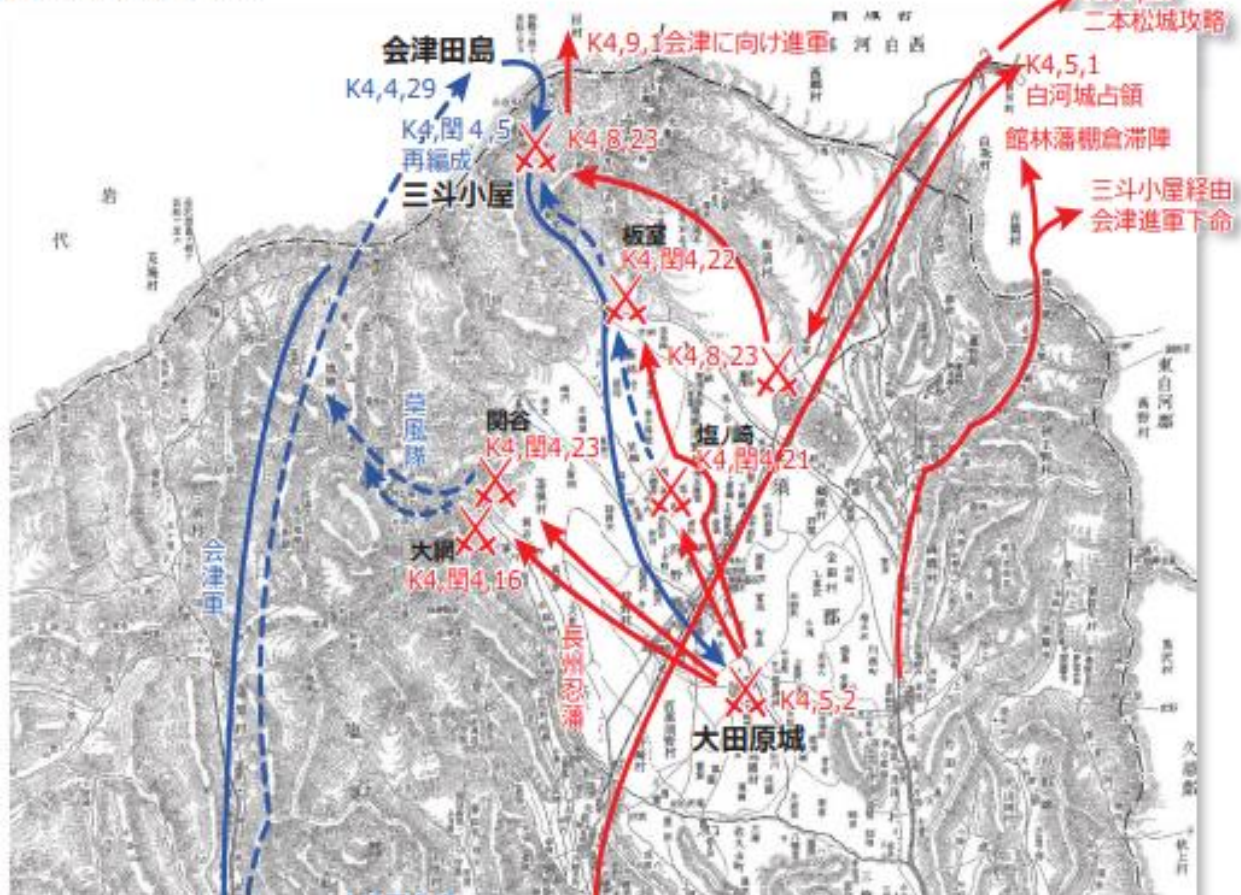


板室古戦場跡



塩原 妙雲寺

■ 戊辰戦争進軍図



※栃木県史編さん委員会『栃木県史』通史編 5 近世二』（昭和 59 年）を参考に作成

【関連文化財群②に関する課題と方針】

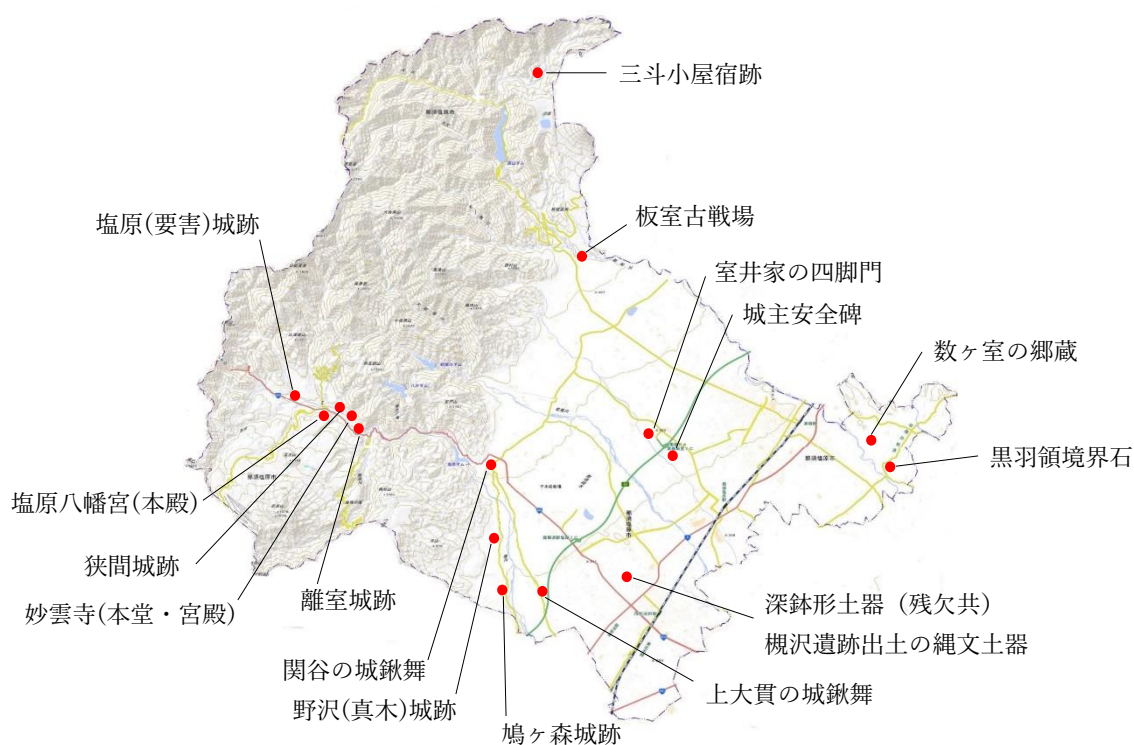
埋蔵文化財については開発等への指導や必要に応じた発掘調査を行う必要があります。土器については、関心を高める取り組みが求められています。市指定文化財ではありませんが、旧黒磯市のころから受け継がれている那須野巻狩まつりについては、今後も継続した開催が求められています。

埋蔵文化財について、開発等への指導とともに、必要に応じ発掘調査等を行います。土器については地域の歴史を身近に感じる機会を提供するため、体験学習の充実を図ります。那須野巻狩まつりについては、その歴史的意義を啓発しながら今後も継続できるよう市担当課や関係団体との連携に努めます。

【関連文化財群②に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
② - 1	埋蔵文化財保護事業 埋蔵文化財包蔵地における開発等への指導とともに、必要に応じ埋蔵文化財の試掘・確認調査及び記録保存のための発掘調査等を行う。	行政	市	→					
② - 2	西那須野土器づくりの会との連携 西那須野土器づくりの会の活動に連携して取り組む。 活動内容：土器づくりを通して縄文時代を学習し、子どもたちに伝える。土器教室を開催する。	団体		→					
② - 3	子ども土器づくり教室（博物館の教育普及活動） 子どもを対象として、縄文土器の作成体験を行う。	専門	市	→					
② - 4	那須野巻狩まつり 源頼朝の那須野巻狩をモチーフにして例年 10 月に開催される那須野巻狩まつりに各団体と連携して取り組む。	行政 専門 団体	市	→					

■ 指定等文化財分布図



③ 関東と東北を結ぶ道～街道と鉄道～

江戸時代には奥州道中や原街道が那須野が原を横断し、元禄 8 年(1695)には、会津藩の主要な道として三斗小屋・板室本村・百村本田・高林・下横林を通る会津中街道が開削されました。明治に入り、塩原新道が開削されると、開拓地は一気に交通の要衝として変貌を遂げます。大正 4 年(1915)には塩原軌道が開通しました。街道と鉄道の歴史は、那須塩原市の経済的発展にも深く関わっています。

1. 奥州道中と鍋掛宿・越堀宿

江戸時代の初期に、徳川幕府によって、幕府五街道の一つとして江戸と奥州を結ぶ奥州道中が開かれました。那須塩原市域には那珂川兩岸に鍋掛宿と越堀宿が設置され、参勤交代の通行などによって文化・経済の発信地となり多くの史跡が点在しています。市域の街道沿線には、江戸日本橋から 41 番目の鍋掛一里塚や 42 番目の寺子の一里塚があり、越堀には宿場の木戸跡の「枿形」が残っています。

■ 主な構成歴史文化資源

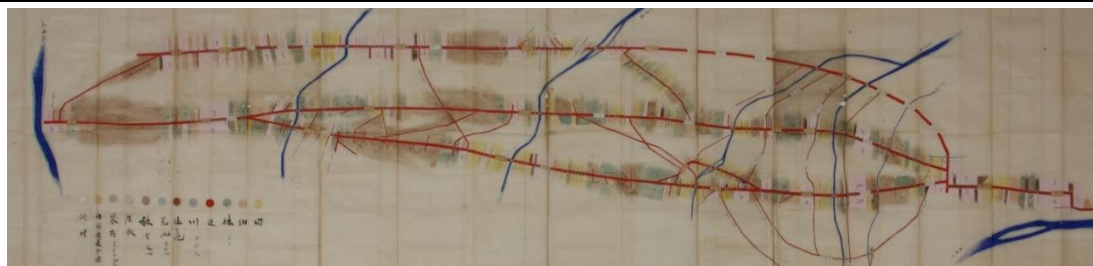
指定等文化財	寺子の地藏尊・寺子のエドヒガン・高久靄厓の墓・越堀の大杉・黒羽領境界石・芭蕉の句碑・鍋掛のイトヨ・正観寺のシダレザクラ・鍋掛の一里塚
未指定文化財	会三寺麻疹地藏・高久靄厓追蹟碑・鍋掛もちつき唄・与一不動像・樋沢不動尊・葛籠石・六十六部供養塔・浄泉寺文書・鍋掛清川地藏・会三寺・浄泉寺・正観寺・富士見峠・越堀宿枿形跡
その他歴史文化資源	鍋掛宿の橋場道

2. 物資運送に利用された原街道（原方街道）

原街道は、正保 2～3 年（1645～46）にかけて会津藩によって藩の廻米や特産物の輸送路として整備され、原街道のほか原方街道・原方道・米積街道などとも呼ばれました。開通時の黒磯村では、24 軒中 12 軒が那珂川渡河地点の原街道沿いに移住して、那珂川土橋の管理や駄賃稼ぎなどに従事しました。市域には東小屋と樋沢に問屋場が設置されましたが、原街道は荷物運送のみの街道で人々の往来が少なかったことから、他の街道に比べて旧所名跡などが少ないことが特徴です。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	原街道絵図・本郷町の馬頭観世音・本郷町のケンボナシ・石林の道標
未指定文化財	東小屋の問屋跡・樋沢の問屋跡
その他歴史文化資源	黒磯街中の旧道



原街道絵図（明治初期）

3. 会津中街道～険しい山越えの道～

元禄 8 年（1695）10 月、奥州道中氏家宿を起点として、那須大峠（1,468m）越え会津若松に至る会津中街道が開通しました。大峠の栃木県側には三斗小屋宿が設置され、街道は山間部のルートであることから、開通当時の旧道や一里塚などの史跡が数多く現存し、市域における一里塚の現存率が高く、保存状態も良好で大変貴重なものです。特に大峠から板室までの区間に旧道が現存し、この区間は令

和元年（2019）に文化庁から「歴史の道 100 選」に認定されました。また、沿線には宿駅が設置されたことから、古文書や道標、石仏類が多く残っていることが特徴で、石仏類では東北由来の「中風封じ」・「道中安全」信仰の青麻三光宮碑が穴沢と木綿畑本田に建立されています。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	三斗小屋宿跡・板室本村の湯本道標・板室古戦場・光徳寺門前の杉並木・一里塚（板室本村東西一対、笹野曾里東西一対、横林東西一対、下大貫一対）
未指定文化財	麦飯坂・早坂の一里塚・板室本村大日堂・百村の一里塚・百村の道標 2 点・百村馬頭観音群・愛宕神社・阿弥陀堂・阿弥陀如来立像・巻川温泉神社・木綿畑新田の道標・高林の一里塚・高林の道標・下ノ内の道標・横林の道標・東泉家文書・穴沢用水堀跡・東福寺・光徳寺
その他歴史文化資源	板室宿・阿久戸のダラダラ坂（旧道）・百村宿



板室宿



百村宿



板室本村の湯本道標

4. 塩原新道の開削

塩原新道（現国道 400 号）と呼ばれたこの街道は、栃木県令三島通庸が西那須野町三島を起点に関谷・塩原温泉・善知鳥沢を経て山王峠に達する計画で整備しました。塩原新道は明治 17 年（1884）10 月に完成し、これにより温泉地としての塩原の名が広く知られる契機になりました。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	鑿道八景・三島通庸の肖像画・関谷常夜灯・関谷の駐蹕碑・関谷の城鍬舞・関谷囃子
未指定文化財	幕府巡検使関係文書（関谷）・愛宕神社

5. 近代那須地区の歴史を大きく変えた東北本線

明治 19 年（1886）宇都宮～黒磯間の鉄道が開通し、明治 24 年（1891）には上野駅から青森駅まで全線が開通になりました。那須塩原市域には、西那須野駅・東那須野駅・黒磯駅の 3 駅が設置され、関東と東北を結ぶ一大動脈として乗降客や貨物輸送などで急速な発展を遂げ駅前が整備されました。

明治 45 年（1912）には「塩原軌道」が開通し、塩原温泉への足として多くの温泉客を運びました。また、大正 7 年（1918）には「東野鉄道」が開通しました。

■ 主な構成歴史文化資源

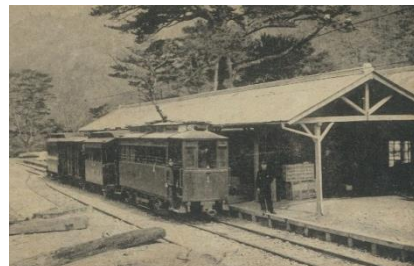
指定等文化財	塩原軌道塩原口駅舎跡
未指定文化財	黒磯駅貴賓室・新塩原駅舎跡
その他歴史文化資源	塩原軌道路線跡・市内各所の踏切名（大山街道踏切、南小屋踏切、高林街道踏切）



黒磯駅前



黒磯駅前から国道 4 号線へ



塩原軌道 塩原口駅舎

【関連文化財群③に関する課題と方針】

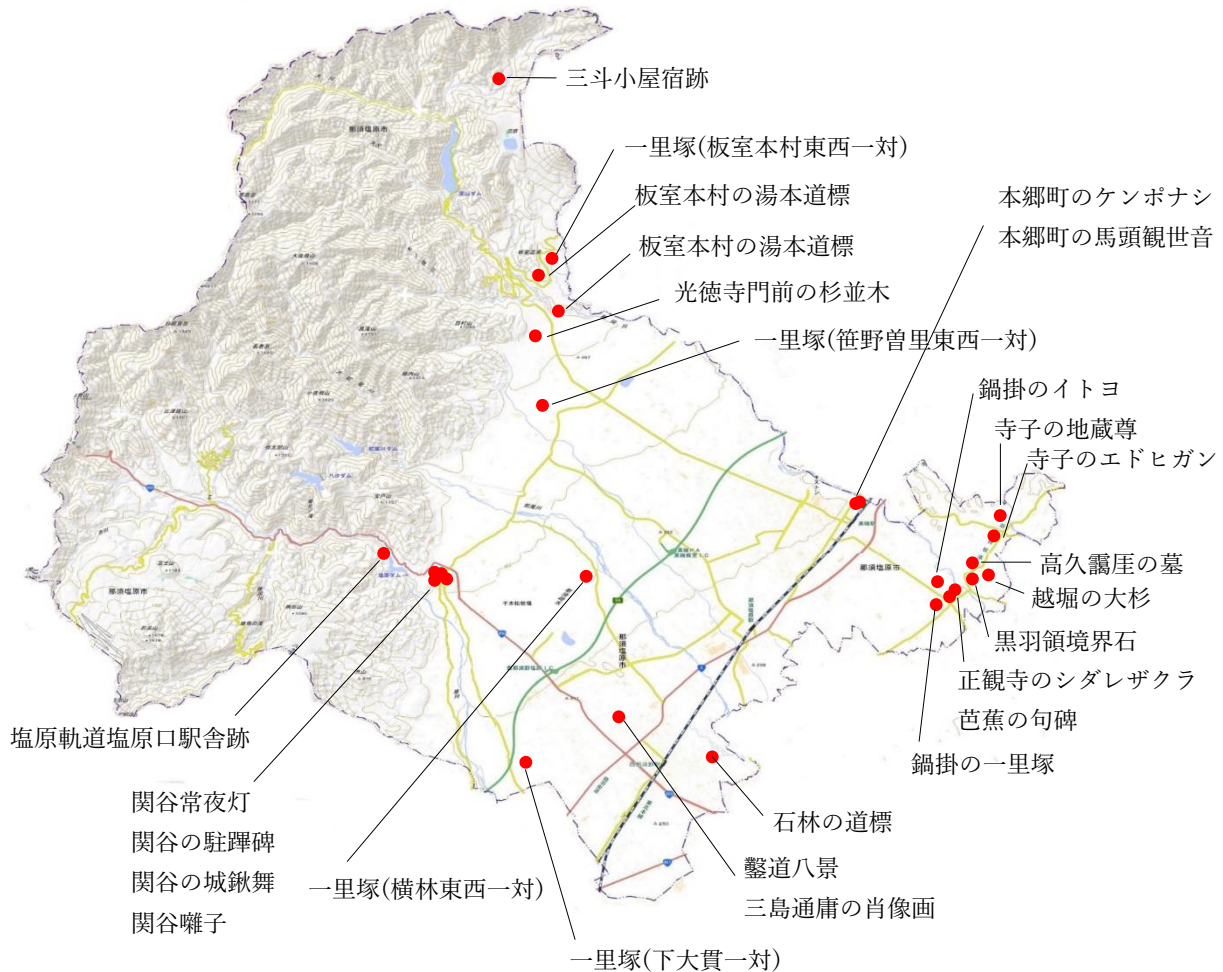
かつての街道を偲ぶ一里塚等の市指定史跡については、除草等の管理を行い、状態を維持する必要があります。また、塩原温泉地区の歴史については、地域住民による研究・活動が行われており、その継続が求められます。

一里塚等の史跡については、良好な状態を維持するため、適切な周期での保存・管理に努めます。また、塩原温泉地区の歴史文化を継承していくために、関係団体との協働を推進していきます。

【関連文化財群③に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
③ - 1	市指定史跡等管理事業(一里塚等) 下大貫の一里塚、笹野曾里西の一里塚、笹野曾里東の一里塚、芦屋道満の解脱塔、境の紅葉、板室本村の一里塚、本郷町の馬頭観世音における除草等の管理を所有者等に委託して行う。	行政	市						
③ - 2	塩原温泉郷土史研究会との連携 塩原温泉郷土史研究会の活動に連携して取り組む。 活動内容：塩原温泉地区に関する郷土史を研究し、書籍や歴史研究書等を発刊し、郷土の歴史を伝える。	団体							

■ 指定等文化財分布図



④ 水の恵みを求めて～疏水と大農場～

那須塩原市の歴史は、開拓の歴史と言っても過言ではありません。水利の乏しいやせた土地で、茫然たる原野が明治初頭まで取り残されてきました。明治に入り、那須野が原が官有原野となり、大規模農場が次々と生まれます。特に華族農場の存在は、国道や鉄道、那須疏水開削というインフラ整備にも多大な影響を及ぼしました。また、華族の別荘は今も残る貴重な文化財です。

1. 江戸時代の新田開発と用水

那須野が原においては、那須疏水の前史として江戸時代に新田開発などのための用水開削が盛んに行われました。墓沼用水や新田木ノ俣用水などは現在も使われていますが、多くは廃絶されてしまいました。そうした用水の歴史を物語るものとして、穴沢用水水神祭絵図は水の重要さを伝えるものであり、墓沼用水の現在の頭首工近くには岩を砕いて掘られた旧取水口がみられます。また、各用水跡も残されており、江戸時代に水を求めた歴史を窺うことができます。そうして開けた百村新田・木綿畑新田などでは田に稲穂が育つ光景を見ることができます。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	穴沢用水水神祭絵図・穴沢用水普請供養塔・墓沼用水旧取水口・東小屋村全図
未指定文化財	巻川用水・長島堀跡・長島堀取水口・穴沢用水・山口堀・小巻川用水・護安沢堀・墓沼用水・光徳寺文書・大野家文書・高根沢家文書
その他歴史文化資源	百村新田・木綿畑新田・長嶋新田・上大塚新田・下大塚新田・山中新田



穴沢用水水神祭絵図



墓沼用水旧取水口



墓沼用水

2. 日本三大疏水の一つ那須疏水～大農場を潤す水路～ (*日本遺産那須野が原認定)

那須野が原の用水の歴史は、江戸時代の新田開発によるものや、明治時代に入り殖産興業政策による、地域における物資輸送として発案された大運河構想などがありました。また、那須野が原開拓に伴い、入植者の生活用水の確保として飲用水路が、那須疏水以前に造られています。

安積疏水・琵琶湖疏水とともに日本三大疏水の一つに数えられる那須疏水は、明治18年(1885)4月15日に起工式を挙げ、5か月後の9月15日に通水式を挙りました。短期間で完成した要因は、那須扇状地の傾斜と事前の西岩崎取入口の試掘にありました。

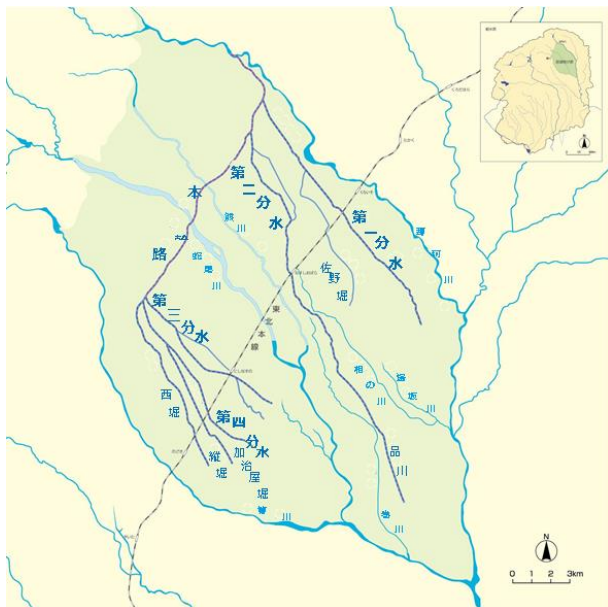
西岩崎取入口は、国指定重要文化財に指定された那須疏水旧取水施設であり、明治18年の第一次取入口と明治38年(1905)の第二次取入口、それが元に戻り第三次取入口となり、日本近代化遺産として重要なものとなっています。取入口から16.3kmに及ぶ本幹水路と、那須東原を潤す第一・第二分水とそれに伴う堰があり、那須西原には第三・第四分水が通過し、第四分水は加治屋堀・縦堀・西堀の3路線に分かれます。蛇尾川を横断する蛇尾川伏越は、九州大分の技術が導入されています。

また、那須疏水に関連する史料が那須疏水土地改良区及び那須野が原博物館に保存され、開削当初の状況を知る資料として重要です。さらに、関連として那須疏水起工式が行われた烏ヶ森の丘などの史跡が点在しています。なお、那須疏水は、平成29年(2017)に世界かんがい遺産に登録されました。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	那須疏水旧取水施設(東水門・西水門・導水路及び余水路、東隧道、西隧道) 附指定(疏水橋、1号護岸、2号護岸、東3号護岸、西3号護岸、那須原疏水線實測全図、那須原疏水線建築圖綴、那須原疏水工事竣功説明)・那須疏水旧蛇尾川伏越出口・那須疏水関係文書・那須開墾社関係文書・印南丈作翁屋敷跡・烏ヶ森の丘・常盤ヶ丘・親王台・赤田山・印南丈作の頌徳碑
未指定文化財	那須疏水本幹水路・那須疏水分水堰・那須疏水分水路・飲用水路跡・那須疏水土地改良区文書

■ 那須疏水路線図



那須疏水旧取水施設
東水門



那須疏水旧取水施設
西水門



那須疏水本幹水路

3. 大農場による開拓 (* 日本遺産那須野が原認定)

那須野が原には那須西原・那須東原を中心に 11,000ha に及ぶ原野が横たわり、明治期に入ると開拓が行われ、40 にのぼる農場が創設され、まさに那須野が原大農場群が創り出されます。それを大きく二つに分けると、地元の有志による農場と東京の華族による華族農場となります。在地農場の最大の農場は 3,000ha を超える那須開墾社で、那須開墾社烏ヶ森農場跡や那須野が原博物館には那須開墾社関係文書が所蔵されています。

一方、華族による農場が東京に近い那須野が原に創設され、40 農場のうち実に 19 農場が華族農場という本州最大の華族農場群が創設されます。松方正義による千本松農場は西洋農具を駆使して欧米式の大農経営を堅持しました。大山巖・西郷従道は加治屋開墾場を興し、のちに分割して大山農場と西郷農場になります。ドイツ翁といわれた青木周蔵は青木農場を創設し、ドイツ貴族の林間農業を実践し、森林の育成に力を入れました。開拓に関連する神社も数多く創建されました。また、農場名を冠した開拓地名が数多く残され、開拓地の特徴となっています。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	印南丈作翁屋敷跡・常盤ヶ丘・親王台・赤田山・那須開墾社烏ヶ森農場跡・那須開墾社関係文書・印南丈作の頌徳碑・三島農場事務所跡
未指定文化財	百間道・三島開墾紀恩碑・熾仁親王植樹記念碑・大山巖国葬墓所・(開拓関連資料)・三島神社・毛利神社・乃木神社・佐野天満宮・母智丘神社・鍋島農場解放記念碑・佐野農場記念碑・下永田の「赤レンガ」建物・阿波開墾記念碑・千本松農場使用のバインダーとレーキ・三島農場史料・佐野農場史料・千本松農場史料・青木農場史料・矢板武関係書簡
その他歴史文化資源	東三島・西三島・三島・永田町・千本松・四区町・三区町・二区町・一区町・北二つ室・二つ室・下永田・埼玉・共墾社・豊浦・渡辺・佐野・青木一区など開拓地名 千本松牧場の牧草地等の景観



那須開墾社烏ヶ森農場跡



親王台



那須開墾社関係文書

4. 華族の別邸（*日本遺産那須野が原認定）

那須野が原の開拓において、華族の存在は大きなものでした。欧州貴族の大土地所有を日本で体現することを夢見た華族にとって、那須野が原は東京に近く、広大な未墾地が広がり、格好の土地所有を実現する大地でした。華族たちは農場の開設とともに、避暑としての別邸を建設します。現在でも、青木別邸(1888年建設)や松方別邸(萬歳閣・1903年建設)・大山別邸(1905年頃建設)・山縣別邸(1923年移築再建)が残されています。松方別邸の2階は、暖炉がありながら畳敷きであり、大山別邸はレンガ造りの洋館と「薩摩屋敷」と呼ばれる和館からなっています。これらは和洋折衷の建築様式を備えた洋館として貴重な文化財です。別邸としては、華族とともに華族以外の県外農場主や在地農場主も、和風・洋風の別邸を建設し、那須野が原は開拓地の様相とともに避暑地としての様相も加わりました。

こうして、開拓農場主により建てられた別邸が、塩原御用邸や那須御用邸の建設にも関わり、ロイヤルリゾートとして進展して行きました。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	旧青木家那須別邸・乃木希典那須野旧宅・大山記念館洋館・旧塩原御用邸新御座所・大山参道のモミジ並木・乃木神社の樹林・品川弥二郎の旧念仏庵・乃木神社本殿・乃木神社拜殿
未指定文化財	松方別邸・大山別邸和館・松方正義使用の西洋食器と調度品・大山別邸の西洋食器・松方家文書・青木家文書・三島神社・毛利神社・佐野天満宮・母智丘神社・鍋島農場解放記念碑・下永田の「赤レンガ」建物・青木家那須別邸前の参道と裏の翌檜・乃木神社の静沼・大山記念館裏の防風土塁と周りの樹木
その他歴史文化資源	松方別邸の池と銅像台



旧青木家那須別邸



松方別邸(萬歳閣)



大山記念館



旧青木家那須別邸の内部



松方別邸の内部



大山記念館の内部

【関連文化財群④に関する課題と方針】

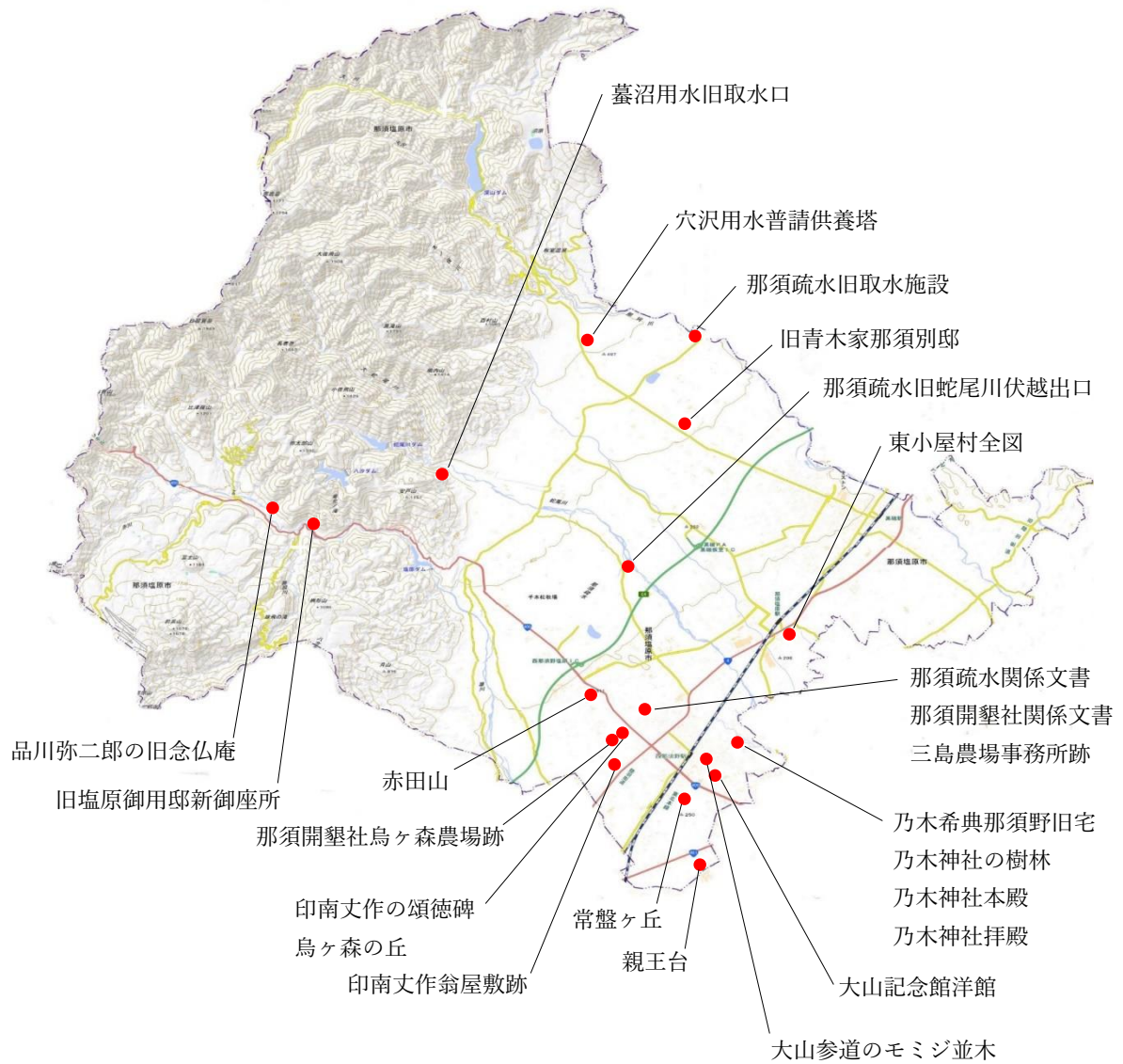
国指定重要文化財である旧青木家那須別邸や那須疏水旧取水施設については、建造物として必要な維持管理を適切に行っていくことが求められます。また、景観の調和が求められる文化財については、その周辺環境まで含めた整備が必要です。松方別邸や大山別邸を含む日本遺産の構成文化財については、観光振興とも連携した活用と情報発信に普及が必要です。

国指定重要文化財である旧青木家那須別邸や那須疏水旧取水施設については、清掃や消防設備、毀損防止のための措置など、良好な状態を維持するための保存・管理に努めます。また、景観の調和が求められる文化財については、都市整備課とも連携し、周辺環境の整備に取り組みます。日本遺産構成文化財については、適正な管理を行うとともに、観光振興とも連携した活用に取り組みます。

【関連文化財群④に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
④ - 1	旧青木家那須別邸維持管理事業 維持管理等に必要な業務（清掃、消防設備管理、電気保守、警備等）を行う。	行政	県・市						
④ - 2	那須疏水旧取水施設維持管理事業 毀損防止のため支障木の伐採等、維持管理を行う。	行政	市						
④ - 3	市指定史跡等管理事業(親王台、常盤ヶ丘、赤田山、赤レンガ) 親王台、常盤ヶ丘、赤田山、赤レンガにおける除草等の管理を所有者等に委託して行う。	行政	市						
④ - 4	都市公園管理業務 都市公園管理業務（指定管理者 シルバー人材センター）の中で、烏ヶ森公園、大山公園、乃木公園の年間を通した除草・清掃作業を実施。	行政 (都市整備課)	市						
④ - 5	旧青木家那須別邸活用 旧青木家那須別邸の適正な管理運営及び積極的な活用を図る。	行政	市						
④ - 6	松方別邸活用 松方家による管理とともに活用について検討する。	行政	市						
④ - 7	大山記念館活用 大山記念館の適正な管理運営及び積極的な活用を図る。	行政	県						
④ - 8	日本遺産魅力発信推進事業 日本遺産「明治貴族が描いた未来~那須野が原開拓浪漫譚~」のストーリーの普及と構成文化財を活用した事業を実施する。	団体	4市町						
④ - 9	日本遺産ガイド 日本遺産ガイド養成講座の受講者が、日本遺産の構成文化財でガイドを行う。	団体	4市町						
④ - 10	ココシル那須野が原の充実 日本遺産の魅力発信及び周遊促進のツールとして活用している観光アプリケーションについて、適宜更新し、情報発信を充実させる。	行政	4市町						

■ 指定等文化財分布図



⑤ 産業と民俗～農村のくらしと文化～

那須塩原市では、葉煙草栽培や養蚕が盛んに行われました。また、昔から馬の産地として知られており、馬のいたくらしが多くの馬頭観音碑などに残されています。そして、自然風土の厳しさを、季節の節目を生かした年中行事や祭礼、芸能などで乗り越えてきました。民俗芸能も、歴史と文化に根付いた貴重なものとして、次の世代につないでいくことが求められます。

1. 那須扇状地の農業とくらしの文化

①畑作が育んだくらしの文化

砂礫層が厚い那須扇状地の扇頂部から扇中央部に位置する那須塩原地域は、畑作として葉煙草栽培が盛んで、明治期の開拓地には、養蚕が導入されました。

厳しい自然風土で生き抜くために、人々は神社やお堂を建て神仏に祈りました。また、家内繁盛・豊作祈願を願う庚申塔や十九夜塔が村の辻や神社の境内に建てられました。槻沢地区には昭和 15 年（1940）建立の「煙草大神」と刻まれた石碑があることが、葉煙草栽培が盛んだった歴史を語っています。養蚕が盛んだった一区町から四区町・太夫塚・赤田にも養蚕神社が残されています。



旧津久井家住宅



数ヶ室の郷蔵



十九夜塔・庚申塔

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	旧津久井家住宅・室井家の四脚門・数ヶ室の郷蔵・寺子の地蔵尊・上黒磯の阿弥陀堂・上大貫地蔵堂「厨子」
未指定文化財	煙草大神碑・蚕金神社・養蚕神社・保食神社・農蚕影神社・庚申塔・十九夜尊・石ぐら（石塚）・淡島神社

②薪炭と馬のいたくらし

葉煙草栽培でも養蚕の桑畑でも、地味の薄い土地での土づくりに木の葉による堆肥づくりが不可欠です。農閑期の晩秋から初春までは、近くの雑木林の木の葉さらいが農家の日課でした。また、雑木林のクヌギが薪炭の材料として貴重でした。開拓農場でも薪炭業が盛んで、明治 18 年（1885）の東北本線開通を機に黒磯駅前に多くの薪炭商が開業し「薪炭の町」と呼ばれるほどでした。県内から出荷される薪炭は「野州炭」と呼ばれ、北那須地域はその主要産地となりました。近隣の農家では、炭俵にする薦編みが農閑期の現金収入としての副業でした。また、薪炭を運ぶ荷馬車の馬も活躍しました。馬のいたくらしの文化は、多くの馬頭観音碑などに残されています。

第二次世界大戦後は、食糧増産のため、一気に開田が進みます。那須野が原でも、電気揚水により地下水をくみ上げる揚水ポンプを設置した小屋が目立つようになります。こうして、戦後から一気に水田化が進み、県北の穀倉地帯となるとともに、明治期の開拓から戦後開拓により、現在、生乳産出額本州一となり、酪農地帯へと姿を変えました。



雑木林



東赤田の馬頭観音群



揚水ポンプ

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	本郷町の馬頭観世音・九尾の狐大絵馬・生駒神社の絵馬・鶏鳥神社の絵馬
未指定文化財	赤田の馬頭観音・高福寺の馬頭観音像群・軍馬慰霊碑・生駒神社・鶏鳥神社・揚水ポンプ

2. 地域の絆とともに豊作祈願・家内安全を祈る郷土の芸能

水と闘い土と闘ってきた那須扇状地の扇頂部から扇央部では、自然風土の厳しさを、季節の節目を生かした年中行事や祭礼、そして、芸能などで乗り越えてきました。三本木地区の延命地蔵堂の境内で舞う三本木の獅子舞は、獅子舞奉納を一時中断した際、隣村の下大塚新田とともに伝染病に襲われ下大塚新田が廃絶したため、小来川村（現日光市）の文挾流獅子舞を伝授したと伝えられます。今は中断していますが、木綿畑本田の獅子舞も、昭和41年（1966）に後継者不足で休止したところ、新木ノ俣隧道の集団ガス中毒で多くの犠牲者を出したので、慰霊と地域意識再生を願い復活したそうです。

箒根神社の祭礼で行われる梵天上げは、地域の若い衆が中心になって行います。鎮守の杜に響く笛太鼓や神楽も若い衆が演じ若い衆が舞いました。社会環境が大きく変わって生活様式や地域意識も変化した現在、くらしの中で培われてきた民俗芸能は消えつつありますが、民俗芸能の由来や伝承をよく見れば、一時中断しては復活する歴史を繰り返してきたのです。

いつの世も、地域を思う人たちがいて新たな地域文化が創造されます。巻狩まつりやらくりん座の演劇、そして、地域の子もたちが叩く創作太鼓の音にも、民俗芸能を育んできた伝統を生かした郷土の誇りが込められて、次世代につなぐ可能性を示しています。



三本木の獅子舞



関谷子供囃子



上塩原源太踊り

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	百村の百堂念仏舞・関谷の城鍬舞・上大貫の城鍬舞・塩原平家獅子舞・遅沢ばやし・西富山の獅子舞・関谷囃子・上塩原源太踊り・上塩原古代獅子舞・三本木の獅子舞・木綿畑新田の太々神楽・木綿畑本田の獅子舞・高林の獅子舞・嶽山箒根神社梵天上げ・墓沼もちつき・穴沢の獅子舞衣装・用具一式
未指定文化財	那須野ヶ原疏水太鼓・鍋掛もちつき唄・東那須野おはやし・子ども疏水太鼓・太夫塚八木節笠踊り・つきの木もちつき唄・那須苗取り田植唄・三島ばやし・大山八木節笠おどり・関谷子供囃子・宇都野子供獅子舞・塩原温泉まつりお囃子・流響塩原太鼓・黒磯巻狩太鼓・巻狩踊りお囃子・埼玉子供おはやし・愛宕神社の強飯式

【関連文化財群⑤に関する課題と方針】

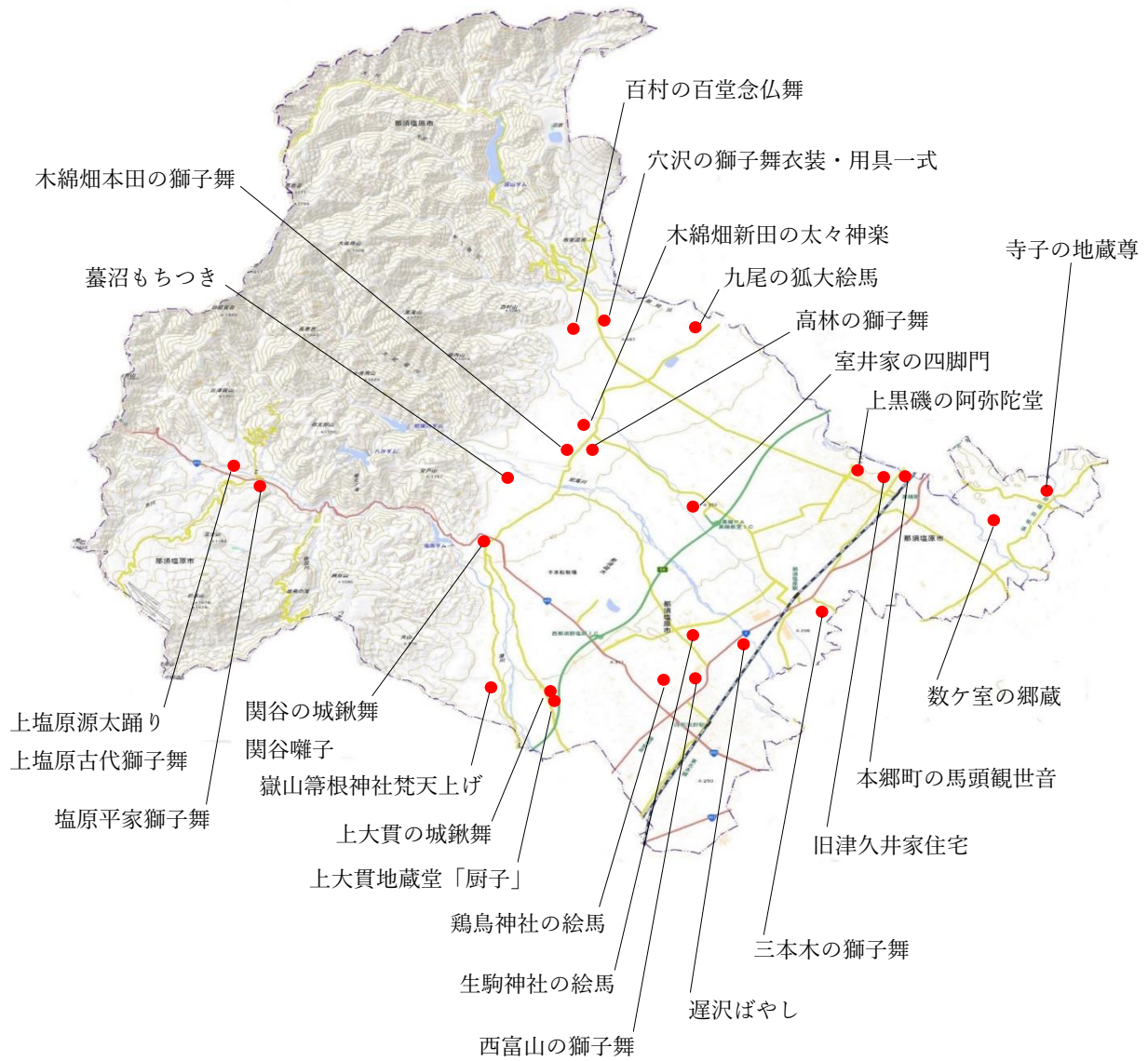
郷土の芸能やくらしの文化については地域住民の方々の手により保存・継承されていますが、高齢化や新規会員の不足により、存続が困難になっている団体もあり、今後の継続が課題です。

地域の昔話やくらしについて研究・活動している団体との協働を推進し、地域の歴史文化の継承に努めるとともに、地域の子どもたちに歴史を楽しく学ぶ機会を提供するため、体験学習の充実を図ります。また、郷土芸能保存団体が、担い手の育成や技術を継承していけるように、発表会等の開催や、道具の整備等、活動の支援を行います。

【関連文化財群⑤に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
⑤ - 1	津久井家住宅維持管理事業 茅葺屋根の修理や燻蒸等、維持管理を行う。	行政	市						→
⑤ - 2	那須地区郷土芸能フェスティバル 那須地区における郷土芸能を保存継承する団体が一堂に会し、代々受け継がれてきた郷土芸能を披露するイベントを開催する。	行政 専門 団体	3市町						→
⑤ - 3	開こん記念祭 明治 18 年に那須疏水の開削起工式が執り行われたのを記念して、那須野が原開拓の歴史を継承するために子どもから大人を対象として記念祭を開催する。	行政 専門 団体	市						→
⑤ - 4	なすの機織の会との連携 なすの機織の会の活動に連携して取り組む。 活動内容：機織りを学びながら、子どもたちに体験指導を行う。	団体							→
⑤ - 5	語り部炬ばたとの連携 語り部炬ばたの活動に連携して取り組む。 活動内容：昔ばなしの語りとして、地域の昔話や伝説を市民に伝える。	団体							→
⑤ - 6	いろりの会との連携 いろりの会の活動に連携して取り組む。 活動内容：黒磯郷土館案内ボランティアとして、昔のくらしや農具などの説明を実施する。	団体							→
⑤ - 7	郷土芸能保存団体（指定団体）への支援 地域の伝統芸能の保存・継承のため、記録や道具の整備、情報発信等の支援を行う。	団体							→
⑤ - 8	郷土芸能保存団体（未指定団体）への支援 地域の伝統芸能の保存・継承のため、活動の支援を行う。	団体							→
⑤ - 9	子どもはたおり教室（博物館の教育普及活動） 子どもを対象として、機織り機でマフラーを製作する教室を開催する。	専門	市						→
⑤ - 10	昔のくらし体験（博物館の教育普及活動） 子どもを対象として、黒磯郷土館での体験事業を行う。	専門	市						→

■ 指定等文化財分布図



⑥ 温泉が生み出す文化～信仰・文学・芸術～

那須塩原市の特徴の一つとして、塩原・板室・三斗小屋の温泉群の歴史があります。1200年の歴史を有し、文豪も多く訪れた塩原温泉。古くから湯治の里として親しまれる板室温泉。標高1,500mの高地に位置する三斗小屋温泉。特に、三斗小屋温泉は白湯山信仰による湯宿としても賑わい、三斗小屋宿には、山岳信仰の石造物が現在も残っています。

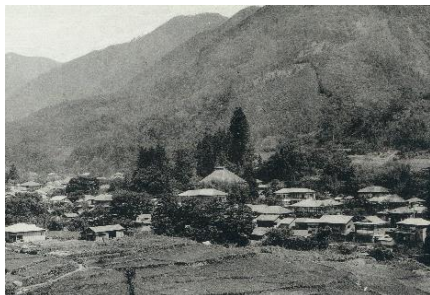
1. 1200年の歴史を有する塩原温泉

塩原温泉は、市内西部の山間地の箒川上流域に位置します。平安時代の大同元年（806）に発見されたと伝えられる塩原温泉は、地区ごとに泉質も異なり、箒川の溪谷に沿って11の温泉地が連なり、「塩原温泉十一湯」と呼ばれてきました。近世初頭の元湯は、湯宿37軒があり「湯本千軒」と呼ばれるほどに発展し、下塩原温泉では、江戸時代の安永4年（1775）に5,000人を超える入湯者があったという記録があります。各温泉地には、それぞれに温泉神社が祀られて地元民や来湯者の祈願所でしたが、社殿の彫刻類は繊細で見事な物ばかりで温泉地の盛況ぶりが窺えます。

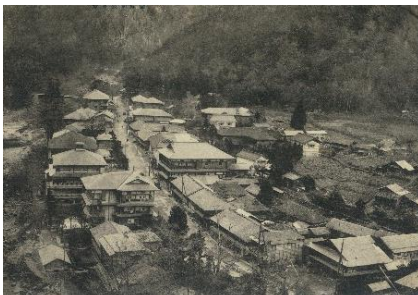
明治時代になると、塩原新道の開削により交通の便が格段に良くなって皇族をはじめとする華族や政治家、文化人などが塩原を訪れ、御用邸や別荘が建てられました。そして、多くの近代文学のリーダー達がこぞって訪れ、塩原温泉独特の文化的発展を遂げました。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	塩原温泉元湯古絵図・温泉神社石幢・新湯温泉神社（本殿）・畑下温泉神社（本殿）・塩の湯温泉神社（本殿）・茗荷温泉神社（本殿）・福渡温泉神社（本殿）
未指定文化財	実朝桜・旧塩原御用邸正門・旧塩原御用邸石垣・明賀屋太古館・塩原温泉まつり・新湯の噴気
その他歴史文化資源	とて馬車



塩原温泉門前全景



塩原福渡温泉全景



塩原新道「白雲洞トンネル」

2. 板室温泉と三斗小屋温泉

板室温泉は、康平2年（1059）那須三郎宗重が発見したと伝えられる、那珂川支流の湯川沿いの山峡に開けた湯治場です。古くから那須七湯の一つに数えられ、江戸時代にはすでに温泉の効能から「下野の薬湯」と呼ばれて、現在も湯治の里として親しまれています。

板室温泉は、別名「塩沢温泉」とも呼ばれ、昭和45年（1970）には環境省から「国民保養温泉地」に指定されました。平成5年（1993）には、国民保養温泉地の中で、特に自然とのふれあいを通じ、保養に適した温泉地として、環境省から「ふれあい・やすらぎ温泉地」にも選定されました。

三斗小屋温泉は、康治元年（1143）奥州信夫郡信夫村の生島某の発見によると伝えられ、朝日岳西側の山腹で標高1,500mの高地に位置しています。白湯山信仰による参詣者の湯宿としても賑わい、江戸時代末期までは大変に盛況でしたが、明治時代には衰退し、現在は2軒の湯宿があります。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	板室温泉「温泉記」・板室本村の湯本道標・加登屋旅館本館・加登屋旅館別館・加登屋旅館愁仙閣・板室温泉神社本殿・三斗小屋温泉神社本殿
未指定文化財	三斗小屋温泉大黒屋本館・大田原城主寄贈石灯笼一对（板室温泉神社）・籠岩神社・乙女の滝・矢沢の滝



板室温泉



板室温泉 綱湯



三斗小屋温泉

3. 温泉と芸術～文豪と美術家～

明治時代になると、塩原温泉への交通の便が良くなり華族をはじめ文学者や美術家などが多く訪れ、塩原温泉へ別荘を構えた奥蘭田は、塩原の風俗、古跡、伝説、温泉等を紹介した『塩溪紀勝』を執筆し、尾崎紅葉は塩原を訪れた後、『続々金色夜叉』を執筆しました。そのほか夏目漱石・国木田独歩・田山花袋・森田草平・徳富蘆花・斎藤茂吉・与謝野鉄幹・与謝野晶子・平塚雷鳥・川瀬巴水など多くの文人や画人が何度も訪れて様々な作品を残し、温泉地内の各所には文学碑や記念碑が建てられています。

■ 主な構成歴史文化資源

未指定文化財	塩原を題材とした文学作品・川瀬巴水作品・刑部人の作品・文学碑・記念碑
--------	------------------------------------

4. 山岳信仰～白湯山・黒滝山・嶽山～

白湯山は、茶臼岳の西側下方八合目付近の温泉湧出源「御宝前の滝」を御神体とする山岳信仰で、「はくとうさん」または「はくゆさん」、那須温泉側では「高湯山」と呼ばれていましたが、現在は全く行われていません。白湯山入口の三斗小屋宿には、信仰者が寄進した多くの石造物などが現在も残っています。特に水垢離場（石造）や石鳥居は、山岳信仰の特徴的な遺物であり大変貴重なものです。

黒瀧山信仰は、鳴内の大日如来を起点として、大蛇尾川上流の黒滝山頂までの山中の滝や奇岩、大岩など24の札所を回り、2日間を要して険しい山中に挑む信仰登拝でした。現在は信仰登拝が行われず、5月の第3日曜りと9月の第3日曜日に黒瀧山大日尊で念仏による供養祭が行われています。

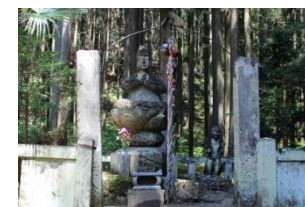
嶽山信仰は、奈良時代から栄えた「高原山」信仰の流れで、現在は県内でもめずらしい梵天奉納の行事が行われています。以前は旧暦10月19日でしたが、現在は11月23日に行われています。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	黒瀧山大日尊・嶽山箒根神社奥の院（本殿・他2社）・嶽山箒根神社高清水（遥拝殿）・嶽山箒根神社梵天上げ・嶽山箒根神社の大杉・板室本村の大日如来座像
未指定文化財	白湯山石灯笼・白湯山石鳥居・三斗小屋宿の大日如来座像・白湯山シズが平の石仏群・水垢離場・板室本村白湯山石碑・板室本村白湯山石灯笼・室井家文書・板室本村大日堂・黒瀧山大日尊清水・黒瀧山姥神像（黒瀧山信仰第9番札所）
その他歴史文化資源	黒瀧山念仏



白湯山石鳥居（三斗小屋宿）



黒瀧山大日尊

【関連文化財群⑥に関する課題と方針】

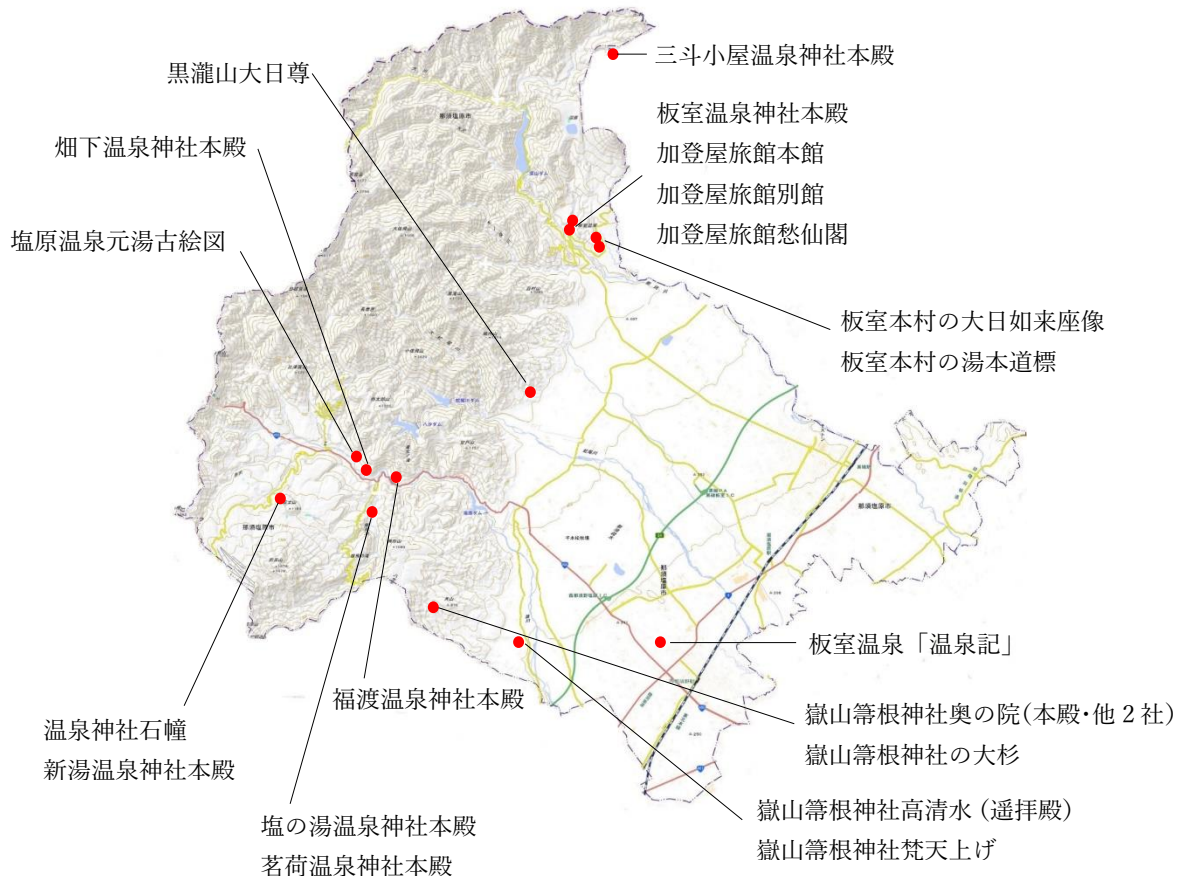
市指定史跡である三斗小屋宿跡では、近年外来種の植物が生息し、その範囲を広げていることから、これ以上の拡散を防止するため、駆除する必要があります。また、多くの文人や画人が訪れた塩原温泉には、その歴史を活かし、文学を中心にガイドや講話等を実施している団体があり、その継続が求められます。

三斗小屋宿跡については、環境省や市環境課と連携し、外来種の植物の駆除活動に取り組みます。また、塩原地区の文学を研究し、講話や文学碑等を活用した取り組みを行っている関係団体との協働を推進していきます。

【関連文化財群⑥に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
⑥ - 1	三斗小屋宿跡オオハングソウ駆除活動 環境省日光国立公園那須管理官事務所、ボランティア（那須山岳会等）と共に、三斗小屋宿跡地に生息するオオハングソウ（植物、特定外来生物）の駆除活動を実施。	市 （環境課）							
⑥ - 2	塩原文学研究会との連携 塩原文学研究会の活動に連携して取り組む。 活動内容：塩原地区の文学碑等の案内を実施する。塩原文学研究と文学散歩ガイド、講話を実践する。	団体							

■ 指定等文化財分布図



2 文化財保存活用区域

文化財保存活用区域とは、文化財が特定の範囲に集積している場合に、当該文化財（群）をその周辺環境も含めて面的に保存・活用するために設定するものです。そこで、本市の歴史文化資源が特に集積していること、行政による施策が図られていること、地域住民による調査研究やボランティア活動が盛んなことを基準に、次の3つの区域を設定しました。



(1) 黒磯駅から板室温泉区域

黒磯駅周辺から板室温泉までの板室街道沿いには、皇族のために設けられた黒磯駅の貴賓室、黒磯銀行本店として大正7年(1918)に建築された高木会館（国登録有形文化財）、明治時代にドイツ公使や外務大臣を務めた青木周蔵の別邸であり日本遺産の構成文化財でもある旧青木家那須別邸（国指定重要文化財）、近代における大規模水利施設の取水システムの構造を知る上でとても貴重な建造物である那須疏水旧取水施設（国指定重要文化財）、古くから湯治場として親しまれた板室温泉でかつての湯治場の雰囲気を色濃く残す加登屋旅館（国登録有形文化財）など多くの文化財があります。また、黒磯駅前に令和2年度に開館した那須塩原市図書館「みるる」には、この地域の歴史文化に関する貴重な書籍や資料が多く収蔵されています。歴史文化に関する企画展示、郷土資料コーナーや日本遺産コーナーの設置など、地域の歴史文化に関する紹介も充実しています。また、板室街道沿いは、奈良美智の作品展示スペース「N's YARD」や菅木志雄の作品を常設展示している「菅木志雄倉庫美術館」など現代アートに関する資源も充実している区域です。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	高木会館（国登・建）※・黒磯町道路元標（市・史）・旧津久井家住宅（市・建）・上黒磯の木造阿弥陀如来立像（市・彫）・上黒磯の阿弥陀堂（市・建）・上黒磯の板碑（市・歴）・旧青木家那須別邸（国指・建）・那須疏水旧取水施設（国指・建）・九尾の狐大絵馬（市・民）・穴沢用水普請供養塔（市・歴）・穴沢の獅子舞衣装・用具一式（市・民）・百村の百堂念仏舞（国選・民）・光徳寺門前の杉並木（市・天）・板室古戦場（市・史）・板室本村の銅造大日如来坐像（市・彫）・板室本村の湯本道標（市・史）・板室本村の一里塚（市・史）・加登屋旅館本館（国登・建）・加登屋旅館別館（国登・建）・加登屋旅館悠仙閣（国登・建）・木ノ俣地藏（市・史）
未指定文化財	黒磯駅貴賓室・愛宕神社（百村）・巻川温泉神社・板室本村大日堂・阿弥陀如来立像・黒磯巻狩太鼓・巻狩踊りお囃子・巻川用水・長島堀跡・長島堀取水口・穴沢用水・小巻川用水・百村の一里塚・百村の道標・百村の馬頭観音群・青木家那須別邸前の参道と裏の翌檜・東福寺・光徳寺・乙女の滝・矢沢の滝
その他歴史文化資源	黒磯街中の旧道・百村宿・板室宿

※（指定・種別）を記載。（2）、（3）の指定等文化財についても同様

【区域(1)に関する課題と方針】

黒磯駅の貴賓室や高木会館、加登屋旅館、現代アートに関する資源などは民間団体や所有者により適切に維持管理されていますが、旧青木家那須別邸や那須疏水旧取水施設については、行政の管理下にあることから、市として良好な状態を維持管理していく必要があります。また、旧青木家那須別邸については、アート作品の展示やコンサートの開催等、イベント実施の需要が近年高まっていますが、文化財であることに配慮した開催方法等、適切な対応が求められます。

旧青木家那須別邸、那須疏水旧取水施設については、良好な状態を維持するため、適切な周期での保存・管理に努めます。特に、那須疏水旧取水施設は草木が生い茂る那須疏水公園内にあることから、市農林整備課とも連携し、定期的な剪定等を実施します。また、旧青木家那須別邸でのイベント等の開催にあたっては、関係者と十分に連携し、国指定重要文化財であることに配慮した適切な開催に努めます。

【区域(1)に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
(1)-1	農村公園管理事業 那須疏水旧取水施設のある那須疏水公園の草刈りや剪定を年3回程度、循環式トイレの点検を2か月に1回実施するなど、那須疏水公園を維持管理する。	行政 (農林整備課)	市						
(1)-2	旧青木家那須別邸でのイベント等の開催協力 旧青木家那須別邸を会場とした各種イベント等について、文化財であることに配慮し、適切に開催ができるよう協力する。	行政 団体 市民	市						

※維持管理や活用などの措置については、全体の措置（第5章4節）、関連文化財群の措置（第6章1節）にも記載有り。

（2）博物館を中心とした三島区域

三島区域には、三島農場事務所跡（市指定史跡）や三島神社、母智丘神社、ボーイスカウト那須野営場などの三島農場関連史跡や施設があります。本市の歴史文化の収集・調査・普及の拠点である那須野が原博物館には、深鉢形土器（国指定重要文化財）や槻沢遺跡出土の縄文土器（市指定考古資料）、絵画や古文書、考古資料など多様な指定等文化財が収蔵されており、年間を通じて企画展・特別展を開催

しています。また、市内の文化財関係の研究・活動団体の活動拠点にもなっており、那須地域をフィールドとした独自の調査研究や、子どもを対象とした歴史文化資源の解説など、ボランティアによる活動も積極的に行われています。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	三島農場事務所跡（市・史）・深鉢形土器<残月共>（国指・考）・槻沢遺跡出土の縄文土器（市・考）・関根の板碑（市・考）・那須疏水関係文書（市・古）・那須開墾社関係文書（市・古）・板室温泉「温泉記」（市・古）・三島通庸の肖像画（市・絵）・三島弥太郎の肖像画（市・絵）・鑿道八景（市・絵）・紙本墨画 山水図（市・絵）・絹本淡彩 夏暁山水図（市・絵）・絹本墨画 松溪曳杖図（市・絵）・西園雅集図屏風（市・絵）・桐花に鳳凰図（市・絵）・菊鷄図（市・絵）・平家物語 小督と仲国（市・絵）・かそのジサマ（市・彫）・鷄鳥神社の絵馬（市・民）・赤田山（市・史）・那須開墾社烏ヶ森農場跡（市・史）・印南文作の頌徳碑（市・歴）
未指定文化財	三島神社・母智丘神社・保食神社・三島開墾記念碑・那須野が原博物館所蔵の古文書・那須苗取り田植唄・三島ばやし

【区域(2)に関する課題と方針】

三島農場関連史跡や施設については、その歴史を語り継ぐとともに、良好な状態を維持する必要があります。また、那須野が原博物館については、本市の歴史文化の拠点としての整備はもちろんですが、郷土の歴史や伝統の継承、普及活動に関する取り組みが求められています。

史跡や施設については、良好な状態を維持するため、関係団体との連携に努めます。また、地域の歴史や伝統を楽しく学ぶ機会を提供するため、博物館による体験学習の充実を図ります。

【区域(2)に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
(2)-1	石ぐら会との連携 石ぐら会の活動に連携して取り組む。 活動内容：那須野が原博物館の学校見学案内・体験指導を通して、子どもたちに開拓の歴史を伝える。	団体	団体						
(2)-2	那須野が原西部田園空間博物館運営協議会との連携 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会の活動に連携して取り組む。 活動内容：「那須野が原西部田園空間博物館」の管理・運営や様々な普及活動を行う。西那須野地区の6つのコミュニティ（西、狩野、三島、中央、大山、南）と塩原の横林・接骨木地区（横接地区コミュニティ）と関係団体で組織。 ※総合案内所は那須野が原博物館に併設。	団体	団体						
(2)-3	サテライト清掃活動（那須野が原西部田園空間博物館協議会※各地区コミュニティ） サテライト（※那須野が原西部地区の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを展示物に見たてている）の清掃活動を行う。	団体	団体						
(2)-4	小学生サテライト絵画展（那須野が原西部田園空間博物館協議会） 那須野が原西部地区田園空間博物館の対象エリアになっている西那須野地区の小学校6校と横林小学校の高学年の児童を対象にサテライト絵画の募集を行い、博物館等で絵画展を開催する。	団体	団体						

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
(2)-5	那須文化セミナー（博物館の教育普及活動） 成人を対象として、歴史・民俗・考古・美術・文学から1つのテーマを取り上げ、セミナーを開催する。	専門	市						
(2)-6	親子昆虫教室（博物館の教育普及活動） 親子を対象として、昆虫採集と標本作成を行う。	専門	市						
(2)-7	夏休み科学教室（博物館の教育普及活動） 子どもを対象として、物理・化学系のテーマの教室を開催する。	専門	市						
(2)-8	なはくアートプロジェクト（博物館の教育普及活動） 子どもを対象として、美術作家によるワークショップを開催する。	専門	市						
(2)-9	親子体験チャレンジ（博物館の教育普及活動） 親子を対象として、年12回の物づくり教室を開催する。	専門	市						
(2)-10	博物館フェスタ（博物館の教育普及活動） 例年11月3日(文化の日)に博物館においてイベントを開催する。	専門	市						
(2)-11	地域研究発表会（博物館の教育普及活動） 地域研究に関する研究成果の発表会を開催する。	専門	市						

※那須野が原博物館に関する措置については、全体の措置（第5章4節）、関連文化財群の措置（第6章1節）にも記載有り。

（3）塩原温泉区域

塩原地区は古くから温泉地として栄え、明治時代には、華族や政治家、文人・名士が長期滞在し、また、別荘を設けました。大正天皇が皇太子時代に造営した旧塩原御用邸新御座所（県指定建造物）や寿永3年(1184)に草庵を結び元文5年(1740)に再建された妙雲寺（市指定建造物）、柱状節理が見事な材木岩（市指定天然記念物）や推定樹齢が約1,500年とされている逆杉（国指定天然記念物）などこの地ならではの指定等文化財があり、上塩原源太踊りや古代獅子舞などの無形民俗文化財も伝承されています。また、約1,000万年前の貝化石や約30万年前の植物化石などが保存のよい状態で多く見つかることから高く評価され、多くの研究者達が訪れたり専門書や教科書に取り上げられたりしており、高原火山の溶岩台地や関谷の断層地形など、地質学上の多くの注目すべき特徴があります。また、塩原もの語り館や塩原温泉ビジターセンター、木の葉化石園など観光施設もあり、現在も多くの観光・宿泊客が訪れる区域です。郷土史等の研究やまちめぐりツアーのガイドなど地域住民による活動も盛んです。

■ 主な構成歴史文化資源

指定等文化財	塩原の材木岩（市・天）・福渡温泉神社（本殿）（市・建）・旧塩原御用邸新御座所（県指・建）・高尾塚碑（市・歴）・離室城跡（市・史）・畑下温泉神社（本殿）（市・建）・妙雲寺（本堂）（市・建）・妙雲寺（宮殿）（市・建）・妙雲寺薬師堂（市・建）・妙雲寺の塩溪文庫（旧閻魔堂）（市・建）・品川弥二郎の旧念仏庵（市・建）・塩原温泉元湯古絵図（市・歴）・妙雲尼塔の大杉（市・天）・狭間城跡（市・史）・塩原八幡宮（本殿）（市・建）・塩原八幡宮棟札（市・歴）・塩原平家獅子舞（県指・民）・逆杉（市・天）・上塩原箒根神社（本殿）（市・建）・上塩原古代獅子舞（市・民）・上塩原源太踊り（市・民）・塩原（要害）城跡（市・史）・引久保百観音堂（市・建）・引久保百観音及び三尊仏（市・彫）・引久保百観音棟札（市・歴）
未指定文化財	明賀屋太古館・塩原を題材とした文学作品・川瀬巴水作品・文学碑・記念碑・宇津野子供獅子舞・塩原温泉まつりお囃子・流響塩原太鼓・旧塩原御用邸石垣・塩原湖成層・木の葉化石園化石産出露頭・箒川要害公園露頭・塩原の天狗岩・回顧の滝・連珠の滝・竜化の滝・布滝・雄飛の滝・魚留の滝・実朝桜・新湯の噴気
その他歴史文化資源	とて馬車・塩原軌道路線跡

【区域(3)に関する課題と方針】

旧塩原御用邸新御座所のある塩原温泉天皇の間記念公園については、文化財周辺の景観という観点からも、公園全体を良好な状態で維持する必要があります。また、塩原温泉区域の歴史文化を後世に受け継いでいくためには、塩原温泉まちめぐり案内人の会による歴史文化に関するガイドツアーや、塩原文学研究会や塩原温泉郷土史研究会の研究活動はとても重要であり、その活動の継続が求められます。

塩原温泉天皇の間記念公園については、良好な状態を維持するため、塩原支所産業観光建設課と連携し、適切な施設管理に努めます。また、塩原温泉まちめぐり案内人の会・塩原文学研究会・塩原郷土史研究会化の活動については、地域の歴史文化を継承していくため、その活動に連携して取り組めます。

【区域(3)に関する措置】

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
(3)-1	塩原温泉天皇の間記念公園管理運営 指定管理による施設管理等（入場料徴収、清掃、消防設備点検、警備等）を実施。	行政 (塩原支所産業観光建設課)	市						
(3)-2	塩原温泉まちめぐり案内人の会との連携 塩原温泉まちめぐり案内人の会の活動に連携して取り組む。 活動内容：まちめぐりツアーを開催し、観光客へ歴史、文化、自然に関するガイドを行う。	団体	団体						
(3)-3	塩原文学研究会との連携[再掲(6)-2] 塩原文学研究会の活動に連携して取り組む。 活動内容：塩原地区の文学碑等の案内を実施。塩原文学研究と文学散歩ガイド、講話の実践。	団体	団体						
(3)-4	塩原温泉郷土史研究会との連携[再掲(9)-2] 塩原温泉郷土史研究会の活動に連携して取り組む。 活動内容：塩原温泉地区に関する郷土史を研究。	団体	団体						

第 7 章

第7章 歴史文化資源の防災・防犯

1 歴史文化資源の防災・防犯に関する課題

近年、全国的に、自然災害や火災等による文化財の損傷や滅失被害が相次いでいます。本市においても例外ではなく、過去様々な災害に見舞われてきました。近年では平成27年(2015)9月の関東・東北豪雨があげられます。温帯低気圧と台風の影響で線状降水帯が継続して発生し、記録的な大雨となったことで、塩原地区では土石流や地すべり、土砂崩れなどの土砂災害が発生し、住宅の半壊や浸水被害が生じたほか、断水や停電も発生し、市民生活にも大きな影響をあたえました。洪水や冠水による農作物の被害や農業施設、市道、林道等の被害もあり、復旧に多くの時間と費用を要しました。また、平成10年(1998)8月的那須水害では、記録的な豪雨により、赤沼・石田坂地区の余笹川が氾濫し、下中野地区の熊川護岸が決壊し、家屋、家畜、農地、公共施設等に多くの被害をもたらしました。風水害以外では、合併前の旧西那須野町において、平成5年(1993)10月に不審火によって西那須野町郷土資料館の本館が焼失し、多くの貴重な史料が焼失しました。

本市では、博物館等の公共施設には相応の設備が整備されていますが、整備されていないものや、所有者の判断に委ねているものが多くあります。地域の貴重な歴史文化資源を守るため、被災を未然に防ぐための防災・防犯の対策や、被災した場合の対応について、全庁的な連携や、消防組合、文化財所有者との連携のほか、那須資料ネットのような専門的な団体とも連携し、災害に備えていく必要があります。

2 歴史文化資源の防災・防犯に関する方針

本市では、災害対策基本法第42条の規定に基づき、平成18年(2006)3月に那須塩原市防災会議が「那須塩原市地域防災計画」を策定しました(令和2年(2020)2月改訂)。同計画では、本市における災害に係る予防、応急及び復旧・復興対策に関し、市、防災関係機関等が処理すべき事務又は業務の大綱を定め、災害対策を総合的かつ計画的に推進することにより、市域、市民の生命、身体、財産を災害から保護することを目的としており、歴史文化資源の防災・防犯も、同計画に準拠した方針を定めていくものとします。

(1) 各種災害に対する方針

- 指定等文化財の所有者又は管理団体若しくは施設の所有者に対し、防災・防犯に関する指導、助言を行います。
- 非常時に備えて収藏品等個々の歴史文化資源の所在、所有者等の情報を、文化財データベース等を活用して把握します。
- 風水害対策として、特性に応じた風水害予防管理や収蔵庫等の整備充実を推進します。
- 震災対策として、保管施設の耐震化など、必要に応じて措置を講じます。
- 火災対策として、特性に応じた防火管理や収蔵庫、消防設備、避雷針等の防火施設・設備の充実を促進します。また、防火標識等の設置を促進し、所有者や見学者等の防火意識を高めます。
- 「文化財防火デー」を中心に、消防組合と連携し、指定等文化財所有者や地域住民らが参加する

消防訓練を実施し、地域の歴史文化資源への防火意識を高めます。

- 災害時に歴史文化資源を守るため、平常時において、地域住民が資料のレスキュー・保全のノウハウを学べるよう、那須資料ネットと連携して資料保全の啓発活動に取り組みます。
- 栃木県の事業で実施している文化財パトロールに協力して取り組み、指定等文化財及び周辺のパトロールを強化することで、早期の修復等対策を実施し、文化財の良好な維持管理に努めます。
- 文化庁により定められた「国宝・重要文化財(建造物)等の防火対策ガイドライン」、「国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」(令和元年(2019)9月)及び「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」(令和元年12月)に基づき文化財や文化財収蔵施設の点検を行い、今後の防火対策に取り組みます。

(2) 被災後の歴史文化資源の取扱い

- 災害により歴史文化資源に被害が及んだ場合、被災した歴史文化資源は安易に移動、破棄せず、被害状況を確認後、那須資料ネットと連携し、専門家等の指導助言を受けながら移動・修復の可否を判断します。
- 浸水、汚損等による被害について、紙本類や木製品等は洗浄や乾燥について慎重を期す必要があることから、那須資料ネットと連携し、専門家等の指導助言のもと対応に当たります。
- 史跡や植物について、土地の崩落や倒木等の発生など二次災害も想定されることから、関係機関との協議のもと、必要に応じて一時的な措置を行い、本格的な修復については専門家等の指導助言を受けながら進めます。

3 歴史文化資源の防災・防犯に関する措置

課題、方針に基づく文化財の防災・防犯の取り組みとして、次の措置（事業）を実施します。

No.	事業名／事業概要	取組主体	財源	R5	R6	R7	R8	R9	R10~
防 - 1	文化財の防火管理事業 文化財の火災や盗難による消失を防ぐために、市、消防組合、文化財所有者、地域住民らによる防火訓練を行う。	行政 専門 団体 市民	市						
防 - 2	文化財パトロール事業 現在県の事業で実施している文化財パトロールを実施するとともに、事業で対象外となっている文化財等についても、巡回パトロールや監視を行う。	行政	市						
防 - 3	被災文化財レスキュー事業 市内の被災した文化財の救出・保管に努めるとともに、那須地区を中心とした被災文化財の救出・保全の体制整備について那須資料ネットと連携して取り組む。	行政 専門 団体	市 団体						
防 - 4	那須資料ネットとの連携 那須資料ネットの活動に連携して取り組む。 活動内容：レスキュー・保全資材の購入・配置。研修会、学習会等の実施による市民への啓蒙活動。災害時の被災資料のレスキュー・保全活動。	団体	団体						

第 8 章

第8章 文化財の保存・活用の推進体制

1 那須塩原市の体制

本市の文化財の保存・活用は、次のような体制により実施しています。引き続き、那須塩原市関連部局の連携を図りながら、国や栃木県の指導を仰ぎ、関係機関、文化財保護審議会、その他民間団体が連携して取り組む体制づくりを進めていきます。

那須塩原市【行政】

【所管課】

那須塩原市教育委員会事務局教育部生涯学習課

文化振興係【主担当】[職員4名(専門職員なし)]

- ・芸術文化の振興、芸術文化団体・郷土芸能関係団体の育成、その他文化振興に関すること。
- ・文化財の調査、指定、保護、管理、活用に関すること。
- ・埋蔵文化財、郷土資料の収集、調査、研究、その他文化財に関すること。

生涯学習係

- ・生涯学習、社会教育関連、地域学校協働活動、公民館に関すること。

【関係課】

企画部企画政策課

- ・総合計画、総合戦略、市の総合的な企画・調整、定住自立圏に関すること。

市民生活部環境課

- ・環境施策、自然環境の保護・保全に関すること。

産業観光部農林整備課

- ・農村公園の管理に関すること。

産業観光部商工観光課

- ・観光振興、観光資源、観光施設、自然公園、温泉の保護対策に関すること。

建設部都市計画課

- ・都市計画、都市景観、土地利用に関すること。

建設部都市整備課

- ・公園、緑地の整備及び維持管理に関すること。

教育部教育総務課

- ・教育行政の総合的な企画、調整に関すること。

教育部学校教育課

- ・学校教育に関する指導、社会科副読本に関すること。

関係施設

那須野が原博物館 [職員3名(専門職員3名)]【専門】

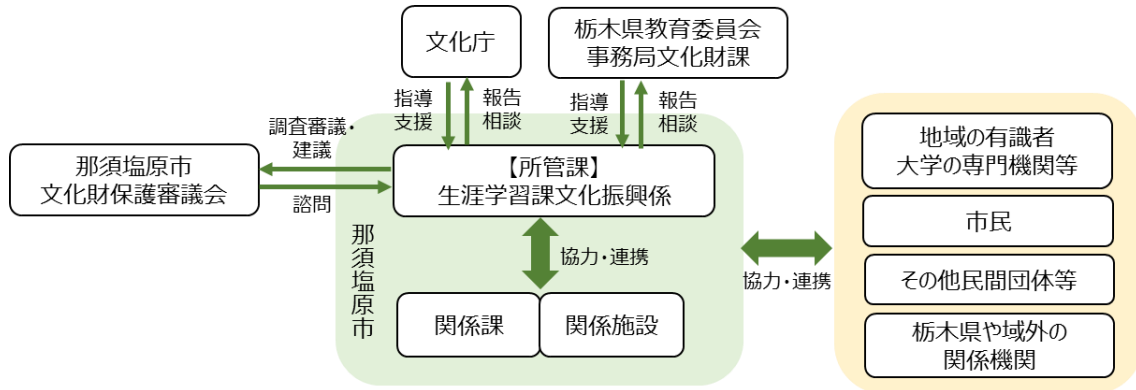
- ・自然、歴史、考古、民俗、美術、文学に関する資料の収集、整理、保存に関すること。
- ・博物館資料の展示、利用に関すること。

那須塩原市図書館

- ・歴史資料等の整理・保存、参考図書を提供に関すること。

那須塩原市文化財保護審議会
<ul style="list-style-type: none"> ・ 那須塩原市文化財保護条例の第 6 章、第 43 条により設置。教育委員会の附属機関。 ・ 教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。 ・ 学識経験のある者及び関係行政機関の職員 15 名以内で構成する。
その他民間団体等【団体】
<p>市内文化財関係研究・活動団体</p> <p>那須文化研究会・関谷郷土史研究会・塩原文学研究会・塩原郷土史研究会・那須資料ネット・那須野が原の自然調査会・石ぐら会・西那須野土器づくりの会・なすの機織の会・語り部ろばた・いろりの会・那須野が原西部田園空間博物館運営協議会</p> <p>那須塩原市観光局、黒磯観光協会、西那須野観光協会、塩原温泉観光協会</p> <p>那須塩原市商工会、西那須野商工会</p> <p>那須野ヶ原土地改良区連合、那須疏水土地改良区</p>
栃木県や域外の関係機関との連携
<p>栃木県教育委員会事務局文化財課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県内の国指定、県指定等の文化財の保存・活用に関すること。 <p>栃木県立博物館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県内の歴史文化、自然に関する資料の収集、保存、調査研究及び教育普及に関すること。 <p>栃木県立美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県関係の美術資料、美術作家に関する調査研究、資料の収集・保存、展示普及に関すること。 <p>栃木県立文書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県内の古文書・歴史資料等の収集・保存、調査研究、普及啓発に関すること。 <p>栃木県埋蔵文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県内の埋蔵文化財の保護及び調査研究活動。 <p>那須塩原警察署</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯・事故防止、埋蔵文化財・銃砲刀剣類の発見届に関すること。 <p>那須地区消防組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火災予防の啓発、指導に関すること。 <p>那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストーリーに関連した歴史や文化遺産を整備・活用した文化振興、観光振興に関すること。 <p>那須地域定住自立圏推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 那須地域定住自立圏の形成、協定、定住自立圏共生ビジョンに関すること。 <p>八溝山周辺地域定住自立圏推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八溝山周辺地域定住自立圏の形成、協定、定住自立圏共生ビジョンに関すること。

■ 推進体制の連携図

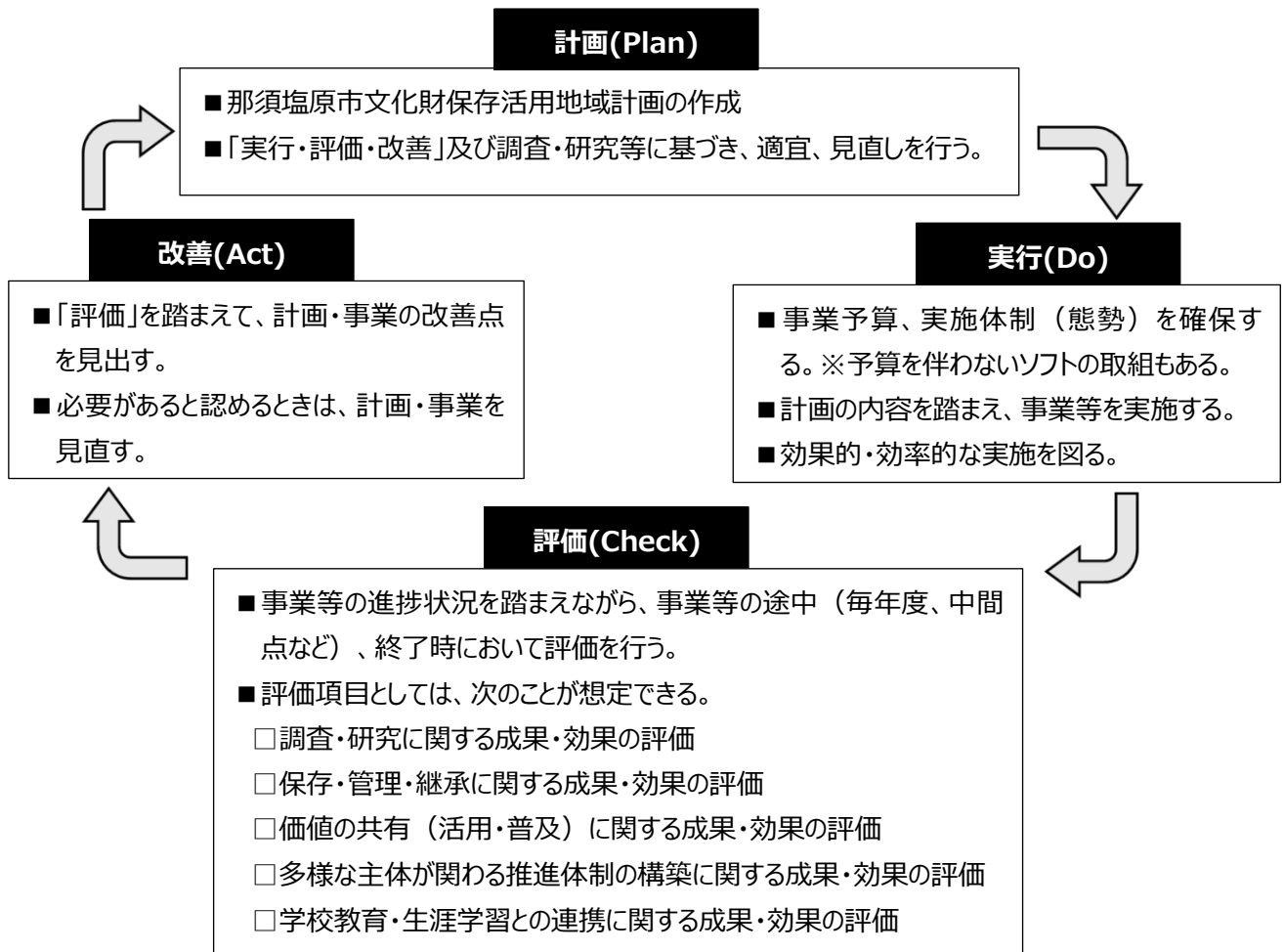


2 計画の進捗管理と自己評価

本計画の事業を円滑に実施し、効果を発揮させるためには、進行管理を的確に行う必要があります。進行の過程においては、PDCA サイクル（計画・実施・評価・改善）の考え方のもとに、計画的に事業を実施し、中間点や終了時点などでは、達成状況、課題などの把握・評価を行い、その成果を当該事業の改善及び他の事業や次の展開への反映に努めます。

毎年度の事業の進捗状況については、自己評価を行うとともに、那須塩原市文化財保護審議会にその結果を報告し、聴取した意見を踏まえて次年度以降の取組に活かすこととします。また、最終評価では、那須塩原市文化財保護審議会に計画の進捗状況や達成状況を諮ります。

なお、計画の進行管理の過程では、必要に応じて柔軟な見直しを行います。



參考資料

【参考資料】

1 文化財リスト

(1) 指定等文化財

No.	区分	種別	指定	市の分類	名称	指定年月日	所有者(管理者)	所在地等
1	有形	建造物	国指定	2	旧青木家那須別邸	平成 11 年 12 月 21 日	栃木県	青木 27
2	有形	建造物	国指定	1	那須疏水旧取水施設	平成 18 年 7 月 5 日 平成 29 年 2 月 23 日 追加指定	那須疏水土地改良区、那須塩原市	西岩崎（那須疏水公園）
3	有形	建造物	国登録	2	高木会館	平成 14 年 6 月 25 日	個人	本町 5-19
4	有形	建造物	国登録	8	加登屋旅館 本館	平成 28 年 2 月 25 日	個人	板室 859
5	有形	建造物	国登録	8	加登屋旅館 別館	平成 28 年 2 月 25 日	個人	板室 859
6	有形	建造物	国登録	8	加登屋旅館 悠仙閣	平成 28 年 2 月 25 日	個人	板室 859
7	有形	建造物	国登録	5	乃木神社本殿	令和元年 12 月 5 日	乃木神社	石林字狩野道上 793-3
8	有形	建造物	国登録	5	乃木神社拝殿	令和元年 12 月 5 日	乃木神社	石林字狩野道上 793-3
9	有形	建造物	県指定	2	旧塩原御用邸新御座所	昭和 56 年 5 月 12 日	那須塩原市	塩原 1266
10	有形	建造物	県指定	2	大山記念館洋館	平成 7 年 8 月 22 日	栃木県	下永田 4-3-52
11	有形	建造物	市指定	8	旧津久井家住宅	昭和 44 年 7 月 10 日	那須塩原市	橋本町 8-47
12	有形	建造物	市指定	5	三斗小屋温泉神社本殿	昭和 44 年 7 月 10 日	三斗小屋温泉神社	板室 910
13	有形	建造物	市指定	5	板室温泉神社本殿	昭和 44 年 7 月 10 日	板室温泉神社	板室 876
14	有形	建造物	市指定	6	峯薬師の仁王門	昭和 47 年 10 月 25 日	薬王寺	塩野崎 251
15	有形	建造物	市指定	8	室井家の四脚門	昭和 58 年 11 月 15 日	個人	無栗屋 35
16	有形	建造物	市指定	6	上黒磯の阿弥陀堂	平成 2 年 1 月 22 日	阿弥陀堂管理委員会	黒磯 449-2
17	有形	建造物	市指定	6	引久保百観音堂	平成 4 年 4 月 24 日	妙雲寺	上塩原 418
18	有形	建造物	市指定	5	新湯温泉神社（本殿）	平成 5 年 3 月 31 日	新湯温泉神社	湯本塩原 3
19	有形	建造物	市指定	5	上塩原の箒根神社（本殿）	平成 5 年 3 月 31 日	箒根神社	上塩原 8
20	有形	建造物	市指定	5	塩原八幡宮（本殿）	平成 5 年 3 月 31 日	塩原八幡宮	中塩原 11
21	有形	建造物	市指定	6	妙雲寺（宮殿）	平成 5 年 3 月 31 日	妙雲寺	塩原 665
22	有形	建造物	市指定	6	妙雲寺（本堂）	平成 5 年 3 月 31 日	妙雲寺	塩原 665
23	有形	建造物	市指定	5	畑下温泉神社（本殿）	平成 5 年 3 月 31 日	畑下温泉神社	塩原 443
24	有形	建造物	市指定	5	塩の湯温泉神社（本殿）	平成 5 年 3 月 31 日	塩の湯温泉神社	塩原 366
25	有形	建造物	市指定	5	茗荷温泉神社（本殿）	平成 5 年 3 月 31 日	茗荷温泉神社	塩原 366
26	有形	建造物	市指定	5	福渡温泉神社（本殿）	平成 5 年 3 月 31 日	福渡温泉神社	塩原 244
27	有形	建造物	市指定	6	金沢の薬師堂	平成 5 年 3 月 31 日	薬師堂仕守会	金沢 1137
28	有形	建造物	市指定	5	金沢の箒根神社（本殿）	平成 5 年 3 月 31 日	箒根神社	金沢 1562
29	有形	建造物	市指定	5	嶽山箒根神社高清水（遥拝殿）	平成 5 年 3 月 31 日	嶽山箒根神社	宇都野 939-2
30	有形	建造物	市指定	5	嶽山箒根神社奥の院（本殿・他 2 社）	平成 5 年 3 月 31 日	嶽山箒根神社	宇都野 1699
31	有形	建造物	市指定	8	数ヶ室の郷蔵	平成 9 年 1 月 29 日	個人	越堀 787-2
32	有形	建造物	市指定	6	金乗院奥の院地蔵堂	平成 11 年 3 月 11 日	金乗院	沼野田和 539-2
33	有形	建造物	市指定	6	上大貫地蔵堂「厨子」	平成 12 年 7 月 17 日	上大貫自治会	上大貫 2084
34	有形	建造物	市指定	6	峯薬師堂	平成 13 年 3 月 9 日	薬王寺	塩野崎 251
35	有形	建造物	市指定	2	品川弥二郎の旧念仏庵	平成 23 年 5 月 9 日	妙雲寺	塩原 665
36	有形	建造物	市指定	6	妙雲寺の薬師堂	平成 29 年 3 月 30 日	妙雲寺	塩原 665
37	有形	建造物	市指定	6	妙雲寺の塩溪文庫(旧間魔堂)	平成 29 年 3 月 30 日	妙雲寺	塩原 665
38	有形	絵画	県指定	10	絹本着色羅刹天	昭和 54 年 2 月 2 日	個人	
39	有形	絵画	市指定	10	よしに雁図（相馬寛哉作）	昭和 43 年 10 月 7 日	個人	

No.	区分	種別	指定	市の分類	名称	指定年月日	所有者(管理者)	所在地等
40	有形	絵画	市指定	10	鶉(秋月)図(相馬寛哉作)	昭和43年10月7日	個人	
41	有形	絵画	市指定	10	桐花に鳳凰図(相馬寛哉作)	昭和43年10月7日	那須塩原市	那須野が原博物館
42	有形	絵画	市指定	10	すすきに鶉図(相馬寛哉作)	昭和43年10月7日	個人	
43	有形	絵画	市指定	10	菊鶏図(相馬寛哉作)	昭和53年12月6日	那須塩原市	那須野が原博物館
44	有形	絵画	市指定	10	鑿道八景(高橋由一作)	昭和53年12月6日	那須塩原市	那須野が原博物館
45	有形	絵画	市指定	10	月に鶴図(相馬寛哉作)	昭和59年4月1日	個人	
46	有形	絵画	市指定	10	菊に鶏図(相馬寛哉作)	昭和59年4月1日	個人	
47	有形	絵画	市指定	10	すすきに鶉図(相馬寛哉作)	昭和59年4月1日	個人	
48	有形	絵画	市指定	10	三島通庸の肖像画(長原孝太郎作)	昭和59年4月1日	那須塩原市	那須野が原博物館
49	有形	絵画	市指定	10	三島弥太郎の肖像画(長原孝太郎作)	昭和59年4月1日	那須塩原市	那須野が原博物館
50	有形	絵画	市指定	10	紙本墨画 山水図(高久靄厓作)	平成21年3月27日	那須塩原市	那須野が原博物館
51	有形	絵画	市指定	10	絹本淡彩 夏暁山水図(高久靄厓作)	平成21年3月27日	那須塩原市	那須野が原博物館
52	有形	絵画	市指定	10	絹本墨画 松溪曳杖図(高久靄厓作)	平成21年3月27日	那須塩原市	那須野が原博物館
53	有形	絵画	市指定	10	西園雅集図屏風(高久靄厓作)	平成25年3月28日	那須塩原市	那須野が原博物館
54	有形	絵画	市指定	10	平家物語 小督と仲国(高久隆古作)	平成29年3月30日	那須塩原市	那須野が原博物館
55	有形	彫刻	市指定	6	板室本村の銅造大日如来座像	昭和44年7月10日	東福寺	板室 757
56	有形	彫刻	市指定	6	法真寺の木造阿弥陀如来座像	昭和47年10月25日	法真寺	東小屋 183
57	有形	彫刻	市指定	6	峯葉師の木造仁王像	昭和47年10月25日	葉王寺	塩野崎 251
58	有形	彫刻	市指定	5	東小屋の木造菅原道真座像	昭和61年4月16日	法真寺	東小屋 183
59	有形	彫刻	市指定	6	上黒磯の木造阿弥陀如来立像	平成2年1月22日	阿弥陀堂管理委員会	黒磯 449-2
60	有形	彫刻	市指定	6	引久保百観音及び三尊仏	平成4年4月24日	妙雲寺	上塩原 418
61	有形	彫刻	市指定	6	宗源寺の木造白衣観音坐像	平成6年12月1日	宗源寺	東町 1-8
62	有形	彫刻	市指定	6	寺子の地藏尊	平成23年5月9日	寺子・赤沼・石田坂講中	寺子 1277-1
63	有形	彫刻	市指定	10	かそのジサマ(南庄作作)	平成25年3月28日	那須塩原市	那須野が原博物館
64	有形	古文書	市指定	1	那須疏水関係文書	昭和41年3月18日	那須塩原市	那須野が原博物館
65	有形	古文書	市指定	1	那須開墾社関係文書	昭和41年3月18日	那須塩原市	那須野が原博物館
66	有形	古文書	市指定	4	原街道絵図	昭和58年11月15日	個人	
67	有形	古文書	市指定	1	北弥六の大輪地ヶ原絵図	昭和58年11月15日	個人	
68	有形	古文書	市指定	1	箭坪の大輪地ヶ原絵図	平成6年2月18日	箭坪自治会	箭坪 309-1
69	有形	古文書	市指定	8	黒磯郷所領安堵状	平成9年1月29日	個人	
70	有形	古文書	市指定	8	板室温泉「温泉記」	平成13年3月9日	那須塩原市	那須野が原博物館
71	有形	古文書	市指定	8	東小屋村全図	平成27年3月30日	法真寺	東小屋 183
72	有形	考古資料	国指定	3	深鉢形土器(残欠共)	平成元年6月12日	那須塩原市	那須野が原博物館
73	有形	考古資料	市指定	3	槻沢遺跡出土の縄文土器	昭和59年4月1日	那須塩原市	那須野が原博物館
74	有形	考古資料	市指定	8	関根の板碑	昭和59年4月1日	那須塩原市	那須野が原博物館
75	有形	歴史資料	県指定	5	温泉神社石幢	昭和33年8月29日	新湯温泉神社	湯本塩原 3
76	有形	歴史資料	市指定	8	芭蕉の句碑	昭和47年10月25日	鍋掛神社	鍋掛 609
77	有形	歴史資料	市指定	8	上黒磯の板碑	昭和47年10月25日	個人	黒磯 517-3
78	有形	歴史資料	市指定	8	城主安全碑	昭和47年10月25日	波立温泉神社	波立 250

No.	区分	種別	指定	市の分類	名称	指定年月日	所有者(管理者)	所在地等
79	有形	歴史資料	市指定	8	上厚崎の板碑	昭和 48 年 12 月 1 日	個人	上厚崎 520
80	有形	歴史資料	市指定	8	薬王寺の算額	昭和 60 年 6 月 20 日	薬王寺	塩野崎 270-1
81	有形	歴史資料	市指定	8	太政官老朱金札印刷用銅板	平成 3 年 9 月 25 日	個人	
82	有形	歴史資料	市指定	8	戸長役場印	平成 3 年 9 月 25 日	正観寺	鍋掛 873
83	有形	歴史資料	市指定	8	菊地家市十郎百歳長寿祝文書	平成 6 年 2 月 18 日	個人	
84	有形	歴史資料	市指定	1	印南丈作の頌徳碑	平成 6 年 3 月 31 日	烏森神社	三区町 635
85	有形	歴史資料	市指定	8	御野立所跡碑	平成 9 年 3 月 31 日	山腹：塩那森林管理署、山麓：折戸・臺沼・遅野沢三字共有地	山腹：関谷 1426、山麓：遅野沢 687-2
86	有形	歴史資料	市指定	8	関谷常夜灯	平成 9 年 3 月 31 日	個人	関谷 72-1
87	有形	歴史資料	市指定	1	穴沢用水水神祭絵図	平成 11 年 3 月 11 日	個人	
88	有形	歴史資料	市指定	8	高尾塚碑	平成 11 年 6 月 23 日	個人	塩原 283-2
89	有形	歴史資料	市指定	1	穴沢用水普請供養塔	平成 23 年 5 月 9 日	穴沢自治会	百村 979
90	有形	歴史資料	市指定	8	塩原温泉元湯古絵図	平成 23 年 5 月 9 日	妙雲寺	塩原 665
91	有形	歴史資料	市指定	5	塩原八幡宮棟札	平成 23 年 5 月 9 日	塩原八幡宮	中塩原 11
92	有形	歴史資料	市指定	6	引久保百観音堂棟札	平成 23 年 5 月 9 日	妙雲寺	上塩原 418
93	有形	歴史資料	市指定	4	関谷の駐蹕碑	平成 30 年 2 月 27 日	那須塩原市	関谷 384-3
94	民俗	有形民俗	市指定	4	石林の道標	平成 3 年 3 月 1 日	個人	石林 813-2
95	民俗	有形民俗	市指定	9	九尾の狐大絵馬	平成 6 年 2 月 18 日	西岩崎・亀山・細竹自治会	西岩崎 18-22
96	民俗	有形民俗	市指定	9	生駒神社の絵馬	平成 8 年 8 月 1 日	生駒神社	井口 1888
97	民俗	有形民俗	市指定	9	鶏鳥神社の絵馬	平成 8 年 8 月 1 日	鶏鳥神社	那須野が原博物館
98	民俗	有形民俗	市指定	9	穴沢の獅子舞衣装・用具一式	平成 29 年 3 月 30 日	穴沢自治会	百村 959
99	民俗	無形民俗	国選択	9	百村の百堂念仏舞	昭和 48 年 11 月 5 日	百村百堂念仏舞保存会	百村本田地区
100	民俗	無形民俗	県指定	9	塩原平家獅子舞	昭和 52 年 7 月 29 日	中塩原関白流平家獅子舞保存会	中塩原地区
101	民俗	無形民俗	県指定	9	関谷の城鞆舞	昭和 59 年 9 月 7 日	関谷城鞆舞保存会	関谷・下田野地区
102	民俗	無形民俗	県指定	9	上大貫の城鞆舞	昭和 60 年 1 月 18 日	上大貫城鞆舞保存会	上大貫地区
103	民俗	無形民俗	市指定	9	百村の百堂念仏舞	昭和 44 年 7 月 10 日	百村百堂念仏舞保存会	百村本田地区
104	民俗	無形民俗	市指定	9	木綿畑新田の太々神楽	昭和 47 年 10 月 25 日	木綿畑新田太々神楽保存会	木綿畑新田地区
105	民俗	無形民俗	市指定	9	三本木の獅子舞	昭和 48 年 12 月 1 日	三本木獅子舞保存会	三本木地区
106	民俗	無形民俗	市指定	9	高林の獅子舞	昭和 48 年 12 月 1 日	高林獅子舞保存会	高林地区
107	民俗	無形民俗	市指定	9	木綿畑本田の獅子舞	昭和 48 年 12 月 1 日	木綿畑本田獅子舞保存会	木綿畑本田地区
108	民俗	無形民俗	市指定	9	嶽山箒根神社梵天上げ	昭和 52 年 11 月 26 日	宇都野梵天保存会	宇都野 841
109	民俗	無形民俗	市指定	9	上塩原古代獅子舞	平成 9 年 3 月 31 日	上塩原古代獅子舞保存会	上塩原地区
110	民俗	無形民俗	市指定	9	上塩原源太踊り	平成 9 年 3 月 31 日	上塩原源太踊り保存会	上塩原地区
111	民俗	無形民俗	市指定	9	関谷囃子	平成 12 年 7 月 17 日	関谷囃子保存会	関谷地区
112	民俗	無形民俗	市指定	9	臺沼もちつき	平成 12 年 7 月 17 日	臺沼もちつき保存会	臺沼地区
113	民俗	無形民俗	市指定	9	遅沢ばやし	平成 21 年 3 月 27 日	遅沢ばやし保存会	東遅沢地区

No.	区分	種別	指定	市の分類	名称	指定年月日	所有者(管理者)	所在地等
114	民俗	無形民俗	市指定	9	西富山の獅子舞	平成 21 年 3 月 27 日	西富山獅子舞保存会	西富山地区
115	記念物	史跡	県指定	2	乃木希典那須野旧宅	昭和 41 年 3 月 18 日	乃木神社	石林 820
116	記念物	史跡	市指定	1	親王台	昭和 39 年 10 月 1 日	那須塩原市	一区町 122-14
117	記念物	史跡	市指定	1	常盤ヶ丘	昭和 39 年 10 月 1 日	那須塩原市	二つ室 73 他
118	記念物	史跡	市指定	1	烏ヶ森の丘	昭和 39 年 10 月 1 日	那須塩原市、烏森神社	三区町 5-6 他
119	記念物	史跡	市指定	1	赤田山	昭和 39 年 10 月 1 日	那須塩原市	上赤田 238
120	記念物	史跡	市指定	3	槻沢遺跡	昭和 39 年 10 月 1 日	個人	槻沢上の台 176 他
121	記念物	史跡	市指定	1	印南丈作翁屋敷跡	昭和 39 年 10 月 1 日	個人	三区町 627
122	記念物	史跡	市指定	1	三島農場事務所跡	昭和 39 年 10 月 1 日	那須塩原市	三島 5-1-8
123	記念物	史跡	市指定	1	那須開墾社烏ヶ森農場跡	昭和 39 年 10 月 1 日	那須塩原市	三区町 640
124	記念物	史跡	市指定	4	接骨木の一里塚	昭和 43 年 10 月 23 日	那須塩原市	接骨木 624-14、424-7、424-8、424-9、425-11
125	記念物	史跡	市指定	4	下大貫の一里塚(一対)	昭和 43 年 10 月 23 日	個人	下大貫 1114、1119
126	記念物	史跡	市指定	4	笹野曾里西の一里塚	昭和 44 年 1 月 1 日	個人	百村 3661
127	記念物	史跡	市指定	4	鍋掛の一里塚	昭和 44 年 1 月 1 日	鍋掛神社	鍋掛 944
128	記念物	史跡	市指定	8	芦屋道満の解脱塔	昭和 44 年 1 月 1 日	個人	沼野田和 605-8
129	記念物	史跡	市指定	6	木の俣地藏	昭和 44 年 1 月 1 日	東福寺	百村(深山)
130	記念物	史跡	市指定	8	板室古戦場	昭和 44 年 7 月 10 日		板室地区
131	記念物	史跡	市指定	4	板室本村の湯本道標	昭和 44 年 7 月 10 日	板室自治会	板室 757
132	記念物	史跡	市指定	4	三斗小屋宿跡	昭和 44 年 7 月 10 日	個人	板室(三斗小屋)
133	記念物	史跡	市指定	10	高久羆屋の墓	昭和 44 年 7 月 10 日	個人	越堀 856
134	記念物	史跡	市指定	8	境の紅葉	昭和 47 年 10 月 25 日	個人	島方 152
135	記念物	史跡	市指定	4	笹野曾里東の一里塚	昭和 47 年 10 月 25 日	個人	百村 3-9
136	記念物	史跡	市指定	8	黒羽嶺境界石	昭和 47 年 10 月 25 日	浄泉寺	越堀 116
137	記念物	史跡	市指定	8	千本松の観象台	昭和 47 年 12 月 1 日	農研機構	千本松 716-1
138	記念物	史跡	市指定	7	野沢(真木)城跡	昭和 48 年 5 月 3 日	個人	金沢 1564
139	記念物	史跡	市指定	7	鳩ヶ森城跡	昭和 48 年 5 月 3 日	個人	宇都野 786-3
140	記念物	史跡	市指定	7	塩原(要害)城跡	昭和 50 年 3 月 3 日	個人	上塩原 1002
141	記念物	史跡	市指定	4	板室本村の一里塚	平成 6 年 2 月 18 日	個人	板室 703-27
142	記念物	史跡	市指定	6	黒瀧山大日尊	平成 6 年 2 月 18 日	鳴内・湯宮・木綿畑本田・木綿畑新田自治会	鳴内 1560-2
143	記念物	史跡	市指定	1	那須疏水旧蛇尾川伏越出口	平成 9 年 3 月 31 日	那須疏水土地改良区	上横林 426
144	記念物	史跡	市指定	1	臺沼用水旧取水口	平成 9 年 3 月 31 日	塩原土地改良区	臺沼地内
145	記念物	史跡	市指定	4	横林の一里塚(1対)	平成 9 年 3 月 31 日	那須塩原市	横林 163-6、164-2
146	記念物	史跡	市指定	4	塩原軌道「塩原口」駅舎跡	平成 9 年 3 月 31 日	県北環境森林事務所	がま石園地内
147	記念物	史跡	市指定	7	狭間城跡	平成 9 年 3 月 31 日	個人	塩原 1157
148	記念物	史跡	市指定	7	離室城跡	平成 9 年 3 月 31 日	個人	塩原 1450-1
149	記念物	史跡	市指定	8	本郷町の馬頭観世音	平成 13 年 3 月 9 日	個人	本郷町 108-1
150	記念物	史跡	市指定	4	黒磯町道路元標	平成 27 年 3 月 30 日	那須塩原市	黒磯幸町 8-10
151	記念物	史跡	市指定	4	高林村道路元標	昭和 39 年 10 月 1 日	那須塩原市	高林 374
152	記念物	史跡	市指定	8	摂政宮殿下御野立所跡	昭和 39 年 10 月 1 日	塩那森林管理署	湯本塩原字前黒国 有林
153	記念物	天然記念物	国指定	11	逆杉	昭和 12 年 4 月 17 日	塩原八幡宮	中塩原 11
154	記念物	天然記念物	県指定	11	大黒岩(含化石チャネル堆積物)	令和 2 年 3 月 31 日	塩那森林管理署	金沢西山国有林
155	記念物	天然記念物	市指定	11	永田町の本杉	昭和 39 年 10 月 1 日	那須塩原市	永田町 866-2
156	記念物	天然記念物	市指定	11	妙雲尼塔の大杉	昭和 43 年 10 月 23 日	妙雲寺	塩原 665
157	記念物	天然記念物	市指定	11	塩原の材木岩	昭和 43 年 10 月 23 日	塩那森林管理署	塩原字東山国有林
158	記念物	天然記念物	市指定	11	嶽山箒根神社の大杉	昭和 43 年 10 月 23 日	嶽山箒根神社	宇都野 1699

No.	区分	種別	指定	市の分類	名称	指定年月日	所有者(管理者)	所在地等
159	記念物	天然記念物	市指定	11	光徳寺門前の杉並木	昭和47年10月25日	光徳寺	百村 2034
160	記念物	天然記念物	市指定	11	越堀の大杉	昭和47年10月25日	賀茂神社	越堀 112
161	記念物	天然記念物	市指定	11	鍋掛のイトヨ	昭和57年4月20日	鍋掛小学校	鍋掛(清川)
162	記念物	天然記念物	市指定	11	寺子のエドヒガン	昭和58年11月15日	さくら保存会	寺子 1060
163	記念物	天然記念物	市指定	11	ノギカワモズク	昭和59年7月1日	乃木神社・表堀組合	石林(乃木神社境内)
164	記念物	天然記念物	市指定	11	峯葉師のコウヤマキ	昭和60年6月20日	薬王寺	塩野崎 251
165	記念物	天然記念物	市指定	11	乃木神社の樹林	平成3年3月1日	乃木神社	石林 800-1
166	記念物	天然記念物	市指定	11	槻沢小学校の大モミジ	平成3年3月1日	槻沢小学校	槻沢 1-15
167	記念物	天然記念物	市指定	11	大山参道のモミジ並木	平成3年3月1日	那須塩原市	下永田 2-3 他
168	記念物	天然記念物	市指定	11	北和田のカヤ	平成6年2月18日	個人	北和田 334-1
169	記念物	天然記念物	市指定	11	宗源寺のエドヒガン	平成6年12月1日	宗源寺	東町 1-8
170	記念物	天然記念物	市指定	11	大山小学校のキガビ	平成10年3月31日	那須塩原市	下永田 8-7
171	記念物	天然記念物	市指定	11	正観寺のシダレザクラ	平成13年3月9日	正観寺	鍋掛 873
172	記念物	天然記念物	市指定	11	高柳の温泉神社のエノキ	平成13年11月30日	高柳の温泉神社	高柳 243
173	記念物	天然記念物	市指定	11	下中野のツバキ	平成14年4月23日	個人	下中野 361
174	記念物	天然記念物	市指定	11	前弥六のツバキ	平成14年4月23日	那須塩原市	前弥六南町 4
175	記念物	天然記念物	市指定	11	高林小学校のヒイラギ	平成14年4月23日	高林小学校	高林 483
176	記念物	天然記念物	市指定	11	本郷町のケンボナシ	平成14年4月23日	那須塩原市	本郷町 123-1
177	記念物	天然記念物	市指定	11	法真寺のエドヒガン	平成21年3月27日	法真寺	東小屋 159
178	記念物	天然記念物	市指定	11	旧青木小学校のエドヒガン	平成27年3月30日	那須塩原市	青木 13-93
179	記念物	天然記念物	市指定	11	乃木神社のシダレザクラ	平成27年3月30日	乃木神社	石林 795

(2) 未指定文化財

No.	区分	種別	市の分類	名称	所在地等
1	有形	建造物	1	那須疏水本幹水路	西岩崎~千本松
2	有形	建造物	1	那須疏水分水堰	小結開拓・青木・千本松
3	有形	建造物	1	那須疏水分水路	小結開拓・青木・千本松~
4	有形	建造物	2	黒磯駅貴賓室	黒磯
5	有形	建造物	2	松方別邸	千本松
6	有形	建造物	2	大山別邸和館	下永田
7	有形	建造物	2	旧塩原御用邸正門	塩原
8	有形	建造物	5	竈岩神社	板室
9	有形	建造物	5	愛宕神社 (※百村)	百村
10	有形	建造物	5	巻川温泉神社	百村
11	有形	建造物	5	愛宕神社 (※関谷)	関谷
12	有形	建造物	5	三島神社	三島
13	有形	建造物	5	毛利神社	豊浦
14	有形	建造物	5	佐野天満宮	佐野
15	有形	建造物	5	母智丘神社	上赤田
16	有形	建造物	5	蚕金神社	一区町
17	有形	建造物	5	養蚕神社	四区町(蚕影神社;三区町)
18	有形	建造物	5	保食神社	上赤田
19	有形	建造物	5	農蚕影神社	北赤田
20	有形	建造物	5	淡島神社	太夫塚
21	有形	建造物	5	生駒神社	石林
22	有形	建造物	5	鶏島神社	関根
23	有形	建造物	5	会三寺	寺子
24	有形	建造物	5	浄泉寺	越堀
25	有形	建造物	5	正観寺	鍋掛
26	有形	建造物	5	東福寺	百村
27	有形	建造物	5	光徳寺	百村
28	有形	建造物	6	板室本村大日堂	板室
29	有形	建造物	6	阿弥陀堂	百村

No.	区分	種別	市の分類	名称	所在地等
30	有形	建造物	8	下永田の「赤レンガ」建物	下永田
31	有形	建造物	8	明賀屋太古館	塩原
32	有形	建造物	8	三斗小屋温泉大黒屋本館	板室（三斗小屋）
33	有形	建造物	8	晩翠橋	橋本町・本郷町
34	有形	彫刻	10	阿弥陀如来立像	百村
35	有形	古文書	1	高根沢家文書	穴沢
36	有形	古文書	8	室井家文書（※北弥六）	北弥六
37	有形	古文書	8	渋井家文書	博物館
38	有形	古文書	8	津久井家文書	本郷町
39	有形	古文書	8	関谷家文書	沼野田和（文書館寄託）
40	有形	古文書	8	浄泉寺文書	越堀
41	有形	古文書	8	白井家文書	東小屋
42	有形	古文書	8	熊久保家文書	寺子
43	有形	古文書	8	光徳寺文書	百村
44	有形	古文書	8	箭坪行政区文書	箭坪
45	有形	古文書	8	上横林行政区文書	上横林
46	有形	古文書	8	君島家文書（※塩原）	塩原
47	有形	古文書	8	東泉家文書	横林
48	有形	古文書	8	幕府巡検使関係文書	関谷
49	有形	古文書	8	室井家文書（※板室（本村））	板室（本村）
50	有形	古文書	1	那須疏水土地改良区文書	接骨木
51	有形	古文書	8	蚕種・養蚕関係文書	三島(那須野が原博物館)
52	有形	古文書	8	東遅沢区有文書	三島(那須野が原博物館)
53	有形	古文書	8	遅沢区有文書	三島(那須野が原博物館)
54	有形	古文書	8	内田家文書	三島(那須野が原博物館)
55	有形	古文書	8	東関根区有文書	三島(那須野が原博物館)
56	有形	古文書	8	阿久津純奇贈文書	三島(那須野が原博物館)
57	有形	古文書	8	篠原旭男奇贈文書	三島(那須野が原博物館)
58	有形	古文書	8	大谷津浩奇贈文書	三島(那須野が原博物館)
59	有形	古文書	8	矢板家文書	三島(那須野が原博物館)
60	有形	古文書	8	黒磯郷土館所蔵文書	三島(那須野が原博物館)
61	有形	古文書	8	白石金十郎氏寄贈文書	三島(那須野が原博物館)
62	有形	古文書	8	品川彌三家文書	三島(那須野が原博物館)
63	有形	古文書	8	烏山農場関係文書	三島(那須野が原博物館)
64	有形	古文書	8	西那須野役場関係文書	三島(那須野が原博物館)
65	有形	古文書	8	狩野村役場関係文書	三島(那須野が原博物館)
66	有形	古文書	8	久利生斌家文書	三島(那須野が原博物館)
67	有形	古文書	8	西富山区有文書	三島(那須野が原博物館)
68	有形	古文書	8	佐野開墾関係文書	三島(那須野が原博物館)
69	有形	古文書	8	日本ボーイスカウト関係文書	三島(那須野が原博物館)
70	有形	古文書	8	矢板農場文書	三島(那須野が原博物館)
71	有形	古文書	8	品川貞之進日記	三島(那須野が原博物館)
72	有形	古文書	8	田島董日記	三島(那須野が原博物館)
73	有形	古文書	8	大谷津覚次郎日記	三島(那須野が原博物館)
74	有形	古文書	8	中嶋珠實家文書	三島(那須野が原博物館)
75	有形	古文書	8	石林区有文書	三島(那須野が原博物館)
76	有形	古文書	8	西那須野町議会関係文書	三島(那須野が原博物館)
77	有形	古文書	8	松本家文書	三島(那須野が原博物館)
78	有形	古文書	8	東野鉄道関係史料	三島(那須野が原博物館)
79	有形	古文書	8	三島農場関係史料	三島(那須野が原博物館)
80	有形	古文書	8	阿久津文一家文書	三島(那須野が原博物館)
81	有形	古文書	8	井口区有文書	三島(那須野が原博物館)
82	有形	古文書	8	那須開墾社第二農場史料	三島(那須野が原博物館)
83	有形	古文書	8	千本松農場文書	三島(那須野が原博物館)
84	有形	古文書	8	三島家文書	三島(那須野が原博物館)
85	有形	古文書	8	田島篤次家文書	三島(那須野が原博物館)

No.	区分	種別	市の分類	名称	所在地等
86	有形	古文書	8	矢板武関係書簡	三島(那須野が原博物館)
87	有形	古文書	8	矢板武関係書簡(家族宛)	三島(那須野が原博物館)
88	有形	古文書	8	矢板武関係書簡(個人書簡)	三島(那須野が原博物館)
89	有形	古文書	8	矢板武関係書簡(雑関係)	三島(那須野が原博物館)
90	有形	古文書	8	矢板武関係書簡(実業界関係書簡)	三島(那須野が原博物館)
91	有形	古文書	8	矢板武関係書簡(幕末・戸長時代)	三島(那須野が原博物館)
92	有形	古文書	8	三島座舞台用具文書	三島(那須野が原博物館)
93	有形	古文書	8	三島通庸伝原稿文書	三島(那須野が原博物館)
94	有形	古文書	8	森与平書簡	三島(那須野が原博物館)
95	有形	古文書	8	久島勝義寄贈文書	三島(那須野が原博物館)
96	有形	古文書	8	萬屋・渡辺憲一家文書	三島(那須野が原博物館)
97	有形	古文書	8	相馬権録家文書	三島(那須野が原博物館)
98	有形	古文書	8	栃木製糸会社関係文書	三島(那須野が原博物館)
99	有形	古文書	8	戸村家文書	三島(那須野が原博物館)
100	有形	古文書	8	那須温泉文書	三島(那須野が原博物館)
101	有形	古文書	8	吉田家文書	三島(那須野が原博物館)
102	有形	古文書	8	関東東山農業試験場畜産部資料	三島(那須野が原博物館)
103	有形	古文書	8	要覧(西那須野・黒磯・塩原・那須塩原)	三島(那須野が原博物館)
104	有形	古文書	8	松方峰雄家文書	三島(那須野が原博物館)
105	有形	古文書	8	箒根村馬匹組合関係文書	三島(那須野が原博物館)
106	有形	古文書	8	那須郡東遅沢村文書	三島(那須野が原博物館)
107	有形	古文書	8	塩原鉱山資料	三島(那須野が原博物館)
108	有形	古文書	8	スチール写真	三島(那須野が原博物館)
109	有形	古文書	8	天野武和家文書	三島(那須野が原博物館)
110	有形	古文書	8	紙焼き写真	三島(那須野が原博物館)
111	有形	古文書	8	湍井兼廣家文書	三島(那須野が原博物館)
112	有形	古文書	8	遅沢喜三郎家文書	三島(那須野が原博物館)
113	有形	考古資料	3	槻沢遺跡出土資料(指定文化財以外)	三島(那須野が原博物館)
114	有形	考古資料	3	井口遺跡出土資料	三島(那須野が原博物館)
115	有形	歴史資料	1	縦道	三島(那須野が原博物館)
116	有形	歴史資料	1	百間道	一区町～四区町
117	有形	歴史資料	1	阿波開墾記念碑	宮町(黒磯神社)
118	有形	歴史資料	8	戦死者供養塔	板室
119	有形	歴史資料	8	戊辰戦死若干墓	板室(三斗小屋)
120	有形	歴史資料	8	湯川の胸壁	板室(三斗小屋)
121	有形	歴史資料	8	大峠の塹壕	板室(三斗小屋)
122	有形	歴史資料	8	妙雲寺本堂の天井絵	塩原
123	有形	歴史資料	8	会三寺麻疹地藏	寺子
124	有形	歴史資料	8	高久靄厓追願碑	越堀
125	有形	歴史資料	8	与一不動像	鍋掛
126	有形	歴史資料	8	樋沢不動尊	樋沢(鍋掛地区)
127	有形	歴史資料	8	六十六部供養塔	越堀
128	有形	歴史資料	8	鍋掛清川地藏	鍋掛
129	有形	歴史資料	8	三島開墾紀恩碑	三島
130	有形	歴史資料	8	熾仁親王植樹記念碑	三区町
131	有形	歴史資料	8	大山蔵国葬墓所	下永田
132	有形	歴史資料	8	鍋島農場解放記念碑	鍋掛
133	有形	歴史資料	8	佐野農場記念碑	佐野
134	有形	歴史資料	8	千本松農場使用のバンダーとレーキ	三島(那須野が原博物館)
135	有形	歴史資料	8	三島農場史料	三島(那須野が原博物館)
136	有形	歴史資料	8	佐野農場史料	三島(那須野が原博物館)
137	有形	歴史資料	8	千本松農場史料	三島(那須野が原博物館)
138	有形	歴史資料	8	青木農場史料	三島(那須野が原博物館)
139	有形	歴史資料	8	松方正義使用の洋食器と調度品	三島(那須野が原博物館)
140	有形	歴史資料	8	大山別邸の西洋食器	三島(那須野が原博物館)
141	有形	歴史資料	8	煙草大神碑	槻沢

No.	区分	種別	市の分類	名称	所在地等
142	有形	歴史資料	8	庚申塔	寺子
143	有形	歴史資料	8	十九夜尊	太夫塚
144	有形	歴史資料	8	石ぐら	太夫塚
145	有形	歴史資料	8	軍馬慰霊碑	高林
146	有形	歴史資料	8	揚水ポンプ	養蚕神社境内（四区町）
147	有形	歴史資料	8	大田原城主寄贈石灯笼一对	板室（温泉）
148	有形	歴史資料	8	塩原を題材とした文学作品	塩原
149	有形	歴史資料	8	川瀬巴水作品	塩原
150	有形	歴史資料	8	文学碑	塩原
151	有形	歴史資料	8	記念碑	塩原
152	有形	歴史資料	8	白湯山石灯笼	板室（三斗小屋）
153	有形	歴史資料	8	白湯山石鳥居	板室（三斗小屋）
154	有形	歴史資料	8	三斗小屋宿の大日如来座像	板室（三斗小屋宿）
155	有形	歴史資料	8	白湯山シズが平の石仏群	板室（三斗小屋）
156	有形	歴史資料	8	水垢離場	板室（三斗小屋宿）
157	有形	歴史資料	8	板室大日堂白湯山碑	板室（三斗小屋）
158	有形	歴史資料	8	板室本村白湯山石灯笼	板室（本村）
159	有形	歴史資料	8	黒瀧山姥神像（黒瀧山信仰第9番札所）	鳴内～黒滝山
160	有形	歴史資料	8	葛籠石（つづら石）	樋沢（鍋掛地区）
161	民俗	無形民俗文化財	9	那須野ヶ原疏水太鼓	旧西那須野地区
162	民俗	無形民俗文化財	9	鍋掛もちつき唄	鍋掛
163	民俗	無形民俗文化財	9	東那須野おはやし	東那須野
164	民俗	無形民俗文化財	9	子ども疏水太鼓	旧西那須野地区
165	民俗	無形民俗文化財	9	太夫塚八木節笠踊り	太夫塚
166	民俗	無形民俗文化財	9	つきの木もちつき唄	槻沢
167	民俗	無形民俗文化財	9	那須苗取り田植唄	三島
168	民俗	無形民俗文化財	9	三島ばやし	三島
169	民俗	無形民俗文化財	9	大山八木節笠おどり	大山
170	民俗	無形民俗文化財	9	関谷子供囃子	関谷
171	民俗	無形民俗文化財	9	宇都野子供獅子舞	塩原
172	民俗	無形民俗文化財	9	塩原温泉まつりお囃子	塩原
173	民俗	無形民俗文化財	9	流響塩原太鼓	塩原
174	民俗	無形民俗文化財	9	黒磯巻狩太鼓	旧黒磯地区
175	民俗	無形民俗文化財	9	巻狩踊りお囃子	旧黒磯地区
176	民俗	無形民俗文化財	9	埼玉子供おはやし	埼玉
177	民俗	無形民俗文化財	9	愛宕神社の強飯式	箕輪
178	民俗	無形民俗文化財	9	塩原温泉まつり	塩原
179	記念物	史跡	1	巻川用水	百村
180	記念物	史跡	1	長島堀跡	西岩崎
181	記念物	史跡	1	長島堀取水口	西岩崎
182	記念物	史跡	1	穴沢用水	穴沢
183	記念物	史跡	1	小巻川用水	木綿畑（新田）
184	記念物	史跡	1	曇沼用水	曇沼
185	記念物	史跡	1	飲用水路跡	西岩崎・千本松
186	記念物	史跡	1	円筒分水	太夫塚
187	記念物	史跡	2	旧塩原御用邸石垣	塩原
188	記念物	史跡	4	富士見峠	寺子
189	記念物	史跡	4	越堀宿枅形跡	越堀
190	記念物	史跡	4	穴沢用水堀跡	穴沢
191	記念物	史跡	4	早坂の一里塚	板室（沼ッ原下）
192	記念物	史跡	4	百村の一里塚	百村
193	記念物	史跡	4	百村の道標（2点）	百村
194	記念物	史跡	4	木綿畑新田の道標	木綿畑新田
195	記念物	史跡	4	高林の一里塚	高林
196	記念物	史跡	4	高林の道標	高林
197	記念物	史跡	4	下ノ内の道標	高林

No.	区分	種別	市の分類	名称	所在地等
198	記念物	史跡	4	横林の道標	横林
199	記念物	史跡	4	新塩原駅舎跡	塩原
200	記念物	史跡	7	杉渡戸要害跡	杉渡戸（鍋掛地区）
201	記念物	史跡	7	田野城跡	下田野（箒根地区）
202	記念物	史跡	8	東小屋の間屋跡	東小屋
203	記念物	史跡	8	槻沢の間屋跡	槻沢
204	記念物	史跡	8	麦飯坂	板室（三斗小屋）
205	記念物	史跡	8	百村の馬頭観音群	百村
206	記念物	史跡	8	東赤田の馬頭観音	東赤田
207	記念物	天然記念物	11	塩原湖成層	塩原
208	記念物	天然記念物	11	木の葉化石園化石産出露頭	塩原
209	記念物	天然記念物	11	箒川要害公園露頭	塩原
210	記念物	天然記念物	11	塩原の天狗岩	塩原
211	記念物	天然記念物	11	薙刀岩	鹿股川上流
212	記念物	天然記念物	11	新湯の噴気	塩原
213	記念物	天然記念物	11	乙女の滝	板室
214	記念物	天然記念物	11	矢沢の滝	板室
215	記念物	天然記念物	11	回顧の滝	塩原
216	記念物	天然記念物	11	連珠の滝	塩原
217	記念物	天然記念物	11	竜化の滝	塩原
218	記念物	天然記念物	11	布滝	塩原
219	記念物	天然記念物	11	雄飛の滝	塩原
220	記念物	天然記念物	11	魚留の滝	塩原
221	記念物	天然記念物	11	黒瀧山大日尊清水	鳴内～黒滝山
222	記念物	天然記念物	11	津室川湧水地	西富山
223	記念物	天然記念物	11	乃木神社の静沼	石林
224	記念物	天然記念物	11	出釜	市内各地
225	記念物	天然記念物	11	旧青木家那須別邸前の参道	青木
226	記念物	天然記念物	11	旧青木家那須別邸裏の翌檜	青木
227	記念物	天然記念物	11	大山記念館裏の防風土塁と周りの樹木	下永田
228	記念物	天然記念物	11	実朝桜	塩原
229	記念物	天然記念物	11	ナンジャモンジャの木	一区町

※古文書については、本計画に掲載のものも含め、別途一覧を作成し管理していきます。

（３）その他歴史文化資源

No.	種別	市の分類	名称	所在地等
1	資料	8	三斗小屋誌	
2	資料	8	高林郷土史	
3	景観	2	松方別邸の池と銅像台	千本松
4	景観	8	千本松牧場の牧草地等の景観	千本松
5	馬車	8	とて馬車	塩原
6	行事	9	那須野巻狩	
7	音	9	黒瀧山念仏	鳴内～黒滝山
8	旧道	4	鍋掛宿の橋場道	鍋掛
9	旧道	4	黒磯街中の旧道	黒磯
10	旧道	4	阿久戸のダラダラ坂（旧道）	阿久戸
11	鉄道関係	4	塩原軌道路線跡	塩原
12	鉄道関係	4	市内各所の踏切名（大山街道踏切、南小屋踏切、高林街道踏切）	市内各地
13	地名	1	開拓地名	市内各地
14	地名	4	百村宿	百村
15	地名	4	板室宿	板室
16	地名	8	上郷屋	上郷屋
17	地名	8	南郷屋	南郷屋
18	地名	8	東小屋	東小屋

No.	種別	市の分類	名称	所在地等
19	地名	8	沓掛	沓掛
20	地名	8	関谷宿	関谷
21	地名	8	穴沢集落	穴沢
22	地名	8	油井集落	油井
23	地名	8	阿久戸集落	阿久戸
24	地名	8	百村新田	百村
25	地名	8	木綿畑新田	木綿畑
26	地名	8	長嶋新田	長嶋
27	地名	8	上大塚新田	上大塚
28	地名	8	下大塚新田	下大塚
29	地名	8	山中新田	山中

(4) 周知の埋蔵文化財

No.	区分	種別	市の分類	名称	所在地等
1	記念物	史跡	3	上ノ原遺跡	板室
2	記念物	史跡	3	七間々遺跡	板室
3	記念物	史跡	3	本田遺跡	細竹
4	記念物	史跡	3	道東遺跡	烏野目
5	記念物	史跡	3	小滝遺跡	上塩原
6	記念物	史跡	3	中山遺跡	上塩原
7	記念物	史跡	3	中山・清水原遺跡	上塩原
8	記念物	史跡	3	堂本遺跡	上塩原
9	記念物	史跡	3	要害遺跡	上塩原
10	記念物	史跡	3	白戸遺跡	上塩原
11	記念物	史跡	3	橋本遺跡	上塩原
12	記念物	史跡	3	松ノ木平遺跡	中塩原
13	記念物	史跡	3	湯宮遺跡	湯宮
14	記念物	史跡	3	小丸山遺跡	高林
15	記念物	史跡	3	下の内屋敷跡遺跡	高林
16	記念物	史跡	3	那須東原遺跡	戸田
17	記念物	史跡	3	川前遺跡	黒磯
18	記念物	史跡	3	熊久保遺跡	寺子
19	記念物	史跡	3	笹風遺跡	寺子
20	記念物	史跡	3	上原北遺跡	湯本
21	記念物	史跡	3	回顧橋遺跡	関谷
22	記念物	史跡	3	滝沢遺跡	関谷
23	記念物	史跡	3	鹿野崎遺跡	鹿野崎
24	記念物	史跡	3	長久保遺跡	鍋掛一区
25	記念物	史跡	3	赤坂遺跡	越堀
26	記念物	史跡	3	平場遺跡	寺子
27	記念物	史跡	3	大又カリ遺跡	寺子
28	記念物	史跡	3	東山遺跡	越堀
29	記念物	史跡	3	上荒屋上遺跡	寺子
30	記念物	史跡	3	上荒屋下遺跡	寺子
31	記念物	史跡	3	山城遺跡	越堀
32	記念物	史跡	3	寺子遺跡	寺子
33	記念物	史跡	3	蛇沢遺跡	寺子
34	記念物	史跡	3	塩ノ湯遺跡	塩原
35	記念物	史跡	3	西山・上の原遺跡	関谷
36	記念物	史跡	3	柿の島遺跡	関谷
37	記念物	史跡	3	和田山遺跡	金沢
38	記念物	史跡	3	玉貫遺跡	金沢
39	記念物	史跡	3	黒岩遺跡	金沢
40	記念物	史跡	3	自由学院農場遺跡	笹沼
41	記念物	史跡	3	上の台遺跡	鍋掛

No.	区分	種別	市の分類	名称	所在地等
42	記念物	史跡	3	古下遺跡	鍋掛
43	記念物	史跡	3	上の沢遺跡	鍋掛
44	記念物	史跡	3	杉渡土遺跡	越堀
45	記念物	史跡	3	上黒遺跡	金沢
46	記念物	史跡	3	野沢遺跡（金沢神社裏遺跡）	金沢
47	記念物	史跡	3	塚原遺跡	宇都野
48	記念物	史跡	3	町井遺跡	宇都野
49	記念物	史跡	3	赤田山北遺跡	上赤田
50	記念物	史跡	3	下山遺跡	接骨木
51	記念物	史跡	3	井口遺跡	井口
52	記念物	史跡	3	温泉神社東遺跡	西遅沢
53	記念物	史跡	3	西遅沢遺跡	西遅沢
54	記念物	史跡	3	東遅沢遺跡	東遅沢
55	記念物	史跡	3	西富山遺跡	西富山
56	記念物	史跡	3	槻沢北遺跡	槻沢
57	記念物	史跡	3	槻沢遺跡（指定区域を除く遺跡の範囲）	槻沢
58	記念物	史跡	3	稲荷山東遺跡	沼野田和
59	記念物	史跡	3	稲荷山遺跡	沼野田和
60	記念物	史跡	3	稲荷山・沼端遺跡	沼野田和
61	記念物	史跡	3	沼野田和遺跡	沼野田和
62	記念物	史跡	3	大輪地遺跡	佐野
63	記念物	史跡	3	前山北遺跡	宇都野
64	記念物	史跡	3	前山遺跡	宇都野
65	記念物	史跡	3	前山東遺跡	宇都野
66	記念物	史跡	3	小勝原遺跡	宇都野
67	記念物	史跡	3	町井・坂下遺跡	宇都野
68	記念物	史跡	3	間の沢西遺跡	宇都野
69	記念物	史跡	3	間の沢遺跡	宇都野
70	記念物	史跡	3	四区Ⅰ遺跡	四区町
71	記念物	史跡	3	三区Ⅰ遺跡	三区町
72	記念物	史跡	3	太夫塚遺跡	太夫塚
73	記念物	史跡	3	槻沢西遺跡	槻沢
74	記念物	史跡	3	無線中継所南Ⅱ遺跡	槻沢
75	記念物	史跡	3	下永田遺跡	下永田
76	記念物	史跡	3	無線中継所南Ⅰ遺跡	槻沢
77	記念物	史跡	3	権現山北遺跡	槻沢
78	記念物	史跡	3	上ノ台遺跡	下中野
79	記念物	史跡	3	間の沢下遺跡	宇都野
80	記念物	史跡	3	間の沢南遺跡	宇都野
81	記念物	史跡	3	三区Ⅱ遺跡	三区町
82	記念物	史跡	3	二ツ室岳北遺跡	二ツ室
83	記念物	史跡	3	二ツ室岳土塁跡	二ツ室
84	記念物	史跡	3	二ツ室岳南Ⅰ遺跡	二ツ室
85	記念物	史跡	3	平沢道上遺跡	石林
86	記念物	史跡	3	平沢道下遺跡	石林
87	記念物	史跡	3	緑出釜遺跡	緑
88	記念物	史跡	3	一区Ⅰ遺跡（a・b地点）	一区町
89	記念物	史跡	3	二ツ室岳南Ⅱ遺跡	二ツ室
90	記念物	史跡	3	蚕金神社前遺跡	一区町
91	記念物	史跡	3	一区Ⅱ遺跡	一区町
92	記念物	史跡	3	草刈道下遺跡	石林
93	記念物	史跡	3	乃木農場遺跡	石林

2 関連文化財群の構成歴史文化資源リスト

① 那須の大地と連山～大扇状地と海の記憶～

指定等文化財	塩原の材木岩（市・天）※・大黒岩(含化石チャネル堆積物)（県・天）・常盤ヶ丘（市・史）・烏ヶ森の丘（市・史）・赤田山（市・史）・箭坪の大輪地ヶ原絵図（市・古）・那須疏水旧蛇尾川伏越出口（市・史）
未指定文化財	塩原湖成層・木の葉化石園化石産出露頭・箒川要害公園露頭・塩原の天狗岩・薙刀岩・回顧の滝・連珠の滝・竜化の滝・布滝・雄飛の滝・魚留の滝・関谷断層・蛇尾川・津室川湧水地・出釜

※（指定・種別）を記載。以下、②～⑥の指定等文化財についても同様。

② 歴史が示す那須塩原～縄文から戦まで～

指定等文化財	深鉢形土器（残欠共）（国指・考）・槻沢遺跡（市・史）・槻沢遺跡出土の縄文土器（市・考）・塩原（要害）城跡（市・史）・鳩ヶ森城跡（市・史）・野沢（真木）城跡（市・史）・離室城跡（市・史）・狭間城跡（市・史）・城主安全碑（市・歴）・黒羽領境界石（市・史）・黒磯郷所領安堵状（市・古）・菊地家市十郎百歳長寿祝文書（市・歴）・関谷の城鉄舞（県・民）・上大貫の城鉄舞（県・民）・室井家の四脚門（市・建）・数ヶ室の郷蔵（市・建）・大輪地ヶ原絵図（2枚）（市・古）・三斗小屋宿跡（市・史）・板室古戦場（市・史）・妙雲寺（本堂）（市・建）・妙雲寺（宮殿）（市・建）・塩原八幡宮（本殿）（市・建）・太政官耆朱金札印刷用銅板（市・歴）
未指定文化財	槻沢遺跡出土資料（指定文化財以外）・井口遺跡出土資料・田野城跡・杉渡戸要害跡・北弥六室井家文書・洪井家文書・津久井家文書・関谷家文書・浄泉寺文書・白井家文書・熊久保家文書・光徳寺文書・箭坪行政区文書・上横林行政区文書・君島家文書・阿久戸の戦死者供養塔・三斗小屋戌辰戦死若干墓・湯川の胸壁・大峠の塹壕・妙雲寺本堂の天井絵
その他歴史文化資源	那須野巻狩・上郷屋・南郷屋・東小屋・沓掛・三斗小屋誌・高林郷土史・板室宿・関谷宿・穴沢集落・油井集落・阿久戸集落

③ 関東と東北を結ぶ道～街道と鉄道～

指定等文化財	寺子の地藏尊（市・彫）・寺子のエトヒガン（市・天）・高久靄屋の墓（市・史）・越堀の大杉（市・天）・黒羽領境界石（市・史）・芭蕉の句碑（市・歴）・鍋掛のイトヨ（市・天）・正観寺のシダレザクラ（市・天）・鍋掛の一里塚（市・史）・原街道絵図（市・古）・本郷町の馬頭観世音（市・史）・本郷町のケンボナシ（市・天）・石林の道標（市・民）・三斗小屋宿跡（市・史）・板室本村の湯本道標（市・史）・板室古戦場（市・史）・光徳寺門前の杉並木（市・天）・一里塚（板室本村東西一対、笹野曾里東西一対、横林東西一対、下大貫一対）（市・史）・鑿道八景（市・絵）・三島通庸の肖像画（市・絵）・関谷常夜灯（市・歴）・関谷の駐蹕碑（市・歴）・関谷の城鉄舞（県・民）・関谷囃子（市・民）・塩原軌道「塩原口」駅舎跡（市・史）
未指定文化財	会三寺麻疹地蔵・高久靄屋追頭碑・鍋掛もちつき唄・与一不動像・樋沢不動尊・葛籠石・六十六部供養塔・浄泉寺文書・鍋掛清川地蔵・東小屋の間屋跡・槻沢の間屋跡・麦飯坂・早坂の一里塚・板室本村大日堂・百村の一里塚・百村の道標 2点・百村馬頭観音群・愛宕神社・阿弥陀堂・阿弥陀如来立像・巻川温泉神社・木綿畑新田の道標・高林の一里塚・高林の道標・下ノ内の道標・横林の道標・東泉家文書・幕府巡検使関係文書（関谷）・黒磯駅貴賓室・新塩原駅舎跡・会三寺・浄泉寺・正観寺・東福寺・光徳寺・富士見峠・越堀宿枡形跡・穴沢用水堀跡
その他歴史文化資源	鍋掛宿の橋場道・黒磯街中の旧道・板室宿・阿久戸のダラダラ坂（旧道）・百村宿・塩原軌道路線跡・市内各所の踏切名（大山街道踏切、南小屋踏切、高林街道踏切）

④ 水の恵みを求めて～疏水と大農場～

指定等文化財	穴沢用水水神祭絵図（市・歴）・穴沢用水普請供養塔（市・歴）・臺沼用水旧取水口（市・史）・東小屋村全図（市・古）・那須疏水旧取水施設(東水門・西水門・導水路及び余水路、東隧道、西隧道) 附指定(疏水橋、1号護岸、2号護岸、東3号護岸、西3号護岸、那須原疏水線實測全図、那須原疏水線建築圖綴、那須原疏水工事竣功説明)（国指・建）・那須疏水旧蛇尾川伏越出口（市・史）・那須疏水関係文書（市・古）・印南文作翁屋敷跡（市・史）・烏ヶ森の丘（市・史）・常盤ヶ丘（市・史）・親王台（市・史）・赤田山（市・史）・印南文作の頌徳碑（市・歴）・那須開墾社烏ヶ森農場跡（市・史）・那須開墾社関係文書（市・古）・三島農場事務所跡（市・史）・旧青木家那須別邸（国指・建）・乃木希典那須野旧宅（県・史）・大山記念館洋館（県・建）・旧塩原御用邸新御座所（県・建）・大山参道のモミジ並木（市・天）・乃木神社の樹林（市・天）・品川弥二郎の旧念仏庵（市・建）・乃木神社本殿（国登・建）・乃木神社拝殿（国登・建）
--------	---

未指定文化財	巻川用水・長島堀跡・長島堀取水口・穴沢用水・山口堀・小巻川用水・護安沢堀・壘沼用水・光徳寺文書・大野家文書・高根沢家文書・那須疏水本幹水路・那須疏水分水堰・那須疏水分水路・飲用水路跡・百間道・三島開墾記念碑・熾仁親王植樹記念碑・大山巖国葬墓所（開拓関連資料）・三島神社・毛利神社・乃木神社・佐野天満宮・母智丘神社・鍋島農場解放記念碑・佐野農場記念碑・下永田の「赤レンガ」建物・阿波開墾記念碑・千本松農場使用のバインダーとレーキ・三島農場史料・佐野農場史料・千本松農場史料・青木農場史料・松方別邸・大山別邸和館・松方正義使用の西洋食器と調度品・大山別邸の西洋食器・松方家文書・青木家文書・三島神社・毛利神社・佐野天満宮・母智丘神社・鍋島農場解放記念碑・下永田の「赤レンガ」建物・矢板武関係書簡・旧青木家那須別邸前の参道と裏の翌楢・乃木神社の静沼・大山記念館裏の防風土塁と周りの樹木
その他歴史文化資源	百村新田・木綿畑新田・長嶋新田・上大塚新田・下大塚新田・山中新田・東三島・西三島・三島・永田町・千本松・四区町・三区町・二区町・一区町・北二つ室・二つ室・下永田・埼玉・共墾社・豊浦・渡辺・佐野・青木一区など開拓地名 千本松牧場の牧草地等の景観・松方別邸の池と銅像台

⑤ 産業と民俗～農村のくらしと文化～

指定等文化財	旧津久井家住宅（市・建）・室井家の四脚門（市・建）・数ヶ室の郷蔵（市・建）・寺子の地藏尊（市・彫）・上黒磯の阿弥陀堂（市・建）・上大貫地藏堂「厨子」（市・建）・本郷町の馬頭観世音（市・史）・九尾の狐大絵馬（市・民）・生駒神社の絵馬（市・民）・鶏鳥神社の絵馬（市・民）・百村の百堂念仏舞（国選・市・民）・関谷の城鉦舞（県・民）・上大貫の城鉦舞（県・民）・塩原平家獅子舞（県・民）・遅沢ばやし（市・民）・西富山の獅子舞（市・民）・関谷囃子（市・民）・上塩原源太踊り（市・民）・上塩原古代獅子舞（市・民）・三本木の獅子舞（市・民）・木綿畑新田の太々神楽（市・民）・木綿畑本田の獅子舞（市・民）・高林の獅子舞（市・民）・嶽山箒根神社梵天上げ（市・民）・壘沼もちつき（市・民）・穴沢の獅子舞衣装・用具一式（市・民）
未指定文化財	煙草大神碑・蚕金神社・養蚕神社・保食神社・農蚕影神社・庚申塔・十九夜尊・石ぐら（石塚）・淡島神社・赤田の馬頭観音・高福寺の馬頭観音像群・軍馬慰霊碑・生駒神社・鶏鳥神社・揚水ポンプ・那須野ヶ原疏水太鼓・鍋掛もちつき唄・東那須野おはやし・子ども疏水太鼓・太夫塚八木節笠踊り・つきの木もちつき唄・那須苗取り田植唄・三島ばやし・大山八木節笠おどり・関谷子供囃子・宇都野子供獅子舞・塩原温泉まつりお囃子・流響塩原太鼓・黒磯巻狩太鼓・巻狩踊りお囃子・埼玉子供おはやし・愛宕神社の強飯式

⑥ 温泉が生み出す文化～信仰・文学・芸術～

指定等文化財	塩原温泉元湯古絵図（市・歴）・温泉神社石幢（県・歴）・新湯温泉神社（本殿）（市・建）・畑下温泉神社（本殿）（市・建）・塩の湯温泉神社（本殿）（市・建）・茗荷温泉神社（本殿）（市・建）・福渡温泉神社（本殿）（市・建）・板室温泉「温泉記」・板室本村の湯本道標（市・史）・加登屋旅館本館（国登・建）・加登屋旅館別館（国登・建）・加登屋旅館愁仙閣（国登・建）・板室温泉神社本殿（市・建）・三斗小屋温泉神社本殿（市・建）・黒瀧山大日尊（市・史）・嶽山箒根神社奥の院（本殿・他2社）（市・建）・嶽山箒根神社高清水（遥拝殿）（市・建）・嶽山箒根神社梵天上げ（市・民）・嶽山箒根神社の大杉（市・天）・板室本村の銅造大日如来座像（市・彫）
未指定文化財	夷朝桜・旧塩原御用邸正門・旧塩原御用邸石垣・明賀屋太古館・塩原温泉まつり・三斗小屋温泉大黒屋本館・大田原城主寄贈石灯笼一对（板室温泉神社）・塩原を題材とした文学作品・川瀬巴水の作品・刑部人の作品・文学碑・記念碑・白湯山石灯笼・白湯山石鳥居・三斗小屋宿の大日如来座像・白湯山シズが平の石仏群・水垢離場・板室本村白湯山石碑・板室本村白湯山石灯笼・室井家文書・板室本村大日堂・箒岩神社・黒瀧山姥神像（黒瀧山信仰第9番札所）・新湯の噴気・乙女の滝・矢沢の滝・黒瀧山大日尊清水
その他歴史文化資源	とて馬車・黒瀧山念仏

3 歴史年表

本市の歴史概要について、指定文化財を軸とした略年表を以下に示します。

時代	那須塩原市の出来事		那須塩原市の文化財	
旧石器 縄文 弥生 古墳		槻沢・井口・寺子・金沢・上塩原ほかに人が住み、集落が営まれる	中期~後期 中期 中期	槻沢遺跡（市指） 深鉢形土器（残欠共）（国指） 槻沢遺跡出土の縄文土器（市指）
飛鳥	646 679	那須国、下野国に編入され、那須郡となる 山本良章、嶽山神社を創建（伝）	679 708	嶽山箒根神社奥の院（本殿・他2社）（市指） 金沢の薬師堂（市指）
奈良・平安	806 1059 1089 1156 1178	塩原元湯で温泉が発見される（伝） 板室温泉が発見される 山本上総介家隆、鳩ヶ森城を築く（伝） 塩原八郎家忠が塩原ほかを領し八郎館を築く（伝） 塩原八郎家忠、塩原（要害）城を築いて移る（伝）	806 807 912 1018 1089 1178	新湯温泉神社（本殿）（市指） 塩原八幡宮（本殿）（市指） 金沢の箒根神社（本殿）（市指） 塩の湯温泉神社（本殿）（市指） 鳩ヶ森城跡（市指） 塩原（要害）城跡（市指）
鎌倉・室町	1185 1193 1312 1408 1410 1461 1476 1543 1544	黒館五郎、磯勝光らが黒磯を開く（伝） 源頼朝が那須野一帯で大規模な巻狩りを行う 妙雲寺開山 茶臼岳噴火 茶臼岳噴火、死者 180 人 大館弾正義則、野沢（真木）城を築く（伝） 小山伊勢守が塩原を領有（伝） 大田原城が落成し関谷・上大貫の城蹴舞起る 天文 13 年 8 月、箒川右岸の光明寺流される（伝）	1189 年不詳 1333 年不詳 1356 1380 1441 1445 1461 1476 1482 1518 1519 1528 1545 年不詳	境の紅葉（市指） 嶽山箒根神社高清水（遙拝殿）（市指） 木の俣地藏（市指） 上厚崎の板碑（市指） 絹本著色羅刹天（県指） 関根の板碑（市指） 離室城跡（市指） 上塩原の箒根神社（本殿）（市指） 福渡温泉神社（本殿）（市指） 野沢（真木）城跡（市指） 狭間城跡（市指） 引久保百観音及び三尊仏・引久保百観音堂棟札（市指） 温泉神社石瞳（県指） 黒磯郷所領安堵状（市指） 塩原八幡宮棟札（市指） 上大貫の城蹴舞（市指） 上黒磯の板碑（市指）
安土 桃山	1590 1600	那須総領資晴改易 徳川家臣水谷勝俊、鍋掛に宿営 接骨木堀（藁沼用水の前身）完成	1598 1600 1604	茗荷温泉神社（本殿）（市指） 関谷の城蹴舞（県指） 鍋掛の一里塚（市指）
江戸	1627 1629 1645 1646 1647	奥州街道整備（このころ鍋掛宿開設） 宝永 6 年、箒川洪水（伝） 原街道（氏家～白河）が開通 越堀宿が開設される 巻川用水が開かれる		

※（伝）は伝承として残る出来事

時代	那須塩原市の出来事	那須塩原市の文化財	
江戸	1652 承応元年、箒川洪水（伝）		
	1658 新田開発のための長島堀完成		
	1659 万治2年、那須地方大地震 塩原元湯 80余戸家々埋まる 死者 11名		
	1672 白湯山大権現開基		
	1683 天和3年、戸板山崩れ、五十里湖出現		
	1689 芭蕉、陸奥に向かう途次、野間にて馬子に短冊を与える（伝）	1687 畑下温泉神社（本殿）（市指）	
	1695 会津中街道（氏家～会津若松）開通	1695? 下大貫の一里塚（市指） 1695? 横林の一里塚（一対）（市指） 1695? 笹野曾里東・西の一里塚（一対）（市指） 1695? 板室本村の一里塚（市指） 1695? 接骨木の一里塚（市指） 1695? 西富山の獅子舞（市指） 1702 下厚崎の獅子舞（市指）	
	1713 下塩原村誕生（福渡、塩釜、塩の湯、畑下、門前、古町）	1714 板室温泉「温泉記」（市指） 1720 城主安全碑（市指） 1721 木造菅原道真坐像（市指） 1725 石林の道標（市指） 1727 板室本村の銅造大日如来坐像・寺子の地藏尊（市指） 1731 妙雲寺の塩溪文庫（旧閻魔堂）・妙雲寺の薬師堂（市指） 1740 妙雲寺（本堂）（市指） 1741 上塩原古代獅子舞（市指） 1743 上黒磯の阿弥陀堂（市指） 1757 大輪地ヶ原絵図（市指）	
	1770頃 穴沢用水（旧木ノ俣用水の前身）完成		
	1771 墓沼用水が石林から大田原まで延長		
	1783 那須地方を大飢饉が襲う（天明の大飢饉）	1775 妙雲寺（宮殿）（市指） 1778 穴沢用水普請供養塔（市指） 1789 数ヶ室の郷蔵（市指） 1792 黒瀧山大日尊（市指） 1808 芭蕉の句碑・東小屋村全図（市指）	
	1810 代官山口鉄五郎が山口堀開削（新田開発）	1816 高尾塚碑（市指） 1827 板室温泉神社本殿（市指）	
	1830 大田原宿の商人若林善兵衛が南郷屋付近を開墾	1836 板室本村の湯本道標（市指） 1837 菊地家市十郎百歳長寿文書（市指）	
	1843 杉渡土出身の高久霧厓死去	1848 関谷常夜灯（市指） 1850 九尾の狐大絵馬（市指） 1854 薬王寺の算額（市指） 1855 旧津久井家住宅・穴沢の獅子舞（市指）	
	1868 戊辰戦争（板室の戦い・三斗小屋の戦い） 石林村・塩原村・板室村ほか戦火で焼かれる	1868 板室古戦場（市指） 年不詳 塩原温泉元湯古絵図・本郷町の馬頭観世音・室井家の四脚門・三本木の獅子舞・高久霧厓の墓・関谷囃子・木造白衣観音坐像・三斗小屋宿跡・黒羽領境界石（市指）	
	明治		1868 太政官老朱金札印刷用銅版（市指） 1877 遅沢ばやし（市指） 1878 千本松の観象台（市指）
		1880 三島通庸ら肇耕社（後の三島農場）を開設	

時代	那須塩原市の出来事	那須塩原市の文化財		
明治	1880 印南丈作・矢板武ら那須開墾社を開設	1881 親王台（市指） 1885・1905 那須疏水旧取水施設（国指） 1885 那須疏水旧蛇尾川伏越出口（市指） 1885 鑿道八景（市指） 1885 品川弥二郎の旧念仏庵（市指） 1886 印南丈作翁屋敷跡（市指） 1888 旧青木家那須別邸（国指） 1888 常盤ヶ丘（市指） 1892 乃木希典那須野旧宅（県指） 1898 印南丈作の頌徳碑（市指） 1900 藪沼用水旧取水口（市指） 1904 鶏鳥神社の絵馬（市指） 1905 旧塩原御用邸新御座所（県指） 1905? 大山記念館洋館（県指） 年不詳 原街道絵図・戸長役場印・芦屋道満の解脱塔（市指）		
	1881 加治屋開墾場（後の大山・西郷農場）・青木農場・佐野農場等発足			
	1882 那須原飲用水路（細竹～千本松）が完成			
	1884 新陸羽街道（国道4号）・塩原街道開通			
	1885 那須疏水通水			
	1885 那須開墾社及び加治屋開墾場地域に那須野村誕生			
	1885 毛利（豊浦）農場発足			
	1886 宇都宮～黒磯間の鉄道開通（西那須野駅・黒磯駅開業）			
	1889 町村制施行により東那須野村・鍋掛村・高林村・西那須野村・狩野村・塩原村・箒根村誕生			
	1893 新木ノ俣用水完成			
	1898 東那須野駅開業			
	1908 西那須野～大田原間に那須人車軌道開通			
	1912 黒磯町誕生（東那須野村から分離独立） 関谷～西那須野間に塩原軌道が開通			
	大正		1914 黒磯～那須間に乗合自動車が運行開始	1913 三島通庸の肖像画（市指） 1915 木綿畑新田の太々神楽（市指） 1915 乃木神社本殿（国登録） 1915 乃木神社拝殿（国登録） 1916 乃木神社のシダレザクラ（市指） 1917 大山参道のモミジ並木（市指） 1917 上塩原源太踊り（市指） 1918 高木会館（国登録） 1919 高林村道路元標（市指） 1919 黒磯町道路元標（市指） 1919? 加登屋旅館本館（国登録） 1922 塩原軌道跡「塩原口」駅舎跡（市指） 1922 三島弥太郎の肖像画（市指） 1923 御野立所跡碑（山頂）（山麓）（市指） 1923 摂政宮殿下御野立所跡（市指）
			1916 乃木神社創建	
1918 西那須野～黒羽間に東野鉄道が開通				
1919 塩原村が町村制施行により塩原町となる				
1922 塩原軌道、新塩原まで延長し電化する（同年塩原口まで延長）				
昭和		1931 黒磯駅前大火	1927 金乗院奥の院地藏堂（市指）	
		1932 5代目晩翠橋架橋（後の日本土木遺産）	1937? 加登屋旅館別館（国登録）	
		1942 那須野陸軍飛行場開設	1952? 加登屋旅館悠仙閣（国登録）	
		1945～ 戦後の開拓団発足		
		1947 多くの大農場が解体される		
	1950 塩原町が日光国立公園の一部に指定される			
1955 黒磯町・鍋掛村・東那須野村・高林村が合併（黒磯町）				

時代	那須塩原市の出来事		那須塩原市の文化財	
昭和	1955	西那須野町と狩野村が合併（西那須野町）	1973	かそのジサマ（市指）
	1956	塩原町と箒根村が合併（塩原町）		
	1966	新木ノ俣用水隧道事故		
	1970	黒磯町市制施行		
	1973	深山ダムができる		
	1974	東北自動車道矢板～白河間開通（西那須野塩原 IC 開設）		
	1982	東北新幹線開通（那須塩原駅開業）		
平成	1998	那須水害		
	2004	那須野が原博物館開館		
	2005	黒磯市・西那須野町・塩原町の合併により那須塩原市誕生		
	2009	東北自動車道に黒磯板室 IC 開設		
	2011	東日本大震災		
	2018	日本遺産認定（※那須塩原市・大田原市・矢板市・那須町の4市町による認定）		
令和	2020	那須塩原市図書館（通称みるる）開館		

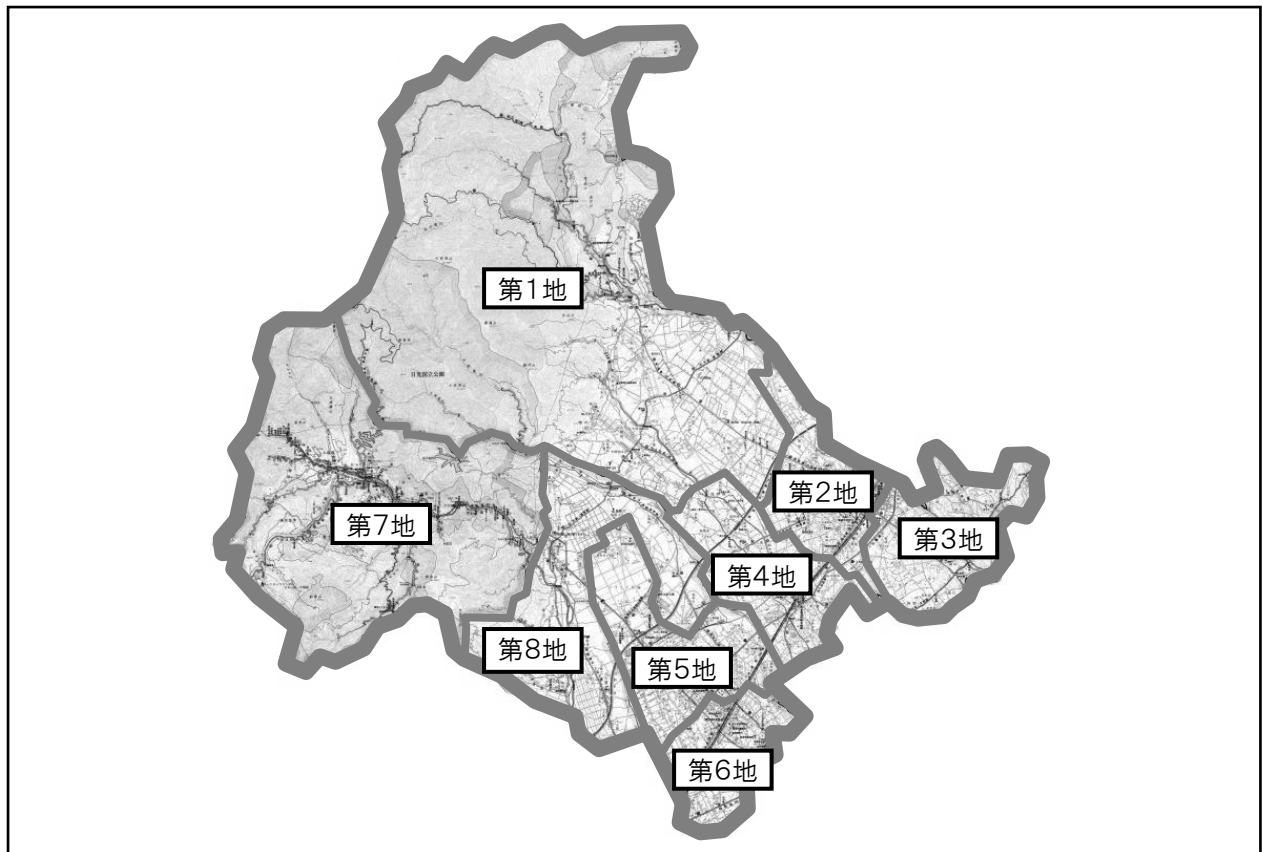
4 アンケート調査結果

那須塩原市の文化財に対する市民のニーズや現状を把握し、分析するためにアンケート調査を実施しました。令和3年2月5日から令和3年3月1日までに、18歳以上の那須塩原市民2,000人（無作為抽出）に対し郵送調査を実施し、824人から回答を得ました。

アンケート調査票の内容と、設問に対する回答を抜粋し、以下に記載します。

●アンケート調査票

問 1	回答者ご本人について	
(1) あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)		
1. 18～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上
(2) あなたの職業（主たるもの）を教えてください。(〇は1つ)		
1. 会社員	2. 自営業	3. 学生
4. 公務員	5. 無職	
6. その他（		）
(3) あなたがお住まいの地域を次のページの図を参照し、ご回答ください。(〇は1つ)		
1. 第1地区	2. 第2地区	3. 第3地区
4. 第4地区	5. 第5地区	6. 第6地区
7. 第7地区	8. 第8地区	
(4) 那須塩原市にお住まいになって通算何年になりますか。(これまでの合計年数) (〇は1つ)		
1. 1年未満	2. 1～9年	3. 10～19年
4. 20～29年	5. 30年以上	
【(4)で『5. 30年以上』の方のみご回答ください】		
(5) いつ从那須塩原市にお住まいですか。(〇は1つ)		
1. 家（本家・親戚を含む）は江戸時代から続いている		
2. 明治から昭和（戦前）に移住し現在まで続いている		
3. 昭和（戦後）になってから土地や住宅を購入（賃貸を含む）して住み続けている		
4. その他（		
）		



第1地区	高林、箕輪、洞島、箭坪、木綿畑、湯宮、嶋内、百村、油井、亀山、細竹、西岩崎、板室、戸田、青木
第2地区	本郷町、新朝日、宮町、本町、黒磯幸町、錦町、住吉町、豊町、中央町、高砂町、弥生町、橋本町、桜町、材木町、大黒町、若葉町、東大和町、黒磯(上黒磯)、末広町、共墾社、共墾社1丁目、下厚崎、渡辺、上厚崎、埼玉(下埼玉、上埼玉、南埼玉)、豊浦中町、豊浦町、豊浦南町、清住町、新緑町、松浦町、春日町、阿波町、豊住町、新町、西新町、並木町、若草町、埼玉(稲村一区・二区、稲村西町、四方寺)、東原、豊浦(上豊浦3-1、若松団地)、豊浦北町、黒磯(緑ヶ丘団地、松原町)、北栄町、美原町、小結、鳥野目
第3地区	東栄1丁目・2丁目、安藤町、原町、東豊浦、黒磯(下黒磯、青葉台、黒磯七区)、豊浦(雇用促進住宅、下豊浦、鍋掛豊浦)、越堀、寺子、鍋掛、野間
第4地区	大原間、大原間西1丁目・2丁目、東小屋、山中新田、上大塚新田、佐野、三本木、木曾畑中、沼野田和、下中野、島方、方京1～3丁目、上中野、笹沼、北和田、波立、中内、鹿野崎、無栗屋、上郷屋、唐杉、塩野崎、北弥六、前弥六、前弥六南町、沓掛、沓掛1～3丁目、塩野崎新田
第5地区	三区町、四区町、千本松、上赤田、北赤田、東赤田、南赤田、西赤田、三島、東三島、西三島、南郷屋、睦、高柳、西富山、井口、西遅沢、東遅沢、関根、東関根、槻沢
第6地区	永田町、扇町、あたご町、西大和、西原町、五軒町、西栄町、東町、西朝日町、南町、西幸町、下永田、緑、二つ室、北二つ室、一区町、二区町、太夫塚、石林、新南
第7地区	塩原、中塩原、上塩原、湯本塩原
第8地区	関谷、金沢、宇都野、下大貫、上大貫、高阿津、下田野、遅野沢、墓沼、折戸、上横林、横林、接骨木

問2**歴史と文化財について**

(1) 興味のある歴史や文化について教えてください。(○はいくつでも)

1. 地域の人々や土地の履歴(地名など)など身近な郷土の歴史
2. 世界遺産や日光など著名な歴史的文化財
3. 歴史小説やテレビドラマなどに描かれる時代劇などの歴史
(戦国時代や明治維新などの出来事や人物)
4. 自分史や家族の歴史(ファミリーヒストリー)
5. 特にない
6. その他()

(2) 興味のある市内の自然的な景観や風景を教えてください。(○はいくつでも)

1. 山(那須岳・高原山・大佐飛山ほか)
2. 河(那珂川・箒川・蛇尾川ほか)
3. 滝(塩原地区の滝ほか)
4. 巨樹(塩原の逆杉やエドヒガンザクラなど)
5. 田園風景(那須連峰・高原山を背景とした水田など)
6. 出釜(湧水)など水の風景
7. 化石(大黒岩化石層群など)
8. 那須おろし(風)から守る屋敷林など
9. 馬や牛のいる牧場風景
10. 特にない
11. その他()

(3) 興味のある市内の歴史的な景観を教えてください。(○はいくつでも)

1. 縄文時代の遺跡(槻沢遺跡など)
2. 江戸時代の街道(一里塚や道標など)
3. 華族の別邸(旧青木家那須別邸など)
4. 取水口や水路(那須疏水旧取水施設など)
5. 開拓農場関係の史跡(那須開墾社烏ヶ森農場跡など)
6. 石仏や石碑
7. 神社やお堂(馬頭観音など石造物を含む)
8. 温泉地の景観(塩原温泉・板室温泉・三斗小屋温泉など)
9. 祭り・伝統芸能
10. 特にない
11. その他()

(4) あなたが他の地域に対して自慢できると思うもの・市内の文化財と思うものはありますか。文化財に指定されていなくても構いません。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
【(4)で『1. はい』の方のみご回答ください】	
(5) あなたが他の地域に対して自慢できると思うもの・市内の文化財と思うものを教えてください。いくつでも構いません。(自由記述)	
【(4)で『1. はい』の方のみご回答ください】	
(6) 「自慢できるもの」や「文化財」を知った理由を教えてください。(○は1つ)	
1. 学校で学んだから	2. 博物館や公民館などの学習で知ったから
3. 近所にあるから	4. 祭りなど実際に参加しているから
5. その他 ()
(7) 行ったことのある市内の文化施設はどこですか。(○はいくつでも)	
1. 那須野が原博物館	2. 黒磯郷土館 (旧津久井家住宅)
3. 板室自然遊学センター	4. 旧青木家那須別邸
5. 大山記念館 (大山別邸)	6. 乃木希典那須野旧宅
7. 天皇の間記念公園	8. 塩原もの語り館
9. 塩原温泉ビジターセンター	10. 黒磯文化会館
11. 三島ホール	12. 那須野が原ハーモニーホール
13. N's Y A R D	14. 菅木志雄倉庫美術館
15. 鶏声磯ヶ谷美術館	16. 木の葉化石園
17. ない	

問4 歴史と文化財を次世代に継承するために私たちにできることについて

(1) 子どもたちに伝えたいテーマは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 開拓の歴史 | 2. 地域の自然や環境 | 3. 地域の温泉の歴史 |
| 4. 那須疏水の歴史 | 5. 伝統的な祭り | 6. 家族(家)の歴史 |
| 7. 特にない | 8. その他 () | |

(2) 子どもたちに伝えていくためにふさわしい方法は何だとお考えですか。
(〇はいくつでも)

1. 学校の授業の中で、郷土(地域)学習を充実させる
2. 博物館・郷土館での活動(出前授業・講座・企画展など)をより活性化させる
3. 日常的に家族(親から子へ)や地域の人々が伝える
4. 地域の祭りやイベントを通して伝える
5. 市の広報なので情報を提供する
6. 図書館の郷土資料室や市のホームページなどの充実を図り、子どもたち自ら調べ学習が行えるようにする
7. わからない
8. その他 ()

問5 その他

(1) 「那須塩原市歴史文化基本構想」を知っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

(2) 那須野が原開拓の歴史が平成30年に日本遺産に認定されたことを知っていますか。
(〇は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(3) 那須塩原市の歴史文化を誇りに思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1. 思う | 2. 少し思う |
| 3. あまり思わない | 4. 思わない |

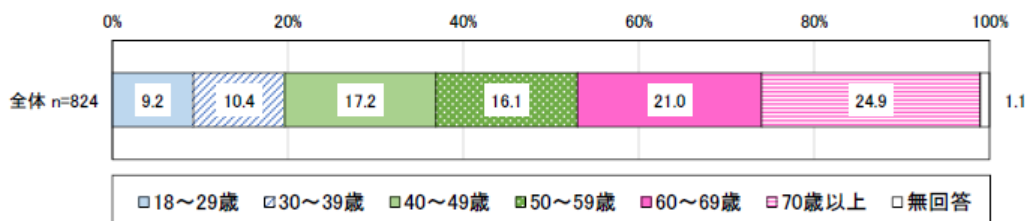
(4) 那須塩原市の歴史文化についてあなたの思うことをご自由にお書きください。併せて、地域で盛り上げていく方法、文化施設を活用する方法などがありましたらご提言ください。(自由記述)

●アンケート調査結果（抜粋）

問1 回答者ご本人について

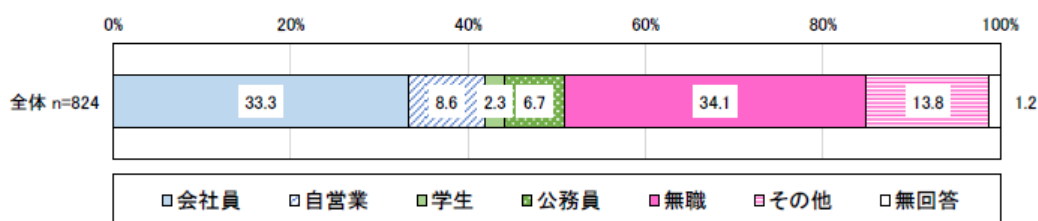
(1) あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

年齢については、「70歳以上」が24.9%で最も高く、次いで、「60～69歳」が21.0%、「40～49歳」が17.2%となっている。



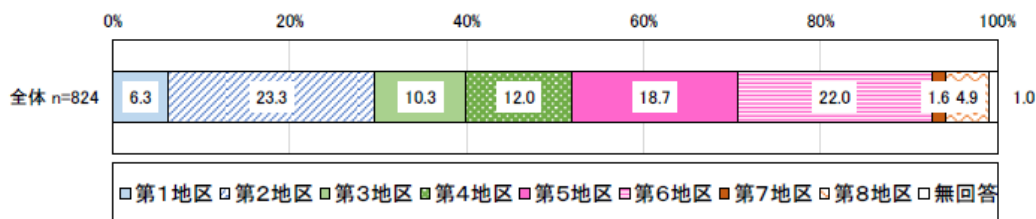
(2) あなたの職業（主たるもの）を教えてください。(〇は1つ)

職業（主たるもの）については、「無職」が34.1%で最も高く、次いで、「会社員」が33.3%、「自営業」が8.6%となっている。



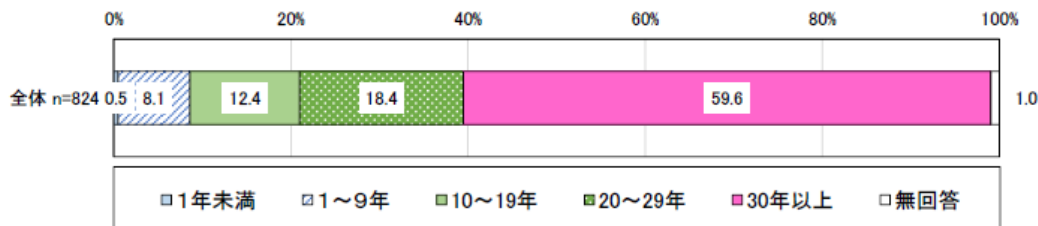
(3) あなたがお住まいの地域を次のページの図を参照し、ご回答ください。(〇は1つ)

お住まいの地域については、「第2地区」が23.3%で最も高く、次いで、「第6地区」が22.0%、「第5地区」が18.7%となっている。



(4) 那須塩原市にお住まいになって通算何年になりますか。(これまでの合計年数) (〇は1つ)

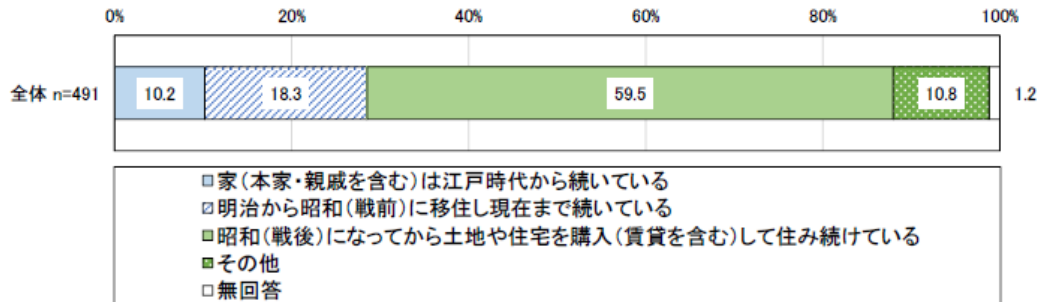
居住年数については、「30年以上」が59.6%で最も高く、次いで、「20～29年」が18.4%、「10～19年」が12.4%となっている。



【(4)で「5. 30年以上」の方のみご回答ください】

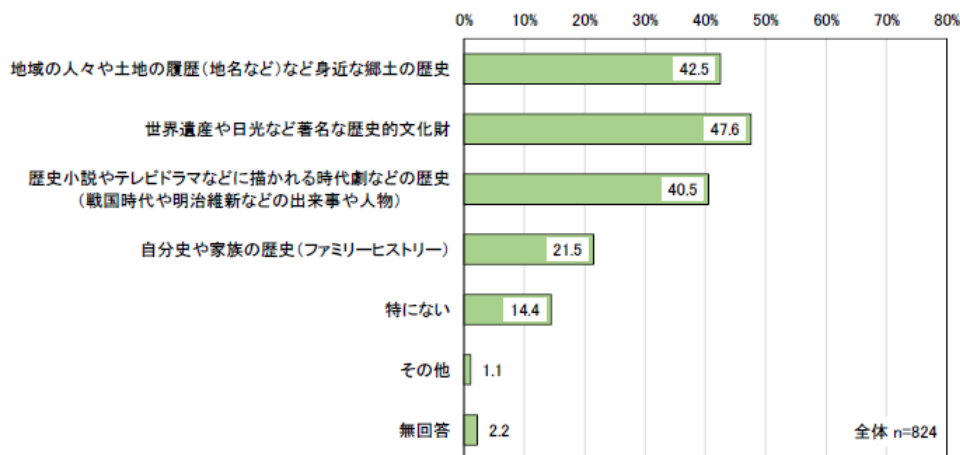
(5) いつから那須塩原市にお住まいですか。(〇は1つ)

移住時期については、「昭和(戦後)になってから土地や住宅を購入(賃貸を含む)して住み続けている」が59.5%で最も高く、次いで、「明治から昭和(戦前)に移住し現在まで続けている」が18.3%、「家(本家・親戚を含む)は江戸時代から続けている」が10.2%となっている。

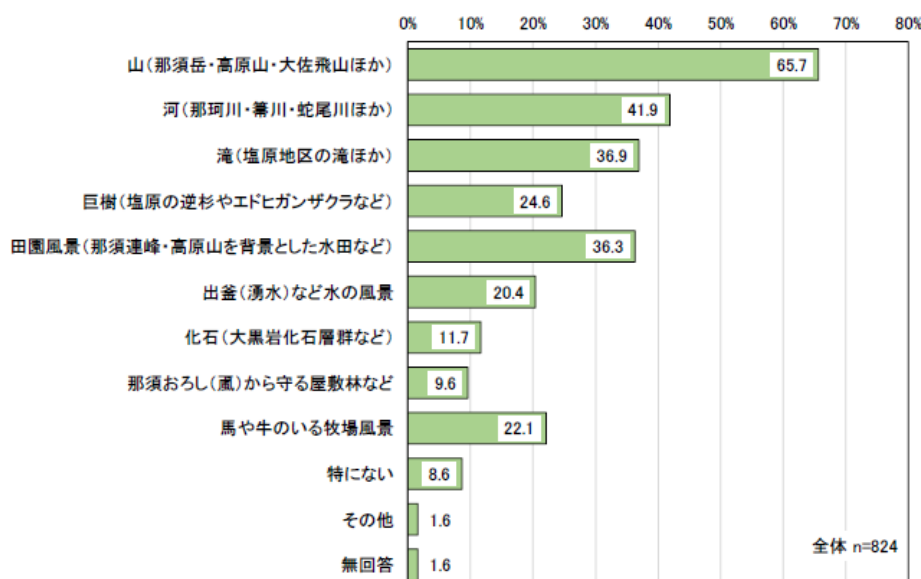


問2 歴史と文化財について

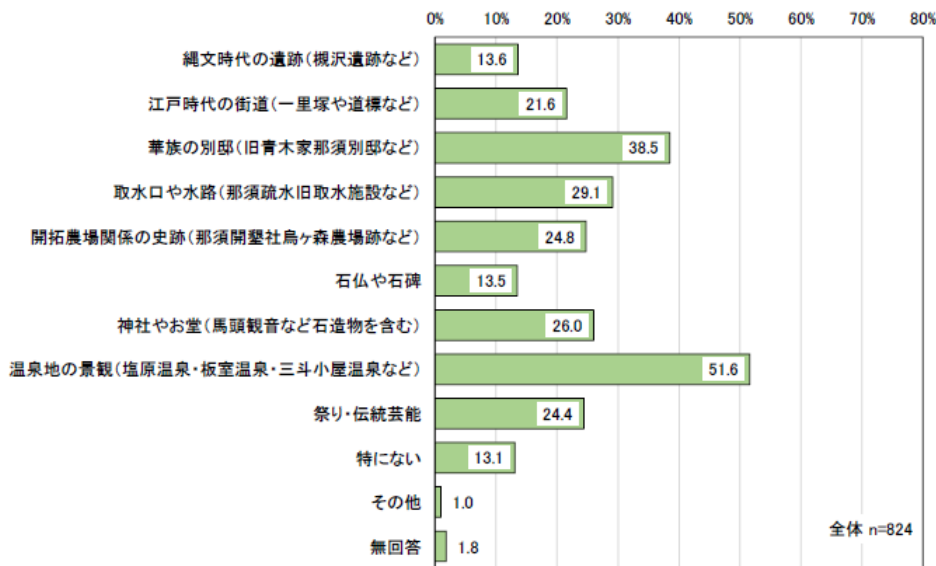
(1) 興味のある歴史や文化について教えてください。(〇はいくつでも)



(2) 興味のある市内の自然的な景観や風景を教えてください。(〇はいくつでも)



(3) 興味のある市内の歴史的な景観を教えてください。(〇はいくつでも)



(4) あなたが他の地域に対して自慢できると思うもの・市内の文化財と思うものはありますか。文化財に指定されていなくても構いません。(〇は1つ)

他の地域に対して自慢できるもの・市内の文化財と思うものがあるかについて、全体では、「はい」が38.7%、「いいえ」が54.0%となっている。

【(4)で『1. はい』の方のみご回答ください】

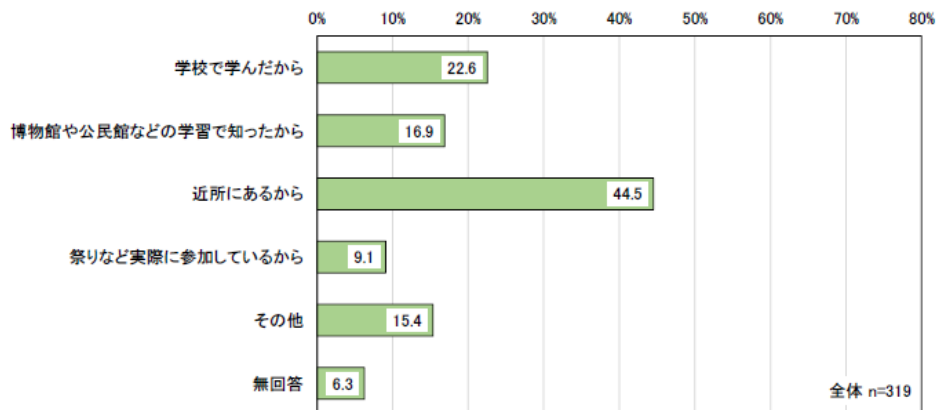
(5) あなたが他の地域に対して自慢できると思うもの・市内の文化財と思うものを教えてください。いくつでも構いません。(自由記述)

他の地域に対して自慢できると思うもの・市内の文化財だと思うものについては、『華族別邸』(88件)、『那須疏水』(78件)、『豊かな自然』(65件)、『温泉』(42件)、『寺、神社』(41件)などが上位回答となっている。

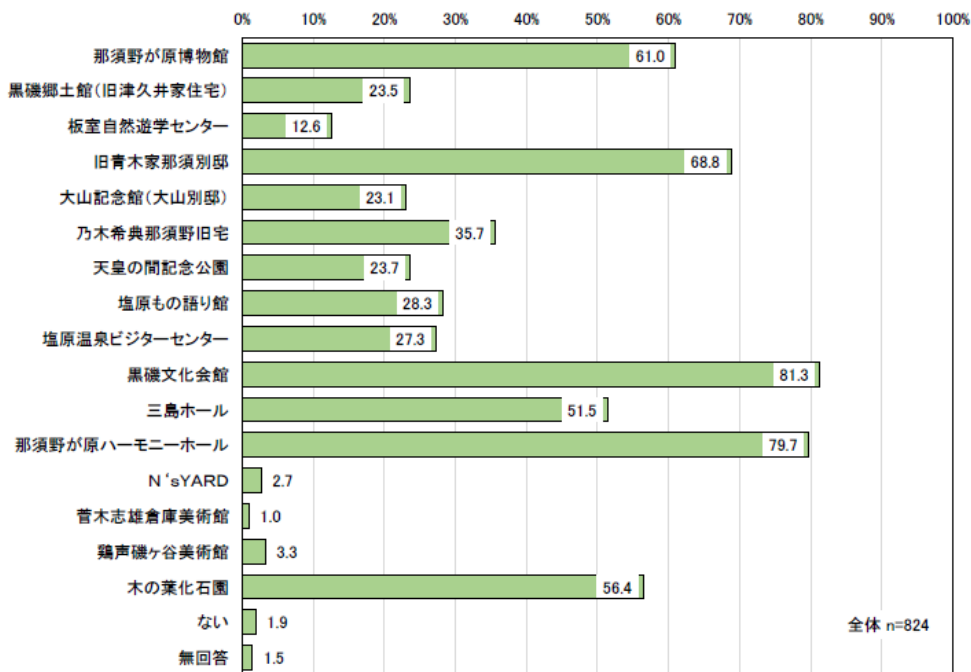
【(4)で『1. はい』の方のみご回答ください】

(6) 『自慢できるもの』や『文化財』を知った理由を教えてください。(〇はいくつでも)

『自慢できるもの』や『文化財』を知った理由については、「近所にあるから」が44.5%で最も高く、次いで、「学校で学んだから」が22.6%、「博物館や公民館などの学習で知ったから」が16.9%となっている。



(7) 行ったことのある市内の文化施設はどこですか。(〇はいくつでも)



問3 歴史・文化財の学習・保全・保存活動への参加について

(1) 市内の歴史や文化財に関連する学習や講座などに参加したことがありますか。(〇は1つ)

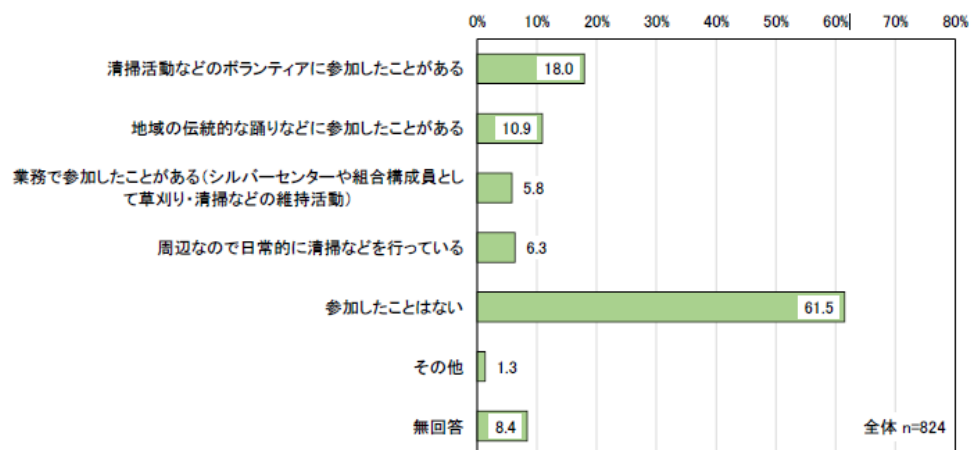
市内の歴史や文化財に関する学習や講座などに参加したことがあるかについて、全体では、「はい」が6.4%、「いいえ」が90.5%となっている。

【(1)で『1. はい』の方のみご回答ください】

(2) どのような講座に参加しましたか。テーマや主催者や講師などわかる範囲でお答えください。
(自由記述)

どのような講座に参加したことがあるかについては、『那須野が原開拓』(7件)、『那須疏水』(2件)、『日本遺産』(2件)、『その他郷土史』(10件)となっている。

(3) 市内の文化財の保全・保存活動に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)



（４）文化財の保存や活用に関する活動に興味がありますか。（〇は１つ）

文化財の保存や活用に関する活動に興味があるかについて、全体では、「興味がある」が38.3%、「興味がない」が56.3%となっている。

【（４）で『1. 興味がある』の方のみご回答ください】

（５）具体的にどんな活動に興味がありますか。（〇はいくつでも）

具体的にどんな活動に興味があるかについては、「史跡や天然記念物、建造物などの保護活動」が40.5%で最も高く、次いで、「発掘調査」が32.9%、「考古資料や古文書などの資料整理」が27.8%となっている。

問４ 歴史と文化財を次世代に継承するために私たちにできることについて

（１）子どもたちに伝えたいテーマは何ですか。（〇はいくつでも）

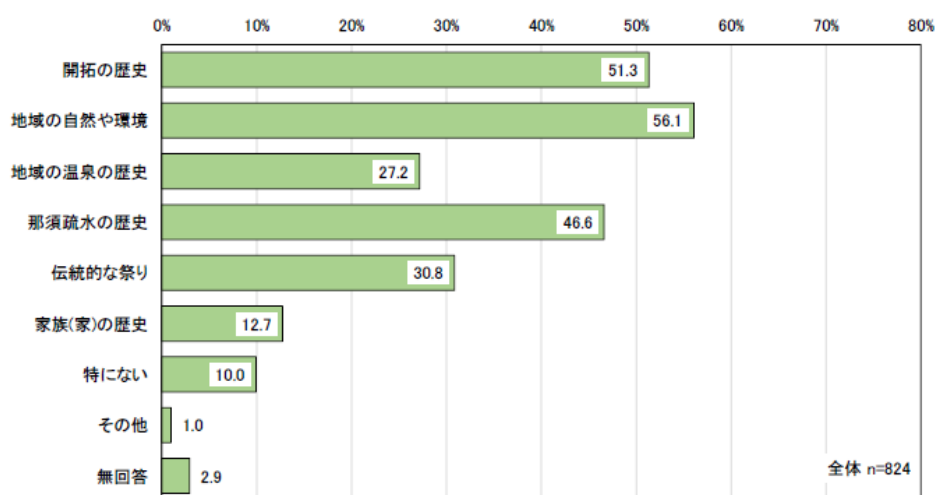
子どもたちに伝えたいテーマについては、「地域の自然や環境」が56.1%で最も高く、次いで、「開拓の歴史」が51.3%、「那須疏水の歴史」が46.6%となっている。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「開拓の歴史」「那須疏水の歴史」は高くなる傾向が見られる。

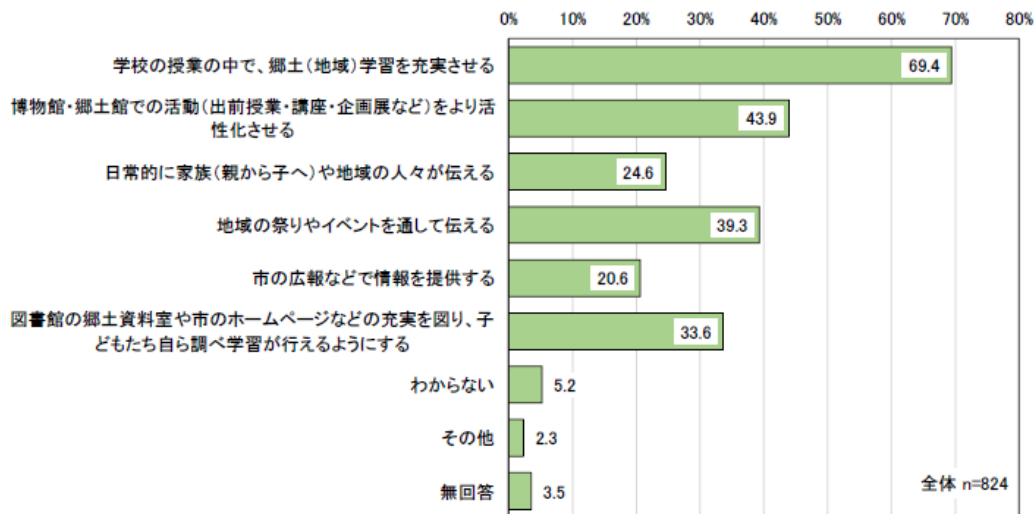
職業別では、「公務員」は「地域の自然や環境」「開拓の歴史」「那須疏水の歴史」「伝統的な祭り」「地域の温泉の歴史」で最も高くなっている。一方、「学生」は「地域の自然や環境」「開拓の歴史」「那須疏水の歴史」「伝統的な祭り」「地域の温泉の歴史」で最も低くなっている。

地区別では、「第1地区」「第5地区」は「開拓の歴史」「那須疏水の歴史」で高くなっている。「第7地区」は「地域の自然や環境」「地域の温泉の歴史」で最も高くなっている。居住地区に関りが深いものに関心が高くなっていることが伺える。

居住年数別では、年数が長いほど「開拓の歴史」「那須疏水の歴史」は高くなる傾向が見られる。また、年数が短いほど「地域の自然や環境」は高くなる傾向が見られる。



(2) 子どもたちに伝えていくためにふさわしい方法は何かとお考えですか。(〇はいくつでも)



問5 その他

(1) 『那須塩原市歴史文化基本構想』を知っていますか。(〇は1つ)

『那須塩原市歴史文化基本構想』を知っているかについて、全体では、「知らない」が74.5%で最も高く、次いで、「聞いたことはある」が21.2%、「知っている」が2.2%となっている。

(2) 那須野が原開拓の歴史が平成30年に日本遺産に認定されたことを知っていますか。(〇は1つ)

那須野が原開拓の歴史が平成30年に日本遺産に認定されたことを知っているかについて、全体では、「知っている」が25.7%、「知らない」が72.7%となっている。

(3) 那須塩原市の歴史文化を誇りに思いますか。(〇は1つ)

那須塩原市の歴史文化を誇りに思うかについて、全体では、「少し思う」が42.6%で最も高く、次いで、「思う」が33.9%、「あまり思わない」が16.6%、「思わない」が4.9%となっている。

(4) 那須塩原市の歴史文化についてあなたの思うことをご自由にお書きください。併せて、地域で盛り上げていく方法、文化施設を活用する方法などがありましたらご提言ください。(自由記述)

自由意見については、『歴史文化や文化財、那須塩原市の魅力等の広報活動について』(43件)、『歴史文化の教育や文化財等の継承について』(23件)、『那須塩原市への意見や要望について』(17件)、『自然・文化財等の有効活用について』(17件)、『自然・文化財等の保全について』(11件)などとなっている。

◆主な意見

- ・市の広報紙やSNSなどを活用して情報発信してほしい。
- ・今あるものを外部へもっと発信していくのも良いのでは。
- ・他の地区から足を運ぶ人の視点に立った情報も掲載されるとわかりやすいと思う。
- ・手に取りやすいパンフレットや歴史めぐりができるマップがあると良い。
- ・伝統がある地域の行事は受け継いで残していくべきだと思う。
- ・子どもたちがある程度学んだり、体感してもらう必要があるのではないかな。
- ・子どもたちがこの地の歴史等を少しでも知るために、文化施設を訪れ、興味ある話等を聞いてもらえる機会を作ることも大切だと思う。
- ・那須野が原博物館の活動をさらに充実させ、ここを中心に地域の歴史・文化を盛り上げてほしい。

